

令和2年度版

ひらつか子育て応援プラン
(第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画)

取組状況評価

～基本事業（市の取組）～

留意事項

計画を推進していくために、進行管理を着実にを行います。また、利用者の視点に立って事業を評価し、PDCAサイクル（計画－実施－評価－改善）を通して、計画の実効性を高めることを目指します。

1 事業評価 総括表

(1) 点数

評価がAの事業を5点、評価がBの事業を3点、評価がCの事業を1点とし、施策ごとの平均点を記載しています。評価なしは算定から除いています。

(2) 評価

各事業の検証結果を記載しています。

A：成果があがった、B：おおむね成果があがった、C：十分に成果をあげることができなかった

(3) 今後の事業展開

- ①現状の規模で継続、②拡大して継続、③縮小して継続、④廃止、
- ⑤その他（休止、終了、他事業と統合等）

(4) 評価状況（192事業）

A 120事業、B 56事業、C 16事業

2 事業評価シート

(1) 主な取組等

計画期間の取組状況が分かるようになっています。

(2) 前年度の課題等に対する取組状況

前年度からの課題に対する取組や新しい取組を記載しています。

(3) 評価

各事業をA、B、Cの3段階で評価しました。

A：成果があがった（事業の成果が期待どおり又はそれ以上だった）

B：おおむね成果があがった（事業の成果が期待を若干下回ったものの概ね満足できる）

C：十分に成果をあげることができなかった（事業の成果が期待を下回り、満足できない）

(4) 今後の事業展開

前記1（3）のとおりとしています。

(5) 翌年度に向けた課題と取組

該当年度の取組状況を踏まえて、次年度以降の課題を記載しています。

(6) ひらつか子育て応援プラン(第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画)開始にあたって

第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画から追加した事業については、令和元年度、平成30年度の各年度における主な取組等及び評価は、省略しています。

第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画から名称を変更した事業、他の事業と統合等をした事業については、備考（その他）欄にその旨を記載しています。

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	通し番号
1 子どもの豊かなこころをはぐくむ環境づくり	1(1) 子どもの権利の尊重	5.0	1 (1) 1	子どものための相談機能の充実	A	②	青少年課	1
			1 (1) 2	保護を必要とする子どもへの対策	A	①	こども家庭課	2
			1 (1) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	3
			1 (1) 4	養育支援訪問事業	A	①	健康課	4
	1(2) 育ち環境の整備	3.3	1 (2) 1	地域の身近な人との交流	B	①	保育課、教育指導課	5
			1 (2) 2	自然体験等活動	A	①	保育課、教育指導課、青少年課	6
			1 (2) 3	こども環境教室事業	B	①	環境政策課	7
			1 (2) 4	水辺の楽校プロジェクト推進事業	A	①	みどり公園・水辺課	8
			1 (2) 5	児童・生徒地域参加事業の推進	A	①	中央公民館	9
			1 (2) 6	自然観察等事業	C	①	博物館	10
			1 (2) 7	プラネタリウム投影事業	C	①	博物館	11
			1 (2) 8	芸術文化子ども体験事業	B	②	社会教育課	12
	1(3) 家庭や地域の教育力の向上	3.0	1 (3) 1	育児講座	C	①	保育課	13
			1 (3) 2	家庭教育支援の充実	B	①	中央図書館、中央公民館	14
			1 (3) 3	学習の場の充実	A	①	中央公民館	15
			1 (3) 4	子育て支援地域派遣事業	B	③	保育課、健康課	16
			1 (3) 5	地域福祉推進事業	B	①	福祉総務課	17
			1 (3) 6	保育所のボランティアの受入れ	C	①	保育課	18
			1 (3) 7	非行防止活動の推進	A	①	青少年課	19
			1 (3) 8	こころと命のサポート事業	C	①	福祉総務課	20
			1 (3) 9	子ども学習支援委託事業	A	①	生活福祉課	21
2 安心して子育てができる環境づくり	2(1) 様々な子育て支援サービスの提供	4.3	2 (1) 1	一時預かり事業	A	①	保育課	22
			2 (1) 2	ファミリー・サポート事業	B	①	保育課	23
			2 (1) 3	延長保育・休日保育事業	A	①	保育課	24
			2 (1) 4	私立幼稚園の預かり保育の推進	A	①	学務課	25
			2 (1) 5	病児・病後児保育	B	②	保育課	26
			2 (1) 6	放課後児童クラブの充実・推進	B	①	青少年課	27
			2 (1) 7	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	B	①	社会教育課	28
			2 (1) 8	新・放課後子ども総合プランの推進	B	①	青少年課、教育総務課、社会教育課	29
			2 (1) 9	民間保育所施設整備支援事業	A	①	保育課	30
			2 (1) 10	民間保育所保育士確保支援事業	A	①	保育課	31
			2 (1) 11	公立保育所施設整備事業	A	①	保育課	32
			2 (1) 12	私設保育施設への支援	A	①	保育課	33
			2 (1) 13	幼保一元化のモデルケース事業	A	①	保育課、教育総務課	34
			2 (1) 14	公立園の在り方の検討	A	①	保育課、教育総務課	35
	2(2) 親・子の交流の場づくり	3.0	2 (2) 1	子育て支援センター事業	B	①	保育課	36
			2 (2) 2	つどいの広場事業	B	①	保育課	37
			2 (2) 3	開放保育事業	A	①	保育課	38
			2 (2) 4	赤ちゃん広場事業	C	①	保育課	39
			2 (2) 5	親子ふれあい体験事業	C	①	保育課	40
			2 (2) 6	ブックスタート事業	B	①	中央図書館、健康課、保育課	41
			2 (2) 7	活動場所の確保	A	①	青少年課、中央公民館	42
	2(3) 情報提供・相談体制の充実	4.6	2 (3) 1	情報提供の推進	A	①	保育課、こども家庭課	43
			2 (3) 2	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	A	①	こども家庭課	44
			2 (3) 3	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	A	①	保育課、教育指導課	45
			2 (3) 4	女性のための相談事業	B	①	人権・男女共同参画課	46
			2 (3) 5	生活困窮者自立支援事業	A	①	福祉総務課	47
			2 (3) 6	生活困窮世帯の子ども支援事業	A	①	生活福祉課	48
			2 (3) 7	民生委員運営事業	B	①	福祉総務課	49
			2 (3) 8	民間団体との連携	A	①	こども家庭課	50
			2 (3) 9	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	51
	2(4) 職場環境の改善	3.0	2 (4) 1	労働セミナー事業	C	①	産業振興課	52
			2 (4) 2	就労支援制度の普及・啓発	B	①	産業振興課	53
			2 (4) 3	事業所の実践する働き方改革への支援	A	①	人権・男女共同参画課	54
	2(5) 母子・父子家庭の自立支援	5.0	2 (5) 1	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	55
			2 (5) 2	母子・父子自立支援事業	A	①	こども家庭課	56
2(6) 経済的支援の充実	5.0	2 (6) 1	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	57	
		2 (6) 2	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	①	こども家庭課	58	
		2 (6) 3	保育所保育料の軽減	A	①	保育課	59	
		2 (6) 4	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	A	①	学務課	60	
		2 (6) 5	児童生徒就学援助事業	A	①	学務課	61	
		2 (6) 6	特別支援教育就学奨励援助事業	A	①	学務課	62	
		2 (6) 7	高等学校等修学支援事業	A	①	学務課	63	
		2 (6) 8	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	64	
		2 (6) 9	児童扶養手当	A	①	こども家庭課	65	
		2 (6) 10	特別児童扶養手当	A	①	こども家庭課	66	
		2 (6) 11	児童手当	A	①	こども家庭課	67	
		2 (6) 12	養育医療費給付	A	①	こども家庭課	68	

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	通し番号
3 子どもに寄り添った教育環境づくり	3(1)学校(園)教育の充実	3.9	3(1)1	幼児教育指導法の工夫・改善	B	①	教育指導課	69
			3(1)2	幼・保・小・中連携の推進事業	B	①	教育指導課、教育研究所	70
			3(1)3	幼児教育の支援	A	①	教育指導課	71
			3(1)4	生きる力を育む学校づくり推進事業	A	①	教育指導課、学校給食課	72
			3(1)5	外国人英語指導者の学校訪問事業	A	①	教育指導課	73
			3(1)6	人権教育の推進	B	①	教育指導課	74
			3(1)7	日本語指導協力者派遣事業	B	①	教育指導課	75
			3(1)8	サポートチームシステム推進事業	C	①	教育指導課	76
			3(1)9	中学校部活動指導者派遣事業	A	①	教育指導課	77
			3(1)10	学校支援ボランティアの活用	A	①	教育指導課	78
			3(1)11	教材・教具等の充実	A	①	教育総務課	79
			3(1)12	研修・研究推進事業	B	①	子ども教育相談センター	80
			3(1)13	放課後自主学習教室事業	A	①	教育指導課	81
3(2)相談活動の推進	4.3	3(2)1	教育相談事業	A	①	子ども教育相談センター	82	
		3(2)2	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	83	
		3(2)3	スクールソーシャルワーカー派遣事業	B	①	子ども教育相談センター	84	
4 子育てしやすい安心・安全なまちづくり	4(1)道路交通安全の向上	4.3	4(1)1	交通安全啓発推進事業	B	①	交通政策課	85
			4(1)2	歩道設置事業	A	①	道路整備課	86
			4(1)3	通学路合同点検事業	A	①	教育指導課	87
	4(2)防犯の強化	4.5	4(2)1	地域安全運動の推進	A	①	危機管理課	88
			4(2)2	地域安全施設整備事業	A	①	危機管理課	89
			4(2)3	通学路安全対策事業	A	①	教育指導課	90
			4(2)4	子どもの安全対策の推進	B	①	社会教育課	91
	4(3)遊びの場づくり	4.0	4(3)1	安全対策の推進	A	①	みどり公園・水辺課、総合公園課、青少年課	92
			4(3)2	公園整備事業	B	①	みどり公園・水辺課	93
	4(4)まちのバリアフリー化	4.0	4(4)1	歩道のバリアフリー化事業	A	①	道路整備課	94
			4(4)2	公共交通のバリアフリー化事業	B	①	交通政策課	95
	4(5)有害環境の改善	3.0	4(5)1	環境実態調査	B	①	青少年課	96
			4(5)2	違反屋外広告物除去事業	B	①	まちづくり政策課	97
5 子どもと親の健康づくり(平塚市母子保健計画)	5(1)切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策 基盤課題A	4.2	5(1)①1	妊婦健康診査	B	①	健康課	98
			5(1)①2	妊産婦の相談の充実	A	①	健康課	99
			5(1)①3	妊産婦への教育の充実	A	③	健康課	100
			5(1)①4	産後ダイサービス「産後ルームママはぐ」	A	③	健康課	101
			5(1)①5	産前・産後ヘルパー派遣事業	A	①	健康課	102
			5(1)①6	産後メンタルヘルス相談	B	①	健康課	103
			5(1)②1	乳幼児健康診査	A	①	健康課	104
			5(1)②2	乳幼児期の相談の充実	B	③	健康課	105
			5(1)②3	訪問事業	B	①	健康課	106
			5(1)②4	学習の場の提供	B	③	健康課	107
			5(1)②5	感染症対策の推進	A	②	健康課	108
			5(1)②6	5歳児健康診査	A	①	こども家庭課	109
			5(1)②7	保育所における食育の推進	A	①	保育課	110
	5(2)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策 基盤課題B	2.6	5(2)①1	生活習慣病予防・歯の健康に関する知識の普及	C	①	学務課、健康課	111
			5(2)①2	健康に関する教育の実施	B	①	教育指導課	112
			5(2)①3	学校保健の充実	B	①	学務課	113
			5(2)①4	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	114
			5(2)②1	思春期の教育の充実	B	①	健康課	115
	5(2)②2	こころと命のサポート事業	C	①	福祉総務課	116		
	5(3)子どもが健やかに育つための地域づくり 基盤課題C	3.3	5(3)1	一時預かり事業	A	①	保育課	117
			5(3)2	ファミリー・サポート事業	B	①	保育課	118
			5(3)3	子育て支援センター事業	B	①	保育課	119
			5(3)4	つどいの広場事業	B	①	保育課	120
			5(3)5	開放保育事業	A	①	保育課	121
			5(3)6	赤ちゃん広場事業	C	①	保育課	122
	5(4)育てにくさを感じる親への支援 重点課題①	4.3	5(4)①1	育てにくさを感じる親に寄り添う支援	A	⑤	健康課	123
			5(4)①2	子育て講座	C	⑤	こども家庭課	124
			5(4)①3	ペアレントトレーニング	B	①	こども家庭課	125
			5(4)②1	こども発達支援室の療育相談	A	①	こども家庭課	126
			5(4)②2	発達支援コーディネーターの育成・配置	A	①	保育課、こども家庭課	127
			5(4)③1	地域療育システム事業	A	①	こども家庭課	128
			5(4)③2	福祉サービス費の支給	A	①	こども家庭課	129
			5(4)③3	障がい児保育	A	①	保育課、こども家庭課、学務課	130
5(4)③4			就学相談・指導事業	A	①	子ども教育相談センター	131	
5(5)児童虐待の防止対策 重点課題②	5.0	5(5)①1	ハイリスク者への支援の充実	A	①	健康課	132	
		5(5)②1	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	133	

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	通し番号
6 将来を子ども自ら が選択できる環境 づくり（平塚市 子どもの貧困対策 計画）	6 (1) 教育の支援	4.5	6 (1) 1	子ども学習支援委託事業	A	①	生活福祉課	134
			6 (1) 2	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	B	①	社会教育課	135
			6 (1) 3	新・放課後子ども総合プランの推進	B	①	青少年課、教育総務課、社会教育課	136
			6 (1) 4	生活困窮世帯の子ども支援事業	A	①	生活福祉課	137
			6 (1) 5	民間団体との連携	A	①	こども家庭課	138
			6 (1) 6	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	139
			6 (1) 7	児童生徒就学援助事業	A	①	学務課	140
			6 (1) 8	特別支援教育就学奨励援助事業	A	①	学務課	141
			6 (1) 9	高等学校等修学支援事業	A	①	学務課	142
			6 (1) 10	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	143
			6 (1) 11	放課後自主学习教室事業	A	①	教育指導課	144
			6 (1) 12	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	145
			6 (1) 13	スクールソーシャルワーカー派遣事業	B	①	子ども教育相談センター	146
	6 (2) 生活の支援	4.0	6 (2) 1	子どものための相談機能の充実	A	②	青少年課	147
			6 (2) 2	保護を必要とする子どもへの対策	A	①	こども家庭課	148
			6 (2) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	149
			6 (2) 4	養育支援訪問事業	A	①	健康課	150
			6 (2) 5	育児講座	C	①	保育課	151
			6 (2) 6	子育て支援地域派遣事業	B	③	保育課、健康課	152
			6 (2) 7	地域福祉推進事業	B	①	福祉総務課	153
			6 (2) 8	非行防止活動の推進	A	①	青少年課	154
			6 (2) 9	こころと命のサポート事業	C	①	福祉総務課	155
			6 (2) 10	一時預かり事業	A	①	保育課	156
			6 (2) 11	ファミリー・サポート事業	B	①	保育課	157
			6 (2) 12	延長保育・休日保育事業	A	①	保育課	158
			6 (2) 13	私立幼稚園の預かり保育の推進	A	①	学務課	159
			6 (2) 14	病児・病後児保育	B	②	保育課	160
			6 (2) 15	放課後児童クラブの充実・推進	B	①	青少年課	161
			6 (2) 16	子育て支援センター事業	B	①	保育課	162
			6 (2) 17	つどいの広場事業	B	①	保育課	163
			6 (2) 18	赤ちゃん広場事業	C	①	保育課	164
			6 (2) 19	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	A	①	こども家庭課	165
			6 (2) 20	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	A	①	保育課、教育指導課	166
	6 (2) 21	女性のための相談事業	B	①	人権・男女共同参画課	167		
	6 (2) 22	生活困窮者自立支援事業	A	①	福祉総務課	168		
	6 (2) 23	民生委員運営事業	B	①	福祉総務課	169		
	6 (2) 24	民間団体との連携	A	①	こども家庭課	170		
	6 (2) 25	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	171		
	6 (2) 26	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	172		
	6 (2) 27	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	①	こども家庭課	173		
	6 (2) 28	保育所保育料の軽減	A	①	保育課	174		
	6 (2) 29	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	A	①	学務課	175		
	6 (2) 30	妊産婦の相談の充実	A	①	健康課	176		
6 (2) 31	乳幼児期の相談の充実	B	③	健康課	177			
6 (2) 32	訪問事業	B	①	健康課	178			
6 (2) 33	学校保健の充実	B	①	学務課	179			
6 (2) 34	こども発達支援室の療育相談	A	①	こども家庭課	180			
6 (2) 35	ハイリスク者への支援の充実	A	①	健康課	181			
6 (3) 保護者に対する就労の支援	5.0	6 (3) 1	就労支援事業	A	①	産業振興課	182	
		6 (3) 2	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	183	
		6 (3) 3	母子・父子自立支援事業	A	①	こども家庭課	184	
6 (4) 経済的支援	5.0	6 (4) 1	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	185	
		6 (4) 2	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	186	
		6 (4) 3	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	①	こども家庭課	187	
		6 (4) 4	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	188	
		6 (4) 5	児童扶養手当	A	①	こども家庭課	189	
		6 (4) 6	特別児童扶養手当	A	①	こども家庭課	190	
		6 (4) 7	児童手当	A	①	こども家庭課	191	
		6 (4) 8	養育医療費給付	A	①	こども家庭課	192	

1 (1) 1	子どものための相談機能の充実	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子ども自身や保護者が相談できる電話・来室相談等、子どものための相談体制を充実します。	子ども自身や保護者の悩みを早期に解決するために相談機能の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 187件 ヤングテレホン相談 (火～土) 131件 ヤングメール相談55件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回30,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設への配布と併せて、近隣の鶴嶺高校、茅ヶ崎高校、茅ヶ崎西浜高校、寒川高校、秦野高校、秦野曾屋高校、秦野総合高校、伊志田高校、伊勢原高校、向上高校、自修館中等教育学校へ保健室配布分として各20部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (12月)、全国青少年研究集会 (オンライン配信・1月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するとともに、様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティネットの一つとしての機能を高めるため、現在の相談体制に加え、LINEを活用した相談を実施するなど、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続	翌年度に向けた課題と取組			
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の事業展開	②拡大して継続							
翌年度に向けた課題と取組										
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 214件 ヤングテレホン相談 (火～土) 100件 ヤングメール相談50件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回32,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設への配布と併せて、近隣の鶴嶺高校、茅ヶ崎高校、茅ヶ崎西浜高校、寒川高校、秦野高校、秦野曾屋高校、秦野総合高校、伊志田高校、伊勢原高校、向上高校、自修館中等教育学校へ保健室配布分として各20部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 新たな啓発方法として、12月からツイッターを開設し、青少年相談室に関する情報の配信を開始した。 神奈川県主催相談員研修 (8月、2月)、人権研修 (10月)、湘南地域青少年社会環境健全化推進連絡会講演会 (10月)、青少年行政関係職員研修 (2月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するとともに、様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td>①現状の規模で継続</td> <td>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の課題								
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続	子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。									
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 328件 ヤングテレホン相談 (火～土) 140件 ヤングテレホンメール相談105件 相談室の啓発チラシを4月、9月、1月の3回 (各回32,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設への配布と併せて、近隣の鶴嶺高校、茅ヶ崎高校、茅ヶ崎西浜高校、寒川高校、秦野高校、秦野曾屋高校、秦野総合高校へ保健室配布分として20部送付した。 平成28年度から開始したNPO法人との市民提案型協働事業「不登校・ひきこもり改善・自立支援事業」を5月・6月・9月・10月・11月・12月の6回、青少年会館各会合室及び体育館にて開催した。 神奈川県主催相談員研修 (5月、7月、1月) 及び自殺対策研修 (9月、12月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化しており、これに応ずる相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td>①現状の規模で継続</td> <td>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の課題								
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続	子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。									

備考 (その他)			

1 (1) 2	保護を必要とする子どもへの対策	担当課	こども家庭課
---------	-----------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談担当と児童相談所との連携を密にし、保護を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 里親制度の啓発・普及に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所や関係機関と連携し、支援を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 すべての子どもの権利を擁護するために子ども家庭総合支援拠点の設置に取り組みます。 里親制度紹介講座及び里親相談（児童相談所主催）を実施し、制度の啓発・普及に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 里親制度について、関係機関へのチラシの配布や児童虐待防止啓発活動における平塚駅前での啓発グッズの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。 	前年度の課題等に対する取組状況 児童相談所との進行管理会議の実施方法を変更した。	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 里親制度紹介講座及び里親相談（平塚児童相談所主催）について、広報ひらつかへの掲載、関係機関へのチラシの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 里親制度紹介講座及び里親相談（平塚児童相談所主催）について、広報ひらつかへの掲載、関係機関へのチラシの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考（その他）

1 (1) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしています。必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。	平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議91回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実務者会議を1回中止している) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議 98回 	検証結果 A:成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議110回 	検証結果 A:成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

1 (1) 4	養育支援訪問事業	担当課	健康課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保護者の疾病等の理由により、児童を養育することに支障が生じた家庭に対して、安定した児童の養育が可能となるように訪問による支援を実施します。	適切な時期に支援が導入できるように関係機関と連携を図り、継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	件数：6件 実施内容： ①訪問37回（保健師訪問22回） ②電話相談39回（保健師電話29回） ③家事援助（ヘルパー）：65回 計97.5時間 ④所内面接、同行受診等：4回（保健師訪問3回）	前年度の課題等に対する取組状況 適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。										
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		翌年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていく。			
		検証結果	A：成果があがった									
		今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組												
翌年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていく。												
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	件数：4件 実施内容： ①訪問16回（保健師訪問9回） ②電話相談24回（保健師電話19回） ③家事援助（ヘルパー）：36回 計53時間 ④所内面接、同行受診等：4回	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A：成果があがった									
今後の課題												
次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

1 (2) 1	地域の身近な人との交流	担当課	保育課 教育指導課
---------	-------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育所、幼稚園、認定こども園の園児と地域の子どもや小学生、高齢者といった地域の身近な人との交流を図り、子どもの社会性を養います。 [対象：就学前子ども、小学生及び高齢者]	園の行事や地域的行事、高齢者施設への訪問を通して、地域の子どもや小学生、高齢者と交流します。また、乳幼児が小学校を訪問したり、園に小学生や高齢者を招待して一緒に活動したりする等地域の身近な人とのふれあい交流を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、小学校の間で実施していた相互訪問などの交流はできなかった。実施園：0園 教育指導課 ・幼稚園児と小学校児童の交流、並びに、運動大会遊び等の行事を通し交流を図った。実施園：2園 世代間交流事業： 保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者施設との相互訪問などの交流はできなかった。実施園：0園 教育指導課 ・幼稚園にボランティアの方々をお招きしたり、敬老の日に特別養護老人ホームに、ビデオレターを送ったりする等、高齢者との世代間交流を図った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		保育課 新型コロナウイルス感染症の収束の目途がたたなければ、当該事業の再開は難しいと考えます。 教育指導課 新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、例年通りの活動に捉われない工夫した取組が必要になるのではないかと考えます。
令和元年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・保育施設と小学校の間で、年中行事等の際に相互訪問することにより、園児と小学生の交流を図った。実施園：41園 ・中高生の職業体験や保育ボランティア等の受け入れを積極的に実施した。実施園：41園 教育指導課 ・幼稚園児と小中学校生徒の相互訪問、並びに、園行事や地域的行事等様々な活動を通し交流を図った。実施園：4園 世代間交流事業： 保育課 ・保育施設と高齢者施設の間で、年中行事等の際に相互訪問することにより、世代間の交流を図った。実施園：41園 教育指導課 ・幼稚園の幼児の祖父母や地域の高齢者を幼稚園へ招待し、ふれあい活動(祖父母の集い、地域の高齢者との交流)を行った。実施園：4園	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・保育施設と小学校の間で、年中行事等の際に相互訪問することにより、園児と小学生の交流を図った。実施園：41園 ・中高生の職業体験や保育ボランティア等の受け入れを積極的に実施した。実施園：41園 教育指導課 ・幼稚園児と小中学校生との相互訪問、並びに、園行事や地域的行事等様々な活動を通し交流を図った。実施園：4園 世代間交流事業： 保育課 ・保育施設と高齢者施設の間で、年中行事等の際に相互訪問することにより、世代間の交流を図った。実施園：41園 教育指導課 ・幼稚園の幼児の祖父母や地域の高齢者を幼稚園へ招待し、ふれあい活動(祖父母の集い、地域の高齢者との交流)を行った。実施園：4園	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画1 (3) 1「異年齢児交流事業」、1 (3) 2「世代間交流事業」を統合し、事業名称を変更した。

1 (2) 2	自然体験等活動	担当課	保育課 教育指導課 青少年課
---------	---------	-----	----------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、幼稚園、認定こども園の園児や地域の子どもの「生きる力」を培い、また社会性の育成を図るため、自然体験や社会体験活動を行います。 〔対象：就学前子ども〕 ・ 自然とふれあう体験活動の機会の充実を図ります。 〔対象：小学生等〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自然を活用した自然体験活動や園外保育等において、園では味わえない自然体験や社会体験活動を実施します。 ・ 概ね月1回程度、自然のものを生かしたクラフトや野外炊事、作物の植付収穫等の体験を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、限られた保育環境の中、地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通した自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：42園 青少年課 ・びわ青少年の家で、作物の植付から収穫までの一連の農作業や収穫物の加工などの自然体験・創作活動等を行う「びわっ子クラブ」を開催した。 会員数：32名、開催回数：8回（年間活動計画に定める活動：6回、番外編活動：2回）、参加者数：延べ388人（ボランティアスタッフ含む） ※10月「森の収穫祭」、12月「森の歳末祭」を含む。この2回に関しては会員家族も募集した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止又は縮小して実施した。（中止：2回、縮小：宿泊キャンプを日帰りにする等） 教育指導課 ・幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		青少年課 十分な感染症対策を講じた上で可能な限り開催した。また、一部活動の中止等があったが、一部の活動を通常時よりも延長して実施する、任意参加の「番外編活動」を開催する等して、活動機会の確保に努めた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		青少年課 感染症対策を踏まえた開催方法やプログラムの検討を要する。引き続き、十分な感染症対策を講じながら実施していく。
令和元年度	保育課 ・湘南海岸や湘南平、相模川や花水川、里山など、地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通した自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：41園 ・ミニミニ運動会や地域の子育て活動の場において、自然物を利用した工作を実施した。 教育指導課 ・幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：4園 青少年課 ・びわ青少年の家で、作物の植付から収穫までの一連の農作業や収穫物の加工などの自然体験・創作活動等を行う「びわっ子クラブ」を開催。 会員数：32名 開催回数：11回（年間活動計画に定める活動：9回、番外編活動：2回） 参加者数：延べ568人（ボランティアスタッフ含む） ※5月「森の新緑祭」、10月「森の収穫祭」、12月「森の歳末祭」を含む。この3回に関しては、会員家族と会員以外の一般家族も募集した。 ※8月の「びわっ子サマーキャンプ」では、1泊2日の宿泊体験を行った。	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	保育課 ・湘南海岸や湘南平、相模川や花水川、里山など、地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通した自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：41園 ・ミニミニ運動会や地域の子育て活動の場において、自然物を利用した工作を実施した。 教育指導課 ・幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：4園 青少年課 ・びわ青少年の家自主事業 「びわっ子クラブ」 年9回開催 （参加者 延べ566人 ボランティアスタッフ含む） ※5月「森の新緑祭」、10月「森の収穫祭」、12月「森の歳末祭」を含む。この3回に関しては、会員家族と会員以外の一般家族も募集した。 ※8月の「びわっ子サマーキャンプ」では、1泊2日の宿泊体験を行った。	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)

1 (2) 3	こども環境教室事業	担当課	環境政策課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
環境の保全や創造の重要性に気づき、考え、それぞれの立場に応じて自発的、積極的に行動できる人材の育成を目指すため、里山で自然にふれる体験をしたり、海岸で海浜植物や漂着物を観察したりします。	昆虫探しや自然を生かした遊具体験等を通じて里山の自然とふれあう体験学習と、浜辺の漂着物や海浜植物の観察等、浜辺の環境を考える体験学習を年間にそれぞれ1回ずつ実施することで、次世代を担う子どもたちの環境への関心を高めるように促します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>夏休みこども環境教室【里山編】は中止。海岸編は11月の祝日に実施。</p> <p>【里山編】 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。</p> <p>【海岸編】 新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を一部変更して実施した。</p> <p>実施日時：令和2年11月3日（火・祝）午前10時00分～11時30分 実施場所：虹ヶ浜海岸（集合：なでしこ公園） 参加人数：19人（子ども12人、保護者7人） 実施内容：海岸の貝殻や木の実、人工物（ごみ）を拾い集めて観察した。また、小学生に分かりやすいように、マイクロプラスチックについても説明した。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>今年度の海岸編は、新型コロナウイルス感染防止対策として、海岸での実習を中心として計画したことにより、感染リスクを抑えて実施することができた。開催時期や実施方法については社会情勢を考慮し、今後も柔軟に対応していきたい。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染症対策を配慮した開催の在り方を検討する必要がある。</p>
令和元年度	<p>夏休みこども環境教室を実施。海岸編は10月の秋休み期間中に実施。</p> <p>【里山編】 実施日時：令和元年8月3日（土）午前9時00分～12時00分 実施場所：平塚市土屋里山体験フィールド 参加人数：49人（子ども26人、保護者23人） 実施内容：昆虫探し、里山遊び、工作教室（竹細工）</p> <p>【海岸編】 実施日時：令和元年10月15日（火）（秋休み期間中）午前10時00分～12時00分 実施場所：なでしこ公民館 参加人数：16人（子ども9人、保護者7人） 実施内容：「マイクロプラスチックってなんだろう」をメインとして、海岸の漂着物からプラスチックの問題について学んだ。</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>今年度は、海岸編を秋休みを利用して、社会問題となっている「マイクロプラスチック」を題材とした環境教室が実施できた。海浜植物の観察等を実施するなど通年で開催できるように今後も柔軟に対応していきたい。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>「夏休みこども環境教室」としているが、今年度の海岸編のように6月に開催した方が、海浜植物が豊富など、観察対象の適期を考慮すると夏休みにこだわる必要はないと考えるので、より充実した内容となるよう柔軟に検討したい。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>
平成30年度	<p>夏休みこども環境教室を実施。海岸編は6月の土曜日に実施。</p> <p>【里山編】 実施日時：平成30年8月4日（土）午前9時00分～12時00分 実施場所：平塚市土屋里山体験フィールド 参加人数：65人（子ども36人、保護者29人） 実施内容：昆虫探し、里山遊び、工作教室（竹細工）</p> <p>【海岸編】 実施日時：平成30年6月2日（土）9時30分～12時00分 実施場所：南部福祉会館 参加人数：27人 実施内容：相模湾の動植物についての講義、海浜植物等の観察、流木・貝殻・シーグラスを使用した工作</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>「夏休みこども環境教室」としているが、今年度の海岸編のように6月に開催した方が、海浜植物が豊富など、観察対象の適期を考慮すると夏休みにこだわる必要はないと考えるので、より充実した内容となるよう柔軟に検討したい。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>「夏休みこども環境教室」としているが、今年度の海岸編のように6月に開催した方が、海浜植物が豊富など、観察対象の適期を考慮すると夏休みにこだわる必要はないと考えるので、より充実した内容となるよう柔軟に検討したい。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画1 (3) 4「夏休み環境教室事業」から事業名称を変更した。

1 (2) 4	水辺の楽校プロジェクト推進事業	担当課	みどり公園・水辺課
---------	-----------------	-----	-----------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもたちが、積極的に自然にふれあいながら「遊び」、「学び」、「冒険心」、「創造性」を育み、自然と接する「作法」や「感性」を養う場として活用します。	市民や子どもたちの遊びや自然体験の場として積極的に活用できるようにするために、水辺の楽校の維持管理を行うとともに、活動団体がイベント等を実施する際に、広報活動等の支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 散策路周辺の除草を外部委託し、維持管理を行った。 広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 問合せ先および申込先を主催者にしたことで、申込者の満足度が高まった。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	公募イベントの開催16回 (参加者705名) ※雨および新型コロナウイルスの影響でイベントが3回中止となった。	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題 人気のある大規模なイベント(やぎ島探検)が雨で中止になったが、新規イベント(ともしびの夕べ)を開催し参加人数を増やすことができた。イベントの実施主体NPO法人暮らし・つながる森里川海のメンバーが高齢化しているため、後継者不足を憂慮している。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続 昨年度と比較すると、新規イベント(ともしびの夕べ)を開催した影響で参加人数を増やすことができ、よい傾向である。引き続き公募イベントで市内・市外問わず広く募集し、水辺の楽校を多くの人に知ってもらえるよう現状のペースで開催していくよう調整していきたい。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 自然探偵団活動の開催8回 (参加者178名) ※雨でイベントが2回中止となった。 公募イベント開催21回 (参加者434名) ※雨でイベントが3回中止となった。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 これまで市民団体である「馬入水辺の楽校の会」が催しの企画から実施まで行っていたが、平成29年度から「馬入水辺の楽校運営協議会」を組織し、水辺の楽校の運営について協議をした上で、実際の催しの実施については、他団体 (NPO法人暮らし・つながる森里川海) へ委託することになった。今後も、活動が維持されることを期待したい。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続 昨年度と比較すると、自然探偵団の活動回数が減り、公募イベントの開催回数が増えているが、公募イベントは市内・市外問わず広く募集しているため、水辺の楽校を多くの人に知ってもらうことを考えると、とてもいい傾向だと思う。現状のペースで開催していくよう調整していきたい。

備考 (その他)

1 (2) 5	児童・生徒地域参加事業の推進	担当課	中央公民館
---------	----------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地区公民館の児童・生徒地域参加事業において、異年齢の交流活動や文化活動、野外活動を推進します。	地域資源や地域人材を活用して新たな事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として卓球教室や陶芸教室、華道教室等を実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「集まらない事業」を実施し、各家庭における体験学習を推進した。具体的には、公民館利用団体や自治連合会と連携し、「カブトムシを育てよう」や「ぬり絵で手話にチャレンジ」、「お家で咲かせよう！チューリップ」等を実施した。 計32事業 延べ1,036人	前年度の課題等に対する取組状況 地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、感染症防止の観点からも、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として、卓球教室や陶芸教室、料理教室等を実施した。また、社会福祉協議会や地域教育力ネットワーク協議会等との共催で、デイキャンプや科学教室、かがり縁日等を実施した。 学校の年間予定表の入手及び地域団体との情報交換を行い、他行事の日程等を考慮して事業を企画・実施した。 計91事業 延べ9,216人	検証結果 A：成果があがった 今後の課題 引き続き、他行事の日程等を考慮して事業を企画・実施する。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として、デイキャンプや卓球教室、陶芸教室、料理教室等を実施した。小学校PTAや社会福祉協議会等の地域団体と協力して、児童・生徒に多様な体験の場を提供した。 地域や学校との交流において、各行事予定の把握に努めた。 計96事業 延べ9,418人	検証結果 A：成果があがった 今後の課題 学校の年間予定表の入手及び地域団体との情報交換によって、事前に行事予定を把握する。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

1 (2) 6	自然観察等事業	担当課	博物館
---------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒が身近な自然に親しみ理解する機会となるように、生物分野では「自然教室」、地質分野では「自然観察入門講座」、天文分野では「星を見る会」をそれぞれ実施します。	アンケート等を活用して参加者の意見や保護者の意見を取り入れ、子どもの興味関心を惹きつけられるような事業展開を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>生物分野で「自然教室」「みんなで調べよう 平塚のカタツムリ」、地質分野で「恐竜ペーパークラフトづくり」、天文分野で「星を見る会」、体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」「体験！宇宙飛行士選抜試験」を当初企画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止、実施の場合も開催数及び定員数を減らして実施した。</p> <p>【実施した行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然教室 6回のうち2回実施 32人 (うち子ども17人) みんなで調べよう「平塚のカタツムリ」 自然教室と合同で1回開催 星を見る会 11回予定のうち3回実施 (雨天中止2回) 94人 (うち子ども47人) <p>【中止した行事】</p> <p>「恐竜ペーパークラフトづくり」、体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」、「体験！宇宙飛行士選抜試験」</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により多くの行事が中止となる中、従来自由参加制だった星を見る会を事前申込制とし、定員を10組に限定するなど、感染症対策を講じて実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">来年度も感染症対策を講じながらの実施が予想されるため、不特定多数の参加が見込まれる行事の実施を見合わせ、引き続き事前申込制の上、参加人数を制限して実施していく。</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		来年度も感染症対策を講じながらの実施が予想されるため、不特定多数の参加が見込まれる行事の実施を見合わせ、引き続き事前申込制の上、参加人数を制限して実施していく。			
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
来年度も感染症対策を講じながらの実施が予想されるため、不特定多数の参加が見込まれる行事の実施を見合わせ、引き続き事前申込制の上、参加人数を制限して実施していく。												
令和元年度	<p>生物分野で「自然教室」、「みんなで調べよう 平塚のカタツムリ」を実施した。地質分野では「自然観察入門講座」に加え、「河原の石ころ図鑑をつくる」、「サメの歯化石のレプリカを作ろう」、「小さくても偉大なブチ化石実物図鑑づくり」を実施した。天文分野で「星を見る会」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然教室 5回実施 36人 (うち子ども9人) みんなで調べよう「平塚のカタツムリ」 2回実施 15人 (うち子ども6人) 自然観察入門講座「貝化石を調べよう」 1回実施 14人 (うち子ども9人) 河原の石ころ図鑑をつくる 1回実施 28人 (うち子ども16人) サメの歯化石のレプリカを作ろう 1回実施 105人 (うち子ども60人) 小さいけど偉大なブチ化石実物図鑑づくり 1回実施 143人 (うち子ども80人) 星を見る会 4回実施 245人 (うち子ども100人) 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">申込制の観察行事は年度によって参加者数に大きな変動がある。一方、自由参加の手軽なイベントの参加が多く、この参加者を他の行事に誘導する工夫が求められる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		申込制の観察行事は年度によって参加者数に大きな変動がある。一方、自由参加の手軽なイベントの参加が多く、この参加者を他の行事に誘導する工夫が求められる。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A：成果があがった									
今後の課題												
申込制の観察行事は年度によって参加者数に大きな変動がある。一方、自由参加の手軽なイベントの参加が多く、この参加者を他の行事に誘導する工夫が求められる。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<p>生物分野で「野鳥観察会」、「みんなで調べよう セミのぬげがら調べ」を実施した。地質分野では「自然観察入門講座」に加え、「サメの歯化石のレプリカを作ろう」、「小さくても偉大なブチ化石実物図鑑づくり」を実施した。天文分野で「星を見る会」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 野鳥観察会 1回実施 6人 (うち子ども2人) 自然観察入門講座「貝化石を調べよう」 1回実施 5人 (うち子ども3人) サメの歯化石のレプリカを作ろう 1回実施 63人 (うち子ども23人) 小さいけど偉大なブチ化石実物図鑑づくり 1回実施 87人 (うち子ども45人) みんなで調べよう「セミのぬげがら調べ」 3回実施 75人 (うち子ども43人) 星を見る会 6回実施 1592人 (うち子ども694人) 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">定例的な観察行事は年度によって参加者数に大きな変動がある一方、火星大接近に合わせた星を見る会では例年になく参加があった。市民のニーズと時宜を勘案した企画が必要になる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		定例的な観察行事は年度によって参加者数に大きな変動がある一方、火星大接近に合わせた星を見る会では例年になく参加があった。市民のニーズと時宜を勘案した企画が必要になる。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A：成果があがった									
今後の課題												
定例的な観察行事は年度によって参加者数に大きな変動がある一方、火星大接近に合わせた星を見る会では例年になく参加があった。市民のニーズと時宜を勘案した企画が必要になる。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)			

1 (2) 7	プラネタリウム投影事業	担当課	博物館
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒が宇宙や天文への関心と理解を深める機会となるように、投影を実施します。投影においては一般投影のほか、幼稚園及び小・中学校向けの投影プログラムを準備し団体見学を受け入れます。	幼稚園及び小・中学校向け投影については、各教員の意見を取り入れ、一般向け投影についてはアンケート結果を参考にしながら、プログラムを作成し、投影を行います。また、乳幼児向けの観覧環境を提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、幼児団体投影は中止、小学校の学習投影は市内の学校に限定して実施した。 同じく一般投影は8月から1月にかけて投影回数を1日2回から1回に減らして実施した。例年実施している幼児向け番組の投影は中止した。 幼児・学校団体向け投影。 観覧者数 690人 (うち子ども627人) 投影回数 24回 一般・一般団体向け投影。 観覧者数 863人 (うち子ども257人) 投影回数 48回 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>継続的な調査研究はある程度進められたが、その成果を新番組として投影できる機会が減った。プラネタリウムは、投影回数を減らすとともに収容人数の半数以下を定員とし、観覧券販売前に整理券を配布するなど感染症対策を講じて実施した。</p> <p>検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き感染症対策を講じながらの投影が求められるため、幼児団体投影は対象を市内の園に限定して実施する。一般投影は投影回数減、人数制限、整理券配布などの措置を当面継続する。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>1か月余り休演し投影機器を更新したが、天体の研究や投影機器の機能は日々進歩することから、番組制作にあたっての継続的な調査研究が必要になる。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 幼児団体・学校団体向け投影を実施した。 幼児向けの投影時間を設定して投影した。 幼児・学校団体向け投影。 観覧者数4,209人 (うち子ども3,630人) 一般・一般団体向け投影。 観覧者数6,826人 (うち子ども1,916人) 投影回数 306回 	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>天体の研究や投影機器の機能が日々進歩する一方、投影機器やコントロール機材は日々経年劣化するため、順次更新が必要になる。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p> <p>投影回数ならびに観覧者数の減少は、内装モルタル補修工事に伴う臨時休館によるもの。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>天体の研究や投影機器の機能が日々進歩する一方、投影機器やコントロール機材は日々経年劣化するため、順次更新が必要になる。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p> <p>投影回数ならびに観覧者数の減少は、内装モルタル補修工事に伴う臨時休館によるもの。</p>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 幼児団体・学校団体向け投影を実施した。 幼児向けの投影時間を設定して投影した。 幼児・学校団体向け投影。 観覧者数3,305人 (うち子ども2,724人) 一般・一般団体向け投影。 観覧者数5,426人 (うち子ども1,931人) 投影回数 219回 	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>天体の研究や投影機器の機能が日々進歩する一方、投影機器やコントロール機材は日々経年劣化するため、順次更新が必要になる。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p> <p>投影回数ならびに観覧者数の減少は、内装モルタル補修工事に伴う臨時休館によるもの。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>天体の研究や投影機器の機能が日々進歩する一方、投影機器やコントロール機材は日々経年劣化するため、順次更新が必要になる。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p> <p>投影回数ならびに観覧者数の減少は、内装モルタル補修工事に伴う臨時休館によるもの。</p>

備考 (その他)			

1 (2) 8	芸術文化子ども体験事業	担当課	社会教育課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史、伝統、芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	小・中学校、平塚市文化連盟、地域教育力ネットワーク協議会及び公民館等と連携し、体験事業の実施を充実します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	【公民館事業 (通年開催)】 ・花水公民館「生け花」 【学校への講師派遣 (通年開催)】 ・なでしこ小学校「琴」 ※新型コロナウイルス感染症の影響で事業開始時期が遅れた。	前年度の課題等に対する取組状況 未実施の地区や学校及び公民館へ周知は行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の実施回数が大幅に減ってしまった。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	②拡大して継続					
翌年度に向けた課題と取組								
コロナ禍の中で、安心して参加できる事業とするため、実施方法や周知方法を検討し、実施箇所を拡大する必要がある。 現在ボランティアで事業を実施していただいている文化連盟所属団体等の講師の負担軽減策を考えていく必要がある。								
令和元年度	【各地区事業 (通年開催)】 ・おおすみ地区「生け花」 ・金目地区「奇術」 ・神田地区「生け花」 ・旭陵地区「生け花」「人形芝居」 ・土沢地区「生け花」「人形芝居」 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・中原地区「生け花」「人形芝居」 ・横内地区「琴」「生け花」 【公民館事業 (通年開催)】 ・花水公民館(新規)「茶道」「生け花」 【学校への講師派遣 (通年開催)】 ・金田小学校(新規)「琴」 ・真土小学校(新規)「琴」 ・崇善小学校「琴」 ・中原小学校「琴」 ・みずほ小学校「琴」	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table> 未実施の地区や学校への周知をより推進する。また、現在未報酬で事業を実施していただいている文化連盟所属団体等の講師の負担軽減策を考えていく必要がある。	検証結果	A：成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地区開催事業では現在15地区中8地区が未実施であり、公民館での実施は1館、学校への講師派遣事業では実施校が小学校5校にとどまるため。</td> </tr> </table>	検証結果	②拡大して継続	地区開催事業では現在15地区中8地区が未実施であり、公民館での実施は1館、学校への講師派遣事業では実施校が小学校5校にとどまるため。					
検証結果	②拡大して継続							
地区開催事業では現在15地区中8地区が未実施であり、公民館での実施は1館、学校への講師派遣事業では実施校が小学校5校にとどまるため。								
平成30年度	各地区事業 (通年開催) 横内地区：「生け花」、「琴」 旭陵地区：「生け花」、「奇術」 金目地区：「奇術」、神田地区：「生け花」 金旭地区：「生け花」、「お茶」 中原地区：「生け花」、「お茶」、「人形芝居」 土沢地区：「生け花」「人形芝居」 ※おおすみ地区でも「生け花」を予定していたが悪天候により開催日当日中止となった。 ・学校への講師派遣 (通年開催) みずほ小学校「琴」、中原小学校「琴」、崇善小学校「琴」、なでしこ小学校「琴」 年度当初に学校向けの事業照会パンフレットを作成し配布したところ、実施校数が1増となった。	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table> 未実施の地区や学校への周知をより推進する。また、現在未報酬で事業を実施していただいている文化連盟所属団体等の講師の負担軽減策を考えていく必要がある。	検証結果	A：成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地区開催事業では現在15地区中7地区が未実施であり、学校への講師派遣事業では実施校が小学校4校にとどまるため。</td> </tr> </table>	検証結果	②拡大して継続	地区開催事業では現在15地区中7地区が未実施であり、学校への講師派遣事業では実施校が小学校4校にとどまるため。					
検証結果	②拡大して継続							
地区開催事業では現在15地区中7地区が未実施であり、学校への講師派遣事業では実施校が小学校4校にとどまるため。								

備考 (その他)

1 (3) 1	育児講座	担当課	保育課
---------	------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て家庭の不安感、負担感を軽減できるように、乳幼児の健全な心身の発達、親・家庭の果たす役割及び親と子の関係等について学び、親の育児力の向上を図るため、育児講座を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座の開催や保護者との懇談会を実施します。 主任児童委員等の意見を伺い、地域のニーズに合う講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>保育所等で、親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座を実施した。また、保護者との懇談会などを通して、育児不安の解消や育児力の向上に努めた。</p> <p>各種講座：親子ふれあい遊び、簡単クッキング、歯科巡回教室、読み聞かせ、リンパマッサージなど</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>保育所等で、親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座を実施した。また、保護者との懇談会などを通して、育児不安の解消や育児力の向上に努めた。</p> <p>各種講座：親子ふれあい遊び、簡単クッキング、歯科巡回教室、読み聞かせ、リンパマッサージなど</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)			

1 (3) 2	家庭教育支援の充実	担当課	中央図書館 中央公民館
---------	-----------	-----	----------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
中央公民館の家庭教育講演会、地区公民館の家庭教育学級において、子育て世代に交流の場を提供し、家庭教育の重要性を発信します。 中央図書館で子どもの読書活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代のニーズを把握して事業を実施します。 平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)に基づいて、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	中央図書館 ・平塚市子ども読書活動推進プロジェクトを次のとおり実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。(全2回) 「オリジナル絵本をつくってみよう!」 申込者数:46組123人 ※定員10組/令和3年2月6日実施を予定し募集を行ったが、緊急事態宣言の発令により中止。 「読書感想文の作り方講座」 予定はしていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により講師との調整がつかず実施に至らなかった。 中央公民館 ・平塚市PTA連絡協議会と共催し、家庭教育講演会として「名門野球部を支えた渡辺流食のキャッチボール」を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からケーブルテレビ放送及びインターネット配信とし、講師として横浜高等学校野球部合宿所の元寮母である渡辺元美氏を迎えた。(YouTube閲覧回数 1,456回) ・各地区公民館では、公民館だよりに「家庭教育コンテンツ」や家庭教育講演会で紹介されたレシピを掲載した。また、家庭教育学級として感染症に関する学習や自宅でも楽しめる工作の紹介など、新型コロナウイルス子育て世代のニーズに合わせた事業を行った。(計31事業 延べ399人)	前年度の課題等に対する取組状況 中央図書館:今年度から平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」について企画及び実施の検討を行った。 中央公民館:前年度のアンケートから子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施した。 検証結果 B:おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 中央図書館:新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上で、事業内容や実施時期等を検討する。 中央公民館:引き続き、子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施する。
令和元年度	中央図書館 ・平塚市子ども読書活動推進フォーラムを中央図書館で実施。(全2回 合計154人参加/令和元年8月3日実施 午前参加者数9人・午後参加者数10人、令和元年11月23日実施 午前(第1部)参加者数46人・(第2部)参加者数48人・午後参加者数41人) ・平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)にて、家庭に向けた子ども読書活動を重点取組Iとして、その啓発を進めた。 中央公民館 平塚市PTA連絡協議会との共催で、家庭教育講演会「ダンスのプロデューサーにして人間力向上の指導者に聞く～子どもの能力と魅力を輝かせるには～」を実施した。講師として、夏まゆみ氏を迎えた。(参加者351人) ・各地区公民館では、家庭教育学級として、清掃施設見学やえいごでリトミック、子育てサロン等を実施した。また、アンケート結果を活用して子育て世代のニーズを把握し、新たな事業としてチームラボ探検隊やサイエンス教室等を実施した。(109事業、延べ3,342人)	検証結果 B:おおむね成果があがった 今後の課題 中央図書館 令和2年度からはじまる平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」に取り組む。 中央公民館 引き続き、子育て世代のニーズを把握し、事業を企画・実施する。 今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	中央図書館 ・平塚市子ども読書活動推進フォーラムを中央図書館で実施。(全4回 合計142人参加 平成30年7月21日実施 参加者数81人、9月29日午前実施 26人、午後実施5人、11月10日実施 30人) ・平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)にて、家庭に向けた子ども読書活動を重点取組Iとして、その啓発を進めた。 中央公民館 ・平塚市PTA連絡協議会との共催で、家庭教育講演会「体操金メダリスト内村航平選手の母に聞く～内村流子育て「好き」を伸ばす ほめて伸ばす～」を開催した。講師として、内村周子氏を迎えた。(参加者507人) ・中央公民館では、市民アカデミー講座「気張らない子育て」を開催し、乳幼児の子育て世代向けにパートナーとのコミュニケーション、アートセラピーなどについて学ぶ機会を提供した。(延べ42人) ・各地区公民館では、家庭教育学級として、親子の料理教室やクイックメーカー講座等を実施した。また、アンケートの実施により、子育て世代のニーズを把握して新たな事業を展開した。(110事業、延べ3,033人)	検証結果 B:おおむね成果があがった 今後の課題 中央図書館 ・フォーラム実行委員会への市民参加、小学校高学年から中高生の参加者への働きかけ。 中央公民館 ・引き続き、子育て世代のニーズを把握して、事業を計画・実施する。 今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

1 (3) 3	学習の場の充実	担当課	中央公民館
---------	---------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
中央公民館の市民大学講座や市民アカデミー、地区公民館の自主事業等において、男性の子育て参加を推進します。	男性の料理教室や父の日事業のほか、家族のふれあいが生まれるよう親子や夫婦を対象とした事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時期や実施方法を検討しつつ、家庭教育学級として「波の力で電気を作る？波力発電所で学ぶSTOP地球温暖化～」や「親子で工事現場見学～平塚文化芸術ホールはどうやってできるのか～」等を実施した。なお、事業の実施日を土日祝日に設定した。 計6事業 延べ152人	前年度の課題等に対する取組状況 男性保護者の参加を想定し、日時や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、感染症防止の観点からも、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、家庭教育学級として、「パパとふれあいストレッチ」や「パパとミニ遠足」を実施した。また、木工教室や運動遊び会、凧作り講座等の男性が参加しやすい内容の事業を実施した。 上記の事業を土日祝の午前中に実施した。 土日祝に開催した親子対象の事業 87事業 延べ4,087人 男性を対象とした料理教室、工作等 10事業 延べ228人 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 引き続き、開催日時や内容を考慮して事業を企画・実施する。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、男性の料理教室や親子のテニス教室、凧作り教室等、男性が参加しやすい事業を実施することによって、子育てに参加する機会を提供した。また、親子を対象とした事業を土日祝に実施した。 土日祝に開催した親子対象の事業 84事業 延べ3,828人 男性を対象とした料理教室、スキンケア教室 8事業 延べ246人 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 開催日時を考慮したり、内容を充実させたりしながら、男性が参加しやすい講座を企画・実施する。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

1 (3) 4	子育て支援地域派遣事業	担当課	保育課 健康課
---------	-------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域の子育て支援活動等に保育士や保健師等を派遣し、育児に関する相談・支援を行います。	子育てサークルなどでの育児情報の提供や育児相談、遊びの紹介等、子育て支援に継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 子育てサークル派遣：1回、子育て支援活動：11回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。 健康課 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回(中止1回)、歯科0回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師2回(8件中止)、栄養1回(3回)、歯科2回(4件中止) 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師0回(1件中止)、栄養0回(中止1回)、歯科0回(1件中止) ・地区の要望に沿い対応している。	前年度の課題等に対する取組状況								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため、健康課職員の派遣事業は縮小します。 </td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため、健康課職員の派遣事業は縮小します。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	③縮小して継続							
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため、健康課職員の派遣事業は縮小します。										
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
令和元年度	保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 子育てサークル派遣：6回、子育て支援活動：135回 健康課 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師 1回、栄養 1回、歯科 1回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師 15回、栄養 9回、歯科 7回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数： 栄養 1回、歯科 5回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師 1回、栄養 1回、歯科 2回 ・地区の要望に沿い対応している。	検証結果								
		今後の課題								
		今後の事業展開とその判断理由								
		①現状の規模で継続								
平成30年度	保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 子育てサークル派遣：5回、子育て支援活動：144回 健康課 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師 1回、栄養 1回、歯科 1回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師 18回、栄養 10回、歯科 7回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数： 栄養 3回、歯科 6回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師 1回、栄養 3回、歯科 3回 ・地区の要望に沿い対応している。	検証結果								
		今後の課題								
		今後の事業展開とその判断理由								
		①現状の規模で継続								

備考 (その他)

1 (3) 5	地域福祉推進事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域福祉を推進するため、市民と行政との協働により、地域の子どもから高齢者までがお互いに助け合い、支え合う仕組みとしての町内福祉村の新設及び既設福祉村等の環境整備を支援します。	既存福祉村について活動の支援を行うほか、福祉村未設置地区に出向き、本事業の説明やワークショップを実施することで、町内福祉村の意義や必要性を伝え、新設を促進します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉村活動を一部縮小し実施しました。既設18地区の町内福祉村に対し、市から住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動を可能な範囲で実施する際の助言等を行うことで、地域の輪が途切れることの無いよう配慮を行いました。</p> <p>また、町内福祉村に対する運営支援については、年4回の福祉村会長会議を书面で開催するなど手段も活用しながら他の福祉村の好事例等を参考にしたり、各福祉村での共通の課題等を取り上げ情報共有することで、感染症の影響下においても、各福祉村の活動が活性化するように努めました。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、感染症の影響で地区へ情報を提供する機会が持てなかったため、今後も継続的に協議を進めていくこととします。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>福祉村の運営にかかる会計処理について、情報共有を行いました。また、感染症の影響で活動が一部縮小したため、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などは、継続して検討する必要があります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">感染症の影響を見つつ、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などについて、継続して検討が必要です。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		感染症の影響を見つつ、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などについて、継続して検討が必要です。			
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
感染症の影響を見つつ、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などについて、継続して検討が必要です。												
令和元年度	<p>既設18地区の町内福祉村の活動に対する支援を通じて、住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動が活発に行われ、地域福祉が推進されました。また、各福祉村を対象とした調査で特徴的な活動を抽出して福祉村会長会議等で伝達することにより、好事例を水平展開できるよう支援しました。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">福祉村の運営にかかる会計処理の適正化を推進するとともに、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開、他地区における好事例の水平展開などについて検討する必要があります。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続 町内福祉村を設置していくことは、地域における住民間の支え合いの仕組みを構築する有効な手段であるため。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		福祉村の運営にかかる会計処理の適正化を推進するとともに、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開、他地区における好事例の水平展開などについて検討する必要があります。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続 町内福祉村を設置していくことは、地域における住民間の支え合いの仕組みを構築する有効な手段であるため。	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
福祉村の運営にかかる会計処理の適正化を推進するとともに、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開、他地区における好事例の水平展開などについて検討する必要があります。												
今後の事業展開とその判断理由												
②拡大して継続 町内福祉村を設置していくことは、地域における住民間の支え合いの仕組みを構築する有効な手段であるため。												
平成30年度	<p>既存の町内福祉村に対する運営支援については、年4回の福祉村会長会議、諸課題を検討するための部会を5回開催して意見交換と情報提供を行い、他の福祉村の好事例等を参考に各福祉村の活動が活性化するように努めた。また、町内福祉村の認知度を高めるため、各福祉村と連携して啓発チラシを作成するなど、地域福祉の推進のための後方支援をした。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、数地区に対して町内福祉村の設置を促し、説明会を開催したが、本年度中の開設には至らず、継続的に協議を進めていくこととなった。</p> <p>町内福祉村のコーディネーター育成のため、県・市・諸団体が主催する研修会への参加を求め、地域力の充実を図った。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">町内福祉村の新設やボランティア数の増加などには、地域福祉の推進を地域住民が主体となって進めていく風土の醸成が必要である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続 市内地区公民館区（25地区）に、町内福祉村の設置を進めている。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		町内福祉村の新設やボランティア数の増加などには、地域福祉の推進を地域住民が主体となって進めていく風土の醸成が必要である。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続 市内地区公民館区（25地区）に、町内福祉村の設置を進めている。	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
町内福祉村の新設やボランティア数の増加などには、地域福祉の推進を地域住民が主体となって進めていく風土の醸成が必要である。												
今後の事業展開とその判断理由												
②拡大して継続 市内地区公民館区（25地区）に、町内福祉村の設置を進めている。												

備考 (その他)

1 (3) 6	保育所のボランティアの受入れ	担当課	保育課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
園児とのふれあいを通して、保育の基礎的な知識や技術を習得してもらい、地域への社会奉仕活動への参加を図るため、保育所での保育実習及び地域の保育ボランティアの受入れを行います。	小・中・高校生の社会（職業）体験学習や保育実習の場の提供、地域のボランティアや絵本の読み聞かせボランティア等の受入れをします。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに高校生の保育実習を受入れた。45人 38園で実施 小・中・高生の社会（職業）体験学習や保育実習、地域の高齢者のボランティアや絵本の読み聞かせボランティアなどの受入れを随時行っている。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに高校生の保育実習を受入れた。63人 38園で実施 小・中・高生の社会（職業）体験学習や保育実習、地域の高齢者のボランティアや絵本の読み聞かせボランティアなどの受入れを随時行っている。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

1 (3) 7	非行防止活動の推進	担当課	青少年課
---------	-----------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>心豊かで、規範意識・遵法精神・社会性が向上した青少年を一人でも多く育成するため、社会を明るくする運動を通して、講演会や街頭啓発キャンペーン等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛護指導活動、相談活動を行います。 ・ 青少年指導員による環境浄化活動を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、社会を明るくする運動の活動を支援します。 ・ 青少年の非行を防止するため、学校及び地域と協力し、パトロールを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち7校区で各1回実施 (指導件数726件) ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催 (7地区で実施、延べ627人参加) ・ 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場への横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布 (2,180部) を実施 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。			
検証結果	A：成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。												
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を七夕まつり、花火大会、年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち12校区は各1回、2校区は2回、1校区は3回実施 (指導件数1,348件) ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催 (22地区で実施、延べ5,166人参加) ・ 社会を明るくする運動啓発キャンペーンを実施 (135人参加) 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。												
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火～土曜日に通常愛護指導を毎日実施 (指導件数1,122件) ・ 七夕、花火大会、年末愛護指導や夜間特別愛護指導を実施 (指導件数233件) ・ 中学校区強化愛護指導を実施 (全15校区のうち12校区は各1回、1校区は2回、1校区は3回実施。指導件数は51件) ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催 (23地区で実施、延べ6,690人参加) ・ 社会を明るくする運動街頭啓発キャンペーンを実施 (170人参加) ・ 青少年指導員、青少年補導員の合同による街頭パトロールの実施 (指導件数12件) 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。												

備考 (その他)

1 (3) 8	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。	地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。 「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①なでしこ小学校 16回延べ539人 ②黒部丘幼稚園 25回450人 ③花水さくら保育園 36回延べ1,053人 ④花水公民館 2回延べ15人 合計 1地区 実施回数 79回 延べ2,057人	前年度の課題等に対する取組状況 保育園・幼稚園に「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用を依頼した。 子ども読書活動代表者会議で読み聞かせの実績報告を依頼。
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
令和元年度	いのちの尊さをつたえる本の読み聞かせ実施状況 ①花水小学校 255回延べ8,766人 ②平塚工科高等学校 2回延べ43人 ③花水公民館 17回延べ179人 ④花水さくら保育園 54回延べ1,466人 ⑤黒部丘幼稚園 43回延べ940人 ⑥なでしこ小学校 126回延べ3,890人 ⑦しらさぎ保育園 3回延べ15人 ⑧相模小学校 1回364人 ⑨江陽中学校 2回延べ784人 ⑩南原小学校 1回242人 ⑪大原小学校 1回40人 ⑫南原保育園 3回延べ59人 ⑬富士見公民館 2回延べ52人 ⑭吉沢保育園 4回延べ70人 ⑮大住中学校 1回50人 ⑯港こども園 4回延べ80人 ⑰夕陽ヶ丘保育園 3回延べ27人 ⑱港小学校 1回20人 合計 8地区 実施回数523回 延べ17,087人	検証結果 A：成果があがった 今後の課題 現在、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①花水小学校 284回延べ9,167人 ②平塚工科高等学校 2回43人 ③花水公民館 20回延べ348人 ④花水台保育園 184回延べ3,724人 ⑤黒部丘幼稚園 64回延べ1,012人 ⑥なでしこ小学校 124回延べ4,000人 ⑦港小学校 1回20人 ⑧八幡山洋館 2回15人 ⑨江陽中学校 2回延べ578人 ⑩中原中学校 6回延べ200人 ⑪大原小学校 3回延べ101人 ⑫横内中学校 1回61人 合計 7地区 実施回数693回 延べ19,269人	検証結果 A：成果があがった 今後の課題 現在、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)			

1 (3) 9	子ども学習支援委託事業	担当課	生活福祉課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
将来の自立に向けた高等学校進学のため、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に学習の支援をします。	生徒の参加状況を踏まえ実施場所の拡充などを検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	参加実績 中学1年生 10名 中学2年生 21名 中学3年生 17名 実施場所 1か所 開催日数 107日 (R3. 3月末現在)	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。	
		検証結果	A: 成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題					
検証結果	A: 成果があがった									
今後の課題										
今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続							
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
令和元年度	参加実績 中学1年生 17名 中学2年生 23名 中学3年生 29名 実施場所 1か所 開催日数 118日	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題			
		検証結果	A: 成果があがった							
		今後の課題								
		今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続							
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
平成30年度	参加実績 中学1年生 17名 中学2年生 23名 中学3年生 30名 実施場所 1か所 開催日数 102日	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題			
		検証結果	A: 成果があがった							
		今後の課題								
		今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続							
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										

備考 (その他)

2 (1) 1	一時預かり事業	担当課	保育課
---------	---------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 〔対象：就学前子ども〕	民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所20園で実施（延べ利用児童数推計9,941人） ・認定こども園6園（民間・公立）及び民間幼稚園3園で実施（延べ利用児童数推計12,316人） 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		本年と同様の規模で継続したい。	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所20園で実施（延べ利用児童数13,296人） 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所19園で実施（延べ利用児童数15,412人） 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考（その他）

2 (1) 2	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
---------	--------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育ての援助を受けたい方 (依頼会員) と子育ての援助を行いたい方 (支援会員) を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。〔依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者〕	支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員入会説明会を2回開催。 ・支援会員の講習会を1回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員291人、依頼会員1,480人、内両方会員30人 活動件数：1,317件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	前年度の課題等に対する取組状況 ・支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。 ・支援会員入会説明会の会場を利便性の高い会場に変更し、開催数を増加。(R1：12回 R2：30回) 検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、支援会員講習会のカリキュラム見直し、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員入会説明会を2回開催。 ・支援会員の講習会を2回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・支援会員サポートを5回開催。 会員数：支援会員291人、依頼会員1,455人、内両方会員30人 活動件数：2,834件 前年度の課題への取組状況：平成30年度の取組を継続して実施することで周知を図り、支援会員の増加に向けた取組を行った。	検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の課題 引き続き支援会員の増加を図る。 今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続 令和2年4月1日から支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員入会説明会を2回開催。 ・支援会員の講習会を2回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・支援会員サポートを4回開催。 会員数：支援会員283人、依頼会員1,371人、内両方会員30人 活動件数：2,252件 前年度の課題への取組状況：広報ひらつかやホームページ等での周知に加え、元気応援ポイント説明会や福祉村会議で本事業の周知や、以前依頼会員として登録していた方へ支援会員への移行をご案内するなど、支援会員の増加に向けた取組を行った。	検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の課題 引き続き支援会員の増加を図る。 今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 対象年齢について、平成31年4月から依頼会員のお子さんの対象年齢を小学校6年生まで拡大。(従来はおおむね9歳まで)

備考 (その他)

2 (1) 3	延長保育・休日保育事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育所や認定こども園において、延長保育や休日保育を行います。〔対象：就学前子ども〕	引き続き、保護者の就労形態などに対応した延長保育や休日保育を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育 (全園で実施) ・障がい児保育 (全園で受入れ可) ・休日保育 (1園で実施) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A : 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育 (全園で実施) ・障がい児保育 (全園で受入れ可) ・休日保育 (1園で実施) 	検証結果 A : 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育 (全園で実施) ・障がい児保育 (全園で受入れ可) ・休日保育 (1園で実施) 	検証結果 A : 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (1) 4 「特別保育拡充事業」 から内容を整理した。

2 (1) 4	私立幼稚園の預かり保育の推進	担当課	学務課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。 〔対象：3歳から就学前子ども〕	引き続き、県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	新制度未移行の市内私立幼稚園全てで実施いただいた。	前年度の課題等に対する取組状況 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	新制度未移行の市内私立幼稚園全てで実施いただいた。	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	市内私立幼稚園全てで実施いただいた。	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

2 (1) 5	病児・病後児保育	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもが病中、又は病気の回復期にあるときに、保護者が仕事や病気等により、自宅で看病できない場合に対応するため、病児・病後児保育を行います。	時期により定員を超える利用申込みがあることなどから、事業の拡充（病児保育の実施）に向け取り組めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	市内1か所で病後児保育を実施。 延べ利用児童数 107人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数減少。	前年度の課題等に対する取組状況 令和3年4月からの病児保育実施に向け、事業者と協議を進めた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和3年4月から開始する病児保育の広報を行うとともに、円滑に運営ができるように支援を行う。
令和元年度	市内1か所で病後児保育を実施。 延べ利用児童数 270人	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 時期により定員を超える申込みがあることなどから、事業の拡充に向け取り組んでいく。
平成30年度	市内1か所で病後児保育を実施。 延べ利用児童数 239人	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 時期により定員を超える申込みがあることなどから、事業の拡充に向け取り組んでいく。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2(1)6「病後児保育」から事業名称を変更した。

2 (1) 6	放課後児童クラブの充実・推進	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
放課後児童支援員等としての資質の向上を図るため、放課後児童支援員等を対象とした市主催の研修を推進します。また、近年、県等主催の研修が充実してきたため、より多くの研修機会が持てるように、情報提供し、参加を促進します。	県等主催の研修について情報提供するとともに、市主催の研修については、県等主催の研修内容を踏まえ、放課後児童支援員等として、必要な知識及び技術の習得のための研修を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。 10月1日、16日 発達障がい児の理解等について 2日間 1日57人、16日65人 ※新型コロナウイルスの影響で、10月のみの開催。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、開催回数が少なかったが、令和3年度以降は例年規模で継続し、放課後児童支援員等の資質の向上に努める。
令和元年度	学童保育指導員を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。 7月 普通救命講習 2日間 参加者63人 2月 子どもの人権を守るために ～学童保育で大切にしたいこと～ 1日 参加者56人 3月 発達障がい児の理解等について 1日 新型コロナウイルス感染症の影響のため中止	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	学童保育指導員を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。 7月 普通救命講習 2日間 参加者77人 2月 子どもとの関わり方について 1日 参加者61人 3月 発達障がい児の理解等について 1日 参加者73人	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (1) 7「学童保育の充実・推進」から事業名称を変更した。

2 (1) 7	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	担当課	社会教育課
---------	--------------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
放課後や土曜日等に、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、子どもたちが学習や文化活動、地域住民との交流活動などを継続的に体験できる取組を推進します。	放課後や土曜日等に、子どもたちが文化・スポーツ、自然体験など様々な活動をする機会を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により休止 港地区「港放課後子ども教室」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模(期間)を縮小して実施 地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模(期間)を縮小して実施 	前年度の課題等に対する取組状況 他地域への拡大に向け、新たに関係団体と話し合いの機会を設けたが、受け皿となる組織体制等の課題があるため、引き続き働きかけを行っていく。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B: おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また、コロナ禍での安全な事業実施に向け、関係団体と協議する必要がある。								
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」実施 港地区「港放課後子ども教室」実施 土曜日の教育支援体制等構築事業 横内地区「横内マイタウンスクール」実施 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の課題			
		検証結果	B: おおむね成果があがった					
		今後の課題						
地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続					
今後の事業展開とその判断理由								
①現状の規模で継続								
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」実施 港地区「港放課後子ども教室」実施 土曜日の教育支援体制等構築事業 横内地区「横内マイタウンスクール」実施 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の課題			
		検証結果	B: おおむね成果があがった					
		今後の課題						
地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、地域の力による子どもの居場所づくりを目指し、庁内関係課と連携し、事業未実施の地区や学校に働きかけていく必要がある。								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続					
今後の事業展開とその判断理由								
②拡大して継続								
放課後子ども教室」の他地域への拡大や、「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」の実施を推進し、放課後等の子どもの居場所づくりを充実するため。								

備考 (その他)	

2 (1) 8	新・放課後子ども総合プランの推進	担当課	青少年課 教育総務課 社会教育課
---------	------------------	-----	------------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
「新・放課後子ども総合プラン」の趣旨に基づき、子どもたちが放課後等を安全、安心に過ごし、多様な体験、活動を行うことができるように、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的又は連携した取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室の拡充に向けて、実施を希望する地域や学校の把握に努め、設置が可能な案件については、令和5年度までを目途にスケジュール調整を行います。 小学校の余裕教室等の利用状況を定期的に調査し、放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室への活用の可能性について、庁内で連携して検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価												
令和2年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的または連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和3年3月24日に開催した。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止対策を優先したため、教室実施地区の拡大や、学校の余裕教室の調整ができなかった。												
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。					
		検証結果	B：おおむね成果があがった											
		今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組														
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続					
検証結果	B：おおむね成果があがった													
今後の課題														
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
今後の事業展開とその判断理由														
①現状の規模で継続														
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続		学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。			
検証結果	B：おおむね成果があがった													
今後の課題														
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
今後の事業展開とその判断理由														
②拡大して継続														
学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。														
令和元年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的または連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和2年3月11日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため、書面開催とした。	検証結果 B：おおむね成果があがった												
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続			
		検証結果	B：おおむね成果があがった											
		今後の課題												
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
今後の事業展開とその判断理由														
①現状の規模で継続														
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続		学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。			
検証結果	B：おおむね成果があがった													
今後の課題														
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
今後の事業展開とその判断理由														
②拡大して継続														
学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。														
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続		学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。			
検証結果	B：おおむね成果があがった													
今後の課題														
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
今後の事業展開とその判断理由														
②拡大して継続														
学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。														
平成30年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的または連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を平成31年3月13日に開催した。	検証結果 B：おおむね成果があがった												
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続		学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった											
		今後の課題												
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
今後の事業展開とその判断理由														
②拡大して継続														
学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。														
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続		学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。			
検証結果	B：おおむね成果があがった													
今後の課題														
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
今後の事業展開とその判断理由														
②拡大して継続														
学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。														
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続		学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。			
検証結果	B：おおむね成果があがった													
今後の課題														
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。														
今後の事業展開とその判断理由														
②拡大して継続														
学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。														

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (1) 9「放課後子ども総合プランの推進」から事業名称を変更した。

2 (1) 9	民間保育所施設整備支援事業	担当課	保育課
---------	---------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育所待機児童の解消や保育サービスの充実を図るため、民間保育所に対して助成を行います。	入所児童の安全性や生活環境の改善を図るために、民間保育所の施設整備に対して必要な助成をします。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 社会福祉法人立保育所1園の施設の増改築工事に対して助成 社会福祉法人立保育所1園の防犯対策工事に対して助成 学校法人立幼稚園2園の認定こども園化に伴う改築工事に対して助成 小規模保育事業所1か所の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 社会福祉法人立保育所1園の施設の増築工事に対して助成 社会福祉法人立保育所1園の新園整備工事に対して助成 小規模保育事業所1か所の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 社会福祉法人立保育所1園の施設の増改築工事に対して助成 社会福祉法人立保育所1園の新園整備工事に対して助成 小規模保育事業所2か所の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 私立認定こども園1園のブロック塀の修繕に対して助成 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)	

2 (1) 10	民間保育所保育士確保支援事業	担当課	保育課
----------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
高まる保育ニーズに対応するため、保育環境の充実に向け、民間保育所の保育士の確保や就労を支援します。	保育士養成校や民間保育所との情報交換や連携を密にすることで、市内民間保育所での就労を促進するとともに、他の自治体による保育士確保策を注視し、魅力的で実効性のある保育士確保支援事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>【民間保育所保育士確保支援の「3つの柱」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職促進貸付金 R2新規申込者数：7人 継続利用者数：13人 ○就労支援交付金 R2新規申込者数：43人 継続利用者数：119人（うち3年満了者33人） ○奨学金返済支援補助金 R2新規申込者数：1人 <p>【その他の保育士確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民間保育所インターンシップ事業実施支援補助金 対象者を学生や保育士試験一部合格者に加え、令和2年度からブランクのある未就労中の有資格者（潜在保育士）にも拡大。 （R2実績：27人（うち重複利用者2人（実人数25人）） ○民間保育士メンタルヘルスケア実施支援事業補助金 （R2実績：利用人数5人、利用回数9回） ○民間保育所ガイドブック作成 （R2実績：1,000部作製） ○1分動画「平塚で保育士になりませんか！」作成。 各保育施設が、「平塚で保育士になりませんか！」をテーマに、先輩の保育士さんからのメッセージや施設の雰囲気を、YouTubeを活用し、「1分動画」を作成し市HPにアップ。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)			

2 (1) 11	公立保育所施設整備事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
安心・安全・快適な保育環境の向上や地域への子育て支援の充実を図るため、老朽化した公立保育所の施設整備を行います。	公立保育所において計画的な修繕等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	公立保育所7園及び認定こども園1園について、施設・設備等の小規模な修繕を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	公立保育所7園及び認定こども園1園について、施設・設備等の小規模な修繕を実施した。	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	公立保育所8園及び認定こども園1園について、施設・設備等の小規模な修繕を実施した。	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

2 (1) 12	私設保育施設への支援	担当課	保育課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童の健康診断、職員の保菌検査、施設賠償責任保険の諸経費に対して助成を行います。	子ども・子育て支援新制度の動向を見極めながら、補助等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	私設保育施設5施設に助成した。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	私設保育施設6施設に助成した。	検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	私設保育施設6施設に助成した。	検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

2 (1) 13	幼保一元化のモデルケース事業	担当課	保育課 教育総務課
----------	----------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
認定こども園の整備及び開園後の運営に係る課題について、継続して検討します。	港こども園を運営していく中で出てくる課題について検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>・平成29年4月1日に幼保連携型認定こども園として供用開始した「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<p>・平成29年4月1日に幼保連携型認定こども園として供用開始した「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。</p>	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		⑧その他 供用開始により当初設定の「今後の取組み」は達成した。
平成30年度	<p>・平成29年4月1日に幼保連携型認定こども園として供用開始した「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。</p>	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		⑧その他 供用開始により当初設定の「今後の取組み」は達成した。

備考 (その他)

2 (1) 14	公立園の在り方の検討	担当課	保育課 教育総務課
----------	------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公立の幼稚園及び保育所については、「平塚市幼保一元化に関する検討会」で取りまとめた在り方を踏まえ、協議を進めています。	幼稚園や保育所等の利用状況を見極めながら、多様な保育ニーズに対応する公立園の在り方を検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ひばり幼稚園の方向性は、当面は公設公営で存続し、港こども園の運営状況の研究や社会状況の変化、施設の状態及びインクルーシブ教育の取組状況などを総合的に見極め、5年後を目途に改めて検討することとした。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		港こども園の運営状況の研究や社会状況の変化、施設の状態及びインクルーシブ教育の取組状況などの整理。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度当初から、民間事業者による新園（花水さくら保育園）が仮設園舎にて開設、園運営を開始した。 新園舎が9月下旬に竣工し、10月上旬から新園舎における保育を開始した。 平成30年度までは公立園として、その後、令和元年10月上旬までは民間園として使用していた仮設園舎を解体した。 平成29年2月にまとめた「平塚市幼保一元化に関する公立園の見直しについて」に基づき、令和元年度末で、さくら幼稚園及び金目幼稚園を廃園した。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		⑧その他
		令和2年度上半期までにひばり幼稚園の存続の方向性について判断する。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度から民営化される花水台保育園について、新園舎を整備・運営する事業者と園運営の引継ぎ等について協議した。 民営化される花水台保育園の新園舎整備に向け、仮設園舎での園運営を行った。 花水台保育園の旧園舎を解体し、その後、民間事業者による新園建設工事を進めている。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)

2 (2) 1	子育て支援センター事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]	事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・1か所で実施。 利用者数：大人 3,254人、子ども 3,939人、合計 7,193人 相談件数：面接 2,043件、電話 28件、その他 181件 1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。 令和2年6月15日からは、利用は予約制で利用時間、利用人数等を制限して再開した。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。			
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。												
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・1か所で実施。 利用者数：大人 8,788人、子ども 10,821人、合計 19,609人 相談件数：面接 2,919件、電話 23件、その他 367件 1日2回の自由に参加できるジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。また、月に1回のスペシャルジョイフルタイムでは、利用者の中のボランティアなどにより、色々な催し（ミニコンサート、人形劇、読み聞かせなど）を、育児講座「わくわくタイム」、「わくわくデイ」では赤ちゃんマッサージ、乳幼児の健康と食事などの講座を概ね月1～2回開催している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日から臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 40px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題				今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・1か所で実施。 利用者数：大人 10,729人、子ども 12,805人、合計23,534人 相談件数：面接 3,568件、電話 28件、その他 389件 1日2回の自由に参加できるジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。また、月に1回のスペシャルジョイフルタイムでは、利用者の中のボランティアなどにより、色々な催し（ミニコンサート、人形劇、読み聞かせなど）を、育児講座「わくわくタイム」、「わくわくデイ」では赤ちゃんマッサージ、乳幼児の健康と食事などの講座を概ね月1～2回開催している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 40px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題				今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

2 (2) 2	つどいの広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 〔対象：おおむね0～3歳児及び保護者〕	事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和2年度	<p>・5か所で実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等は中止した。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,546人、子ども1,634人、合計 3,180人、相談件数： 248件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 2,863人、子ども 3,101人、合計 5,964人、相談件数： 392件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,397人、子ども 1,643人、合計 3,040人、相談件数： 186件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,118人、子ども 1,281人、合計 2,399人、相談件数： 27件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 616人、子ども 663人、合計 1,279人、相談件数： 44件</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。令和2年6月15日からは、利用時間、利用人数等を制限して順次再開した。</p> <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>		
	令和元年度	<p>・5か所で実施。</p> <p>月1～2回、親子等を対象として講師を招いての子育て講演会、各種手作り講座（七夕飾り、ひな人形等）、コンサート、読み聞かせ、クリスマス会等のイベントを開催。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 3,623人、子ども 3,806人、合計 7,429人、相談件数： 411件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 5,819人、子ども 6,298人、合計 12,117人、相談件数： 800件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 2,989人、子ども 3,733人、合計 6,722人、相談件数： 178件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 2,011人、子ども 2,158人、合計 4,169人、相談件数： 38件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 1,171人、子ども 1,305人、合計 2,476人、相談件数： 20件</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から臨時休所。</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>	
		平成30年度	<p>・5か所で実施。</p> <p>月1～2回、親子等を対象として講師を招いての子育て講演会、各種手作り講座（七夕飾り、ひな人形等）、コンサート、読み聞かせ、クリスマス会等のイベントを開催。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 4,262人、子ども 4,585人、合計 8,847人、相談件数： 532件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 7,237人、子ども 7,724人、合計 14,961人、相談件数： 920件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 3,731人、子ども 4,382人、合計 8,113人、相談件数： 211件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人2,498人、子ども 2,618人、合計 5,116人、相談件数： 42件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」※ 利用者数：大人 303人、子ども 349人、合計 652人、相談件数 15件</p> <p>※平成30年11月開所</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p>
備考 (その他)				

2 (2) 3	開放保育事業	担当課	保育課
---------	--------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域の未就園児とその保護者に、保育所や認定こども園の園庭や施設を開放し、園児との交流や保護者同士の交流を図り、保育士による育児相談や情報提供を行います。 〔対象：就学前子ども及び保護者〕	保育所や認定こども園で概ね週1回程度、施設を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所33園で実施 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育園を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所33園で実施 ・概ね週1回程度、保育園を開放し育児情報の提供や育児相談等を積極的に実施した。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所33園で実施 ・概ね週1回程度、保育園を開放し育児情報の提供や育児相談等を積極的に実施した。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		②拡大して継続	

備考 (その他)

2 (2) 4	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。	事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続	
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所7園及び認定こども園1園で実施 神田保育園・・・参加 5組 南原保育園・・・参加79組 吉沢保育園・・・参加 1組 しらさぎ保育園・参加23組 夕陽ヶ丘保育園・参加11組 若草保育園・・・参加 8組 大神保育園・・・参加 2組 港こども園・・・参加 7組 <p>合 計・・・実施70回、参加136組</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続 今年度から公立園全園で実施	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所3園で実施 (月2回) 花水台保育園・・・実施23回、参加 8組 夕陽ヶ丘保育園・実施24回、参加 6組 若草保育園・・・実施24回、参加 8組 <p>合 計・・・実施71回、参加22組</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		③縮小して継続 花水台保育園の民営化に伴い規模を縮小して実施する。	

備考 (その他)

2 (2) 5	親子ふれあい体験事業	担当課	保育課
---------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て中の親子が楽しく遊び、共通の体験活動を通しながら親子のふれあいが実感できる場を提供します。	子育て中の親子が参加できるミニミニ運動会を市内公民館等で実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。なお、感染拡大防止のため、外出を控えるなど自宅で過ごす時間が多くなる中、公立保育園及び認定こども園の保育士、保育教諭による「おうちでミニミニ運動会」を動画配信した。手あそび、エプロンシアター、ふれあい遊び、制作あそびなど、親子で体を動かし楽しめる動画を3本配信している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>地域の子育て中の親子が参加するミニミニ運動会を実施 5月15日 (水) 神田公民館・・・37人 6月11日 (火) なぎさふれあいセンター・・・38人 10月23日 (水) 金田公民館・・・33人 11月13日 (水) びわ青少年の家・・・22人 参加児童数合計：130人</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>地域の子育て中の親子が参加するミニミニ運動会を実施 5月16日 (水) 神田公民館・・・27人 6月12日 (火) なぎさふれあいセンター・・・49人 10月17日 (水) 金田公民館・・・23人 11月14日 (水) びわ青少年の家・・・30人 参加児童数合計：129人</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		②拡大して継続	

備考 (その他)

2 (2) 6	ブックスタート事業	担当課	中央図書館 健康課 保育課
---------	-----------	-----	---------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
全ての乳児とその保護者が絵本を通して楽しい時間を過ごすとともに、豊かな子どもの心を育て、親子の絆を養ってもらえるように子育てを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフが丁寧に事業の趣旨を伝えることで、参加者の高い満足度を維持するとともに、対象者への周知や参加しやすい機会づくり等、関係機関と連携しながら参加率向上を図ります。 ・ 公立保育所において、地域のボランティアによる読み聞かせを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容を一部変更して実施した。 ・ 実施回数 会場開催38回 (健康課「7か月児相談」に合わせた実施16回、つどいの広場「きりんのおうち」0回)、個別対応13組 ・ 施設数 7か所 ・ 参加者数 1,722人 (参加組数758組、乳児733人、保護者907人、兄弟等82人) ・ 市民ボランティア49人 (登録者数) ・ 配布絵本 758冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』(偕成社)258冊、『ぴょん』(ポプラ社)277冊、『もこもこもこ』(文研出版)181冊、『おつきさまこんばんは』(福音館書店)17冊、『くだもの』(福音館書店)9冊、『いないいないばあ』(童心社)3冊、『がたんごとんがたんごとんがたんごとん』(福音館書店)3冊、『だっだあー』(主婦の友社)10冊	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施方法の見直しや感染防止対策を行いながら実施した。
		検証結果 B: おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		引き続き参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上をはかる。実施方法の見直しやブックスタートを受けた効果のPRにつながるアンケートの実施について、関係機関と調整の上、検討を進める。
令和元年度	中央図書館 ・ 実施回数 会場開催47回 (健康課「7か月児相談」に合わせた実施22回、つどいの広場「きりんのおうち」2回)、個別対応3組 ・ 施設数 7か所 ・ 参加者数 2,048人 (参加組数860組、乳児857人、保護者1,056人、兄弟等135人) ・ 市民ボランティア57人 (登録者数) ・ 配布絵本 860冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』(偕成社)263冊、『ぴょん』(ポプラ社)322冊、『もこもこもこ』(文研出版)216冊、『おつきさまこんばんは』(福音館書店)10冊、『くだもの』(福音館書店)17冊、『いないいないばあ』(童心社)3冊、『がたんごとんがたんごとんがたんごとん』(福音館書店)9冊、『だっだあー』(主婦の友社)20冊 保育課 ・ 公立保育所7園及び認定こども園1園において、地域のボランティアによる読み聞かせを随時実施	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		引き続き参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上をはかる。ブックスタートを受けた効果のPRにつながるアンケートの実施について、関係機関と調整の上、検討を進める。
		今後の事業展開とその判断理由
平成30年度	中央図書館 ・ 実施回数 会場開催54回 (健康課「7か月児相談」に合わせた実施24回、つどいの広場「きりんのおうち」2回)、個別対応21組 ・ 施設数 7か所 ・ 参加者数 2,515人 (参加組数1,013組、乳児1,010人、保護者1,312人、兄弟等193人) ・ 市民ボランティア57人 (登録者数) ・ 配布絵本 1,013冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』(偕成社)331冊、『ぴょん』(ポプラ社)410冊、『もこもこもこ』(文研出版)233冊、『おつきさまこんばんは』(福音館書店)10冊、『くだもの』(福音館書店)9冊、『いないいないばあ』(童心社)3冊、『がたんごとんがたんごとんがたんごとん』(福音館書店)6冊、『だっだあー』(主婦の友社)11冊 保育課 ・ 公立保育所8園及び認定こども園1園において、地域のボランティアによる読み聞かせを随時実施	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		ボランティアが丁寧に事業の趣旨を伝えながら絵本を手渡しすることで参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上をはかる必要がある。ブックスタートを受けた効果のPRにつながるアンケートを実施する。
		今後の事業展開とその判断理由
①現状の規模で継続		

備考 (その他)

2 (2) 7	活動場所の確保	担当課	青少年課 中央公民館
---------	---------	-----	---------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て団体の活動場所として、子どもの家や青少年会館、公民館の利用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年団体、青少年育成団体が活動場所の確保が容易になるように、上記団体への優先的な施設予約を継続します。 ・ 仲間づくりの場、地域交流の場として公民館が活用されるように努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部利用制限等を行った。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの場所としてみんなのトイレや保育室を案内した。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの場所としてみんなのトイレや保育室を案内した。	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		特になし	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続 青少年会館は、公共施設の再編に伴い、勤労会館及び教育会館と集会機能を統合することが決定したため、最も早い場合、令和7年3月に閉館する予定。	
平成30年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの要望があった場合は、多目的トイレや保育室を利用していただくなど柔軟に対応した。	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

2 (3) 1	情報提供の推進	担当課	保育課 こども家庭課
---------	---------	-----	---------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て家庭に向け、情報誌・市ウェブ等により子育てに関する情報を分かりやすく発信します。	広報紙やチラシ類でのPR、ひらつかわくわくマップ(子育てマップ)を始めとした市ウェブ等、様々な方法で子育てに関する情報をより広く、提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行(4,300部)し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナパサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や絵本の与え方等子育てに関する情報を提供。(毎月1回(6月除く):計11回) ・民間の子育て情報誌に子育て支援センターやつどいの広場、ファミリー・サポート・センター等の情報を掲載。 こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。(発信回数19件)	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行(3,930部)し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナパサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や絵本の与え方等子育てに関する情報を提供。(毎月1回(6月除く):計11回) ・民間の子育て情報誌に子育て支援センターや病後児保育等の情報を掲載。 こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。(発信回数17件)	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行(3,700部)し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナパサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や手づくりおもちゃ等子育てに関する情報を提供。(毎月1回(6月除く):計11回) こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。(発信回数16件)	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		②拡大して継続

備考 (その他)

2 (3) 2	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	担当課	こども家庭課
---------	-------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
既存の社会資源を有効に活用するため、児童相談所や関係機関等と連携し、地域における多様な子育て支援サービス情報を一元的に把握して、ネットワーク化を図ります。	利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用援助等の支援を行うとともに、子育て家庭や保育所からの相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 ・公共施設を活用し、相談対応・情報提供を実施。 ・市内子どもの家4か所にて、1か月に1回親子広場を開催(24回)。214人の親子が参加、58件の相談に対応。 なお、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、5・6月(8回)を休止した。 ・家庭児童相談員を配置し、県児童相談所等と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,799件 ・子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況 子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図った。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 ・公共施設を活用し、相談対応・情報提供を実施。 ・市内子どもの家4か所にて、1か月に1回親子広場を開催(30回)。312人の親子が参加、63件の相談に対応。 なお、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、3月に2か所中止。 ・家庭児童相談員を配置し、県児童相談所等と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,451件 	検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 ・公共施設を活用し、相談対応・情報提供を実施。 ・市内子どもの家4か所にて、1か月に1回親子広場を開催(32回)。424人の親子が参加、10件の相談に対応。 ・家庭児童相談員を配置し、県児童相談所等と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,306件 	検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2(3)2「子育て支援総合コーディネート事業」から事業名称を変更した。

2 (3) 3	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	担当課	保育課 教育指導課
---------	---------------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育所や認定こども園、幼稚園を利用している保護者や地域の子育て家庭を対象に、電話や面接により、子育てについての不安や悩みの相談に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や認定こども園で実施し、相談の内容によっては関係機関と連携を図ります。 ・ 幼稚園の在園児の保護者や入園を希望する保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。 実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題								
令和元年度	保育課 ・全保育所で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談を行った。 実施園：4園	検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続					
		検証結果	A：成果があがった					
平成30年度	保育課 ・全保育所で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談を行った。 実施園：4園	検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続					
		検証結果	A：成果があがった					

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (3) 3 「保育所・幼稚園の育児相談」 から事業名称を変更した。

2 (3) 4	女性のための相談事業	担当課	人権・男女共同参画課
---------	------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
女性が日常生活の中で直面する様々な悩みの解消や配偶者等の暴力から女性とその子どもを守るため、女性のための相談窓口を設けます。	女性やその子どものための支援等について、相談体制や関係機関との連携を強化します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数794件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整46件 	前年度の課題等に対する取組状況 連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">翌年度に向けた課題と取組</td> <td>事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組	事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。		
翌年度に向けた課題と取組	事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。			
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数823件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整39件 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">今後の課題</td> <td>事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</td> </tr> </table>	今後の課題	事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。
		今後の課題	事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続		
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		
検証結果	B：おおむね成果があがった			
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 778件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整 73件 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">今後の課題</td> <td>事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</td> </tr> </table>	今後の課題	事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。
		今後の課題	事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続		
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		
検証結果	B：おおむね成果があがった			

備考 (その他)

2 (3) 5	生活困窮者自立支援事業	担当課	福祉総務課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、住居確保給付金の支給その他包括的な支援を実施します。	自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業の実施及び住居確保給付金の支給を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。なお、昨年度から、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>継続的な周知と他機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮した方への支援を実施した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」につないで制度を活用できるようにする。また、令和3年3月より実施した「家計改善支援事業」、「就労準備支援事業」を活用して自立に向けた相談を充実させる。</p>
令和元年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職後2年以内で就職活動を実施している人に当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。なお、今年度から、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施しています。</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p> <p>周知を継続的にしていくこと。他機関との連携を強化すること。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p> <p>今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
平成30年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職後2年以内で就職活動を実施している人に当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。</p>	<p>今後の課題</p> <p>広く制度の周知が必要です。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p> <p>制度を広く周知することにより、離職等による経済的困窮が生じた際、できるだけ早くくらしサポート相談につながるような関係機関の連携を促進します。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p>

備考 (その他)	

2 (3) 6	生活困窮世帯の子ども支援事業	担当課	生活福祉課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行います。	関係機関と連携し保護者と生徒自身の両者に対して継続した支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価																														
令和2年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 85%;">日常生活支援</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">3件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>養育支援</td> <td style="text-align: right;">210件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>教育支援</td> <td style="text-align: right;">758件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>就業支援</td> <td style="text-align: right;">53件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>その他支援</td> <td style="text-align: right;">64件</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>情報提供、収集、状況把握</td> <td style="text-align: right;">39件</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>その他 (関係形成、初回顔合わせ訪問)</td> <td style="text-align: right;">10件</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>その他 (関連業務)</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> </table>	1	日常生活支援	3件	2	養育支援	210件	3	教育支援	758件	4	就業支援	53件	5	その他支援	64件	6	情報提供、収集、状況把握	39件	7	その他 (関係形成、初回顔合わせ訪問)	10件	8	その他 (関連業務)	6件	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組	中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。	
1	日常生活支援	3件																														
2	養育支援	210件																														
3	教育支援	758件																														
4	就業支援	53件																														
5	その他支援	64件																														
6	情報提供、収集、状況把握	39件																														
7	その他 (関係形成、初回顔合わせ訪問)	10件																														
8	その他 (関連業務)	6件																														
検証結果	A: 成果があがった																															
今後の事業展開	①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組																															
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。																																
令和元年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけた事業です。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 100px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 100px;"></td> </tr> </table>	検証結果	今後の課題			今後の事業展開とその判断理由																									
検証結果	今後の課題																															
今後の事業展開とその判断理由																																
平成30年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけた事業です。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 100px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 100px;"></td> </tr> </table>	検証結果	今後の課題			今後の事業展開とその判断理由																									
検証結果	今後の課題																															
今後の事業展開とその判断理由																																

備考 (その他)

2 (3) 7	民生委員運営事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域福祉の推進のため、地域と行政とのパイプ役としての役割を果たす民生委員児童委員を積極的に支援します。	定例の地区会長会議や全体研修、分野別研修などを通じ、民生委員児童委員の情報共有や資質向上を支援します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	コロナ禍においても、行政からの情報提供は継続して行うと共に、在宅で受講できる研修を取り入れることで民生委員の識見向上に努めました。また、パネル展の開催及び地域住民向けの広報誌を発行することで、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>人材育成の課題に対して予定していた集合研修は全て中止となりましたが、動画やテキストのみで受講できる講座を活用することで、研修機会を確保しました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">研修機会が十分に得られなかった民生委員児童委員へ機会を提供することが必要です。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		研修機会が十分に得られなかった民生委員児童委員へ機会を提供することが必要です。			
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
研修機会が十分に得られなかった民生委員児童委員へ機会を提供することが必要です。												
令和元年度	地域福祉の推進を図るため、地区会長会議等を通じて行政情報の提供及び情報交換を進めるとともに、研修会を開催することにより民生委員の識見向上に努めました。また、5月の街頭PRやパネル展示をはじめとして、民生委員児童委員活動への理解を促進するための啓発活動を実施しました。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和元年度は一斉改選期だったため、新任委員を中心として、民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の育成が必要です。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続 市民が住み慣れた地域で安心して暮らすための支</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		令和元年度は一斉改選期だったため、新任委員を中心として、民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の育成が必要です。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 市民が住み慣れた地域で安心して暮らすための支	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
令和元年度は一斉改選期だったため、新任委員を中心として、民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の育成が必要です。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 市民が住み慣れた地域で安心して暮らすための支												
平成30年度	地域福祉の推進を図るため、毎月の地区会長会議や主任児童委員会議等を通じて行政情報の提供及び情報交換を進めるとともに、6つの部会を中心に研修会を開催し、民生委員の識見向上に努めました。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の確保を図ることです。また、市民が安心して暮らすための支え合いの地域基盤を強化するため、民生委員児童委員制度を一層普及させていく必要があります。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続 委員の識見を高めるため、社会情勢や委員の学習要求に応じた研修を企画します。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の確保を図ることです。また、市民が安心して暮らすための支え合いの地域基盤を強化するため、民生委員児童委員制度を一層普及させていく必要があります。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 委員の識見を高めるため、社会情勢や委員の学習要求に応じた研修を企画します。	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の確保を図ることです。また、市民が安心して暮らすための支え合いの地域基盤を強化するため、民生委員児童委員制度を一層普及させていく必要があります。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 委員の識見を高めるため、社会情勢や委員の学習要求に応じた研修を企画します。												

備考 (その他)

2 (3) 8	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。	民間学習支援団体等との情報共有、連携の場づくりに取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにこども食堂及び学習支援活動団体の一覧を掲載した。 ・こども食堂及び学習支援活動団体の連絡先 (メールアドレス) を把握することで、国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		団体との連携において、具体的に取り組むことができた。	
		検証結果	A : 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)

2 (3) 9	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 3 事業の再掲 > 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしていますが、必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議91回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実務者会議を1回中止している)</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議 98回</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議110回</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

2 (4) 1	労働セミナー事業	担当課	産業振興課
---------	----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
労働諸問題に対する理解と教養を深めるため、勤労者、事業主、一般市民を対象に労働セミナーを開催し、労働問題の自主的解決能力の向上を図るとともに、生活安定向上を目指します。	神奈川県かながわ労働センター湘南支所との共催により、事業主及び勤労者等を対象として、社会情勢を考慮したテーマで労働講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価												
令和2年度	労働セミナーは、共催しているかながわ労働センター湘南支所と協議の結果、コロナ禍の状況を鑑み中止した。	前年度の課題等に対する取組状況												
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コロナの状況を考慮しながら開催方法について、かながわ労働センター湘南支所と協議していく。</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		翌年度に向けた課題と取組		コロナの状況を考慮しながら開催方法について、かながわ労働センター湘南支所と協議していく。				
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった											
		今後の事業展開	①現状の規模で継続											
	翌年度に向けた課題と取組													
	コロナの状況を考慮しながら開催方法について、かながわ労働センター湘南支所と協議していく。													
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		今後の課題		参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続				
検証結果	B：おおむね成果があがった													
	今後の課題													
	参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。													
	今後の事業展開とその判断理由													
	①現状の規模で継続													
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		今後の課題		参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。		
検証結果	B：おおむね成果があがった													
	今後の課題													
	参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。													
	今後の事業展開とその判断理由													
	①現状の規模で継続													
	例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。													
令和元年度	<p>神奈川県かながわ労働センター湘南支所との共催により、経済動向等にあった講座内容を検討のうえ、事業主及び勤労者等を対象とした労働講座を次のとおり開催した。(各定員50人・受講料無料)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年11月22日(金) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて 参加者数：17人 ・令和元年11月28日(木) メンタルヘルス不調の現状と対策 参加者数：29人 ・令和元年12月3日(火) 職場におけるハラスメントの防止 参加者数：45人 ・令和元年12月6日(金) 雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保 参加者数：42人 <p>開催時間は18時30分～20時30分。ただし、令和元年11月28日(木)の回のみ14:00～16:00で開催。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		今後の課題		参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		
		検証結果	B：おおむね成果があがった											
			今後の課題											
			参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。											
	今後の事業展開とその判断理由													
	①現状の規模で継続													
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		今後の課題		参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。		
検証結果	B：おおむね成果があがった													
	今後の課題													
	参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。													
	今後の事業展開とその判断理由													
	①現状の規模で継続													
	例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。													
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		今後の課題		参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。		
検証結果	B：おおむね成果があがった													
	今後の課題													
	参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。													
	今後の事業展開とその判断理由													
	①現状の規模で継続													
	例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。													
平成30年度	<p>神奈川県かながわ労働センター湘南支所との共催により、事業主及び勤労者等を対象とした労働講座を次のとおり開催した。(各定員50人・受講料無料)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年11月14日(水) 企業にダイバーシティで恩恵を 参加者数：19人 ・平成30年11月16日(金) 同一労働同一賃金の導入について 参加者数：33人 ・平成30年11月22日(木) 長時間労働の是正について 参加者数：25人 ・平成30年11月27日(火) 有期労働契約の無期転換における実務からの考察について 参加者数：26人 <p>いずれも18時30分～20時30分</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		今後の課題		参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。
		検証結果	B：おおむね成果があがった											
	今後の課題													
	参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。													
	今後の事業展開とその判断理由													
	①現状の規模で継続													
	例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。													
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった		今後の課題		参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。		
検証結果	B：おおむね成果があがった													
	今後の課題													
	参加者を増やすため、今後も神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働者や雇用のニーズ及び経済動向にあった講座内容や時期を検討し事業を進め、効果的な事業周知を行うことが必要。													
	今後の事業展開とその判断理由													
	①現状の規模で継続													
	例年、社会情勢を鑑み講座内容を検討し開催しており、受講者のアンケート結果でも、概ね好評をいただいていることから、今後も同様に開催する。													

備考 (その他)

2 (4) 2	就労支援制度の普及・啓発	担当課	産業振興課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
勤労ひらつか(毎月1回、市内の労働組合や企業、市の施設に配付)で支援制度の普及・啓発に努めるとともに、厚生労働省や都道府県労働局から送付されるリーフレットや冊子等により啓発に努めます。	ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に関する情報を広く発信します。また、国・県の関係機関等から送付されたリーフレットや冊子等を掲示・配架し、啓発を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	<p>情報紙「勤労ひらつか」に、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る記事を計5回掲載し、市のホームページでも公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年5月号 働き方・休み方改善ポータルサイト、コンサルタンについて ・令和2年6月号 男女共同参画週間について ・令和2年7月号 業務改善助成金、働き方改革推進支援助成金について ・令和2年8月号 神奈川働き方改革推進支援センターについて ・令和2年10月号 ハロートレーニング「無料職業訓練」、平塚イクボスプロジェクトについて <p>国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所:本庁舎・勤労会館等)</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B: おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
市ウェブへの掲載の他、紙媒体でも発行してきたが、業務のスリム化、デジタル化を図るため、令和3年度から市ウェブへの掲載のみとする。								
令和元年度	<p>情報紙「勤労ひらつか」に、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る記事を計5回掲載し、市のホームページでも公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月号 テレワーク相談センターについて ・令和元年5月号 働き方・休み方改善ポータルサイトについて ・令和元年6月号 男女共同参画週間について ・令和元年8月号 神奈川働き方改革推進支援センター御案内、パートタイム・有期雇用労働法施行について ・令和元年9月号 働き方改革アドバイザーについて ・令和元年10月号 平塚イクボスプロジェクト <p>国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所:本庁舎・勤労会館・産業振興課等)</p>	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由	
		検証結果	B: おおむね成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
①現状の規模で継続								
平成30年度	<p>情報紙「勤労ひらつか」に、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る記事を計5回掲載し、市のホームページでも公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月号 テレワーク相談センターについて ・平成30年6月号 男女共同参画週間について ・平成30年8月号 神奈川働き方改革推進支援センター開設の御案内、「仕事休もつ化計画」の御案内 ・平成30年9月号 働き方改革関連法の施行について <p>国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所:本庁舎・勤労会館・産業振興課等)</p>	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由	
		検証結果	B: おおむね成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
①現状の規模で継続								
「勤労ひらつか」を毎月発行しており、毎号約237件配布しているほか、関連する窓口で配架することにより、一定の効果が得られていると捉えているため。								

備考 (その他)

2 (4) 3	事業所の実践する働き方改革への支援	担当課	人権・男女共同参画課
---------	-------------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
市内事業所へのイクボス宣言企業登録制度の普及を進め、従業員のだれもが仕事と家庭の両立がしやすい職場環境づくりを後押しします。 ※ひらつか男女共同参画プラン2017の終期令和5年度までの事業計画とします。	平塚市イクボス宣言登録企業を増やすため、事業所に向けた講演会等を開催します。 登録した企業をホームページなどでPRします。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、①は開催数を減らし、②は参加者数を減らし、③は一部書面会議にて実施した。</p> <p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」(平成29年度から令和5年度までの7年間)に沿って実施。</p> <p>①「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発(1件) 10月25日(日)」</p> <p>②「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、令和2年度平塚市イクボスプロジェクトを開催 11月13日(金)参加者数19人</p> <p>③ひらつか男女共同参画推進協議会(女性活躍推進協議会)の開催 第4回5月22日(金)、第5回7月10日(金)、第6回11月20日(金) 第7回令和3年3月30日(火)</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>アンケートを実施するなどして、意識改革が進んだか計ることに努めた。 イクボスに関する啓発等を実施し、イクボス登録企業は増えた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会等の開催方法などについて検討する必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会等の開催方法などについて検討する必要がある。			
検証結果	A:成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会等の開催方法などについて検討する必要がある。												
令和元年度	<p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」(平成29年度から令和5年度までの7年間)に沿って実施。</p> <p>「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発(3件) 10月20日(日)、10月27日(日)、11月14日(木)」</p> <p>「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、令和元年度平塚市イクボスプロジェクトを開催 11月13日(水)参加者数48人</p> <p>「学校でのデートDV防止講座の開催」(5回) 高校生:11月11日(月)参加者数389人、 中学生:6月11日(火)参加者数227人、7月17日(水)128人、令和2年2月25日(火)556人</p> <p>ひらつか男女共同参画推進協議会(女性活躍推進協議会)の開催 第1回7月19日(金)、第2回11月29日(金)、第3回令和2年2月14日(金)</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">意識啓発が主な事業となるので、これらの事業の結果として意識改革が進んだかどうかを計ることが難しいこと。 企業の協力を得られるような働きかけ。男女が共に能力を発揮できる職場づくりに積極的に取り組んでいただけるような風土、土壌を作っていくこと。更に登録企業を増やすこと。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった	今後の課題		意識啓発が主な事業となるので、これらの事業の結果として意識改革が進んだかどうかを計ることが難しいこと。 企業の協力を得られるような働きかけ。男女が共に能力を発揮できる職場づくりに積極的に取り組んでいただけるような風土、土壌を作っていくこと。更に登録企業を増やすこと。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A:成果があがった											
今後の課題												
意識啓発が主な事業となるので、これらの事業の結果として意識改革が進んだかどうかを計ることが難しいこと。 企業の協力を得られるような働きかけ。男女が共に能力を発揮できる職場づくりに積極的に取り組んでいただけるような風土、土壌を作っていくこと。更に登録企業を増やすこと。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」(平成29年度から平成35年度までの7年間)に沿って実施。</p> <p>「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発(2件) 10月20日(土)～11月17日(土)、11月15日(木)」</p> <p>「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、平成30年度平塚市イクボスシンポジウム「こんな会社で働きたい!～人材が集まり定着する会社とは～」開催 11月14日(水)参加者数54人</p> <p>単年度事業として、未就学児を持つ父親対象の「ひらつかパパスクール」を開講。キックオフ講演会9月30日(日)48人(夫婦19組、男性6人、女性4人)パパスクール12月9日(日)13人、12月22日(土)25人、平成31年1月26日(土)21人(夫婦9組、男性3人)</p> <p>「学校でのデートDV防止講座の開催」(4回)高校生:6月25日(月)参加者数180人、中学生:4月17日(火)参加者数109人、11月16日(金)92人、平成31年2月26日(火)158人</p> <p>平成30年度平塚市イクボスシンポジウム「こんな会社で働きたい!～人材が集まり定着する会社とは～」開催 11月14日(水)参加者数54人</p> <p>平塚市イクボス宣言企業登録制度の登録事業所数(累計33事業所)</p> <p>ひらつか男女共同参画推進協議会(女性活躍推進協議会)の開催 第5回5月21日(月)、第6回6月7日(木)、第7回10月10日(水)、第8回平成31年2月7日(木)</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">意識啓発が主な事業となるので、これらの事業の結果として意識改革が進んだかどうかを計ることが難しいこと。 企業の協力を得られるような働きかけ。男女が共に能力を発揮できる職場づくりに積極的に取り組んでいただけるような風土、土壌を作っていくこと。更に登録企業を増やすこと。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった	今後の課題		意識啓発が主な事業となるので、これらの事業の結果として意識改革が進んだかどうかを計ることが難しいこと。 企業の協力を得られるような働きかけ。男女が共に能力を発揮できる職場づくりに積極的に取り組んでいただけるような風土、土壌を作っていくこと。更に登録企業を増やすこと。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A:成果があがった											
今後の課題												
意識啓発が主な事業となるので、これらの事業の結果として意識改革が進んだかどうかを計ることが難しいこと。 企業の協力を得られるような働きかけ。男女が共に能力を発揮できる職場づくりに積極的に取り組んでいただけるような風土、土壌を作っていくこと。更に登録企業を増やすこと。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考(その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の2(4)1「男女共同参画意識改革事業」を統合した。 また、事業の名称を「就労環境の向上に向けた普及・啓発」から変更した。

2 (5) 1	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件 (新規ケース) 相談回数：1,210件 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：587件 (新規ケース) 相談回数：1,145件 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：656件 (新規ケース) 相談回数：1,335件 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)	

2 (5) 2	母子・父子自立支援事業	担当課	こども家庭課
---------	-------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
母子家庭の母又は父子家庭の父が自立するために、教育訓練講座や高等職業訓練促進への助成など自立支援給付事業を実施します。	母子・父子家庭への支援対策として、引き続き自立支援給付事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 7件 (270,317円) 高等職業訓練促進給付金等 6件 (6,994,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ひとり親家庭就学支度資金貸付 2件 (820,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況 市単事業として、ひとり親家庭就学支度資金貸付を実施し、ひとり親家庭の支援充実を図った。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 11件 (431,684円) 高等職業訓練促進給付金等 8件 (11,084,000円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 5件 (245,544円) 高等職業訓練促進給付金等 10件 (10,871,000円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請1件 母子家庭日常生活支援員の派遣 1件 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)

2 (6) 1	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで	中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数 (令和3年3月31日時点) 29,403人	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	小児医療費の助成を行った。 令和2年1月1日から小学生以上に設けていた所得制限を撤廃した。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の発行数 29,951人 医療費及び件数(養育医療給付分も含む) 医療費+手数料 764,615,969円 件数 377,798件	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	小児医療費の助成を行った。 ただし、小学生以上には所得制限を設けている。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の発行数 26,925人 医療費及び件数(養育医療給付分も含む) 医療費+手数料 763,792,537円 件数 380,621件	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

2 (6) 2	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
---------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,817世帯 4,545人 助成費及び件数 医療費+手数料 149,118,767円 件数 51,364件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,921世帯 4,777人 助成費及び件数 医療費+手数料 172,476,817円 件数 61,915件	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 2,023世帯 5,047人 助成費及び件数 医療費+手数料 182,354,674円 件数 65,211件	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

2 (6) 3	保育所保育料の軽減	担当課	保育課
---------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもの数や世帯の所得に応じた保育所保育料の軽減を維持します。	「幼児教育・保育の無償化」を踏まえながら、低所得世帯や多子世帯に対する保育所保育料の軽減に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>①「幼児教育・保育の無償化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 <p>②現行の軽減措置の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<p>保育所保育料の軽減に向けた取組について</p> <p>①現行の軽減措置の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。 <p>②幼児教育・保育の無償化実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し、保育料が無償。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<p>保育所保育料の軽減に向けた取組については、平成29年度と同様の軽減措置を継続して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		⑧その他 令和元年10月から幼児教育・保育の無償化を実施するため。

備考 (その他)

2 (6) 4	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	担当課	学務課
---------	-------------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
低所得者の負担軽減を図るため、施設等利用給付認定保護者 (子どもが従来制度の幼稚園を利用) に対する副食材料費に要する費用の一部を補助します。	対象者へ副食材料費に要する費用の一部を補助します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を補助します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A:成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)	

2 (6) 5	児童生徒就学援助事業	担当課	学務課
---------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>経済的な理由により就学が困難と認められた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。</p> <p>【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,270円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生50,600円、中学生57,400円、 【入学準備金】次年度小学1年生51,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,600円、中学生2,310円(宿泊)小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費(60,910円以内) 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】学校徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付(11,000円以内)</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A:成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>経済的な理由により就学が困難と認められた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。</p> <p>【学用品費】小学生11,520円、中学生22,510円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,250円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生40,600円、中学生47,400円、 【入学準備金】次年度小学1年生50,600円、小学6年生57,400円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,580円、中学生2,290円(宿泊)小学生3,650円以内、中学生6,150円以内 【修学旅行費】実費(60,300円以内) 【通学費】小学生39,620円以内、中学生80,070円以内、 【体育実技用具費】柔道7,570円以内、剣道52,380円以内 【給食費】学校徴収額、 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費・眼鏡購入費】現物給付</p>	検証結果	A:成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>経済的な理由により就学が困難と認められた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。</p> <p>【学用品費】小学生11,420円、中学生22,320円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,230円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生40,600円、中学生47,400円、 【入学準備金】次年度小学1年生40,600円、小学6年生47,400円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,570円、中学生2,270円(宿泊)小学生3,620円以内、中学生6,100円以内 【修学旅行費】実費(57,590円以内) 【通学費】小学生39,290円以内、中学生79,410円以内、 【体育実技用具費】柔道7,510円以内、剣道51,940円以内 【給食費】学校徴収額、 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費・眼鏡購入費】現物給付 前年度に課題として挙げていた新入学用品費の前倒し支給について、今年度から入学前の支給を開始した。</p>	検証結果	A:成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

2 (6) 6	特別支援教育就学奨励援助事業	担当課	学務課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】 実費の半額 (上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円)</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額：小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額：小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額：28,860円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		検証結果 A：成果があがった 今後の課題
令和元年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】 実費の半額 (上限額：小学1年生31,060円、小学2～6年生5,760円、中学1年生39,955円、中学2～3年生11,255円)</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額：小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額：小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額：28,570円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費】 実費の半額 (上限額：小学生5,710円、中学生11,160円)</p> <p>【新入学用品費】 実費の半額 (上限額：小学生20,300円、中学生23,700円)</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額：小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額：小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額：28,335円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

2 (6) 7	高等学校等修学支援事業	担当課	学務課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
高等学校等における修学支援を行うため、修学支援金を支給します。	募集人数の拡充を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。</p>	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。</p>	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)

2 (6) 8	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	教育扶助 小学生 188人 中学生 65人 扶助額 15,819,047円 生業扶助 高校生 70人 扶助額 9,299,253円	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	教育扶助 小学生 119人 中学生 73人 扶助額 16,539,210円 生業扶助 高校生 63人 扶助額 9,771,338円	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	教育扶助 小学生 136人 中学生 76人 扶助額 20,420,289円 生業扶助 高校生 65人 扶助額 9,323,617円	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)

2 (6) 9	児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	--------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図るため、父母の離婚、父又は母の死亡などにより、父親又は母親と生計を同じくしていない児童について、手当を支給します。	ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,692人 (令和3年3月31日時点) 支給金額 882,506,000円 (令和3年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,765人 (令和2年3月31日時点) 支給金額 1,162,337,240円	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,839人 支給金額 943,395,400円	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

2 (6) 10	特別児童扶養手当	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童の福祉の増進を図るため、精神、知的又は身体障がい等 (内部障がいを含む) で、政令に定める程度以上の障がいにある20歳未満の児童について、手当を支給します。	特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 413人 (令和3年4月30日現在)	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A: 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 404人	検証結果	A: 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 411人	検証結果	A: 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

2 (6) 11	児童手当	担当課	こども家庭課
----------	------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
次代の社会を担う児童の健やかな成長のため、0歳から15歳到達後最初の3月31日までの児童について、手当を支給します。	児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	児童手当の支給をおこなった(R3.3.31時点)。 支給児童数 児童手当 延べ人数 308,354人 特例給付 延べ人数 31,474人 施設入所 延べ人数 1,236人 支給金額 3,627,390,000円	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	児童手当の支給をおこなった。 支給児童数 児童手当 延べ人数 210,567人 特例給付 延べ人数 20,789人 施設入所 延べ人数 814人 支給金額 3,714,205,000円	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	児童手当の支給をおこなった。 支給児童数 児童手当 延べ人数 325,857人 特例給付 延べ人数 31,204人 施設入所 延べ人数 1,112人 支給金額 3,828,550,000円	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

2 (6) 12	養育医療費給付	担当課	こども家庭課
----------	---------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもが未熟児で生まれ、指定養育医療機関の医師が入院治療の必要を認めたときの医療費を助成します。	母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 51件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 42件	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 49件	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

3 (1) 1	幼児教育指導法の工夫・改善	担当課	教育指導課
---------	---------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
より豊かな幼児教育を実現するために幼稚園の運営や指導法等を研究します。	幼稚園の運営及び指導法の研究のために園長会及び主任・担任研究会を実施し、幼児教育の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 運営及び指導法の研究会として、園長会を3回計画し2回実施（1回は書面開催、1回は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止）、主任・担任研究会を8回計画し6回実施（3回は書面開催、2回は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止）した。 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の影響で、計画通りに実施とはならなかったが、こども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、取り組んだ。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">公立幼稚園が減少する中、今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		公立幼稚園が減少する中、今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
公立幼稚園が減少する中、今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">公立幼稚園が減少する中、今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③縮小して継続 令和2年度から公立幼稚園が2園のみとなるため、園長会を3回、主任・担任研究会を8回開催とする。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		公立幼稚園が減少する中、今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。		今後の事業展開とその判断理由		③縮小して継続 令和2年度から公立幼稚園が2園のみとなるため、園長会を3回、主任・担任研究会を8回開催とする。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
公立幼稚園が減少する中、今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。										
今後の事業展開とその判断理由										
③縮小して継続 令和2年度から公立幼稚園が2園のみとなるため、園長会を3回、主任・担任研究会を8回開催とする。										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> こども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた研修の場になるように配慮する。 今後の公立園の方向性についての情報を早めにつかみ、同時に園長会、主任・担任研究会の持ち方について考える必要がある。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③縮小して継続 類似事業があるため、主任・担任研究会を1回減。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> こども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた研修の場になるように配慮する。 今後の公立園の方向性についての情報を早めにつかみ、同時に園長会、主任・担任研究会の持ち方について考える必要がある。 		今後の事業展開とその判断理由		③縮小して継続 類似事業があるため、主任・担任研究会を1回減。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
<ul style="list-style-type: none"> こども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた研修の場になるように配慮する。 今後の公立園の方向性についての情報を早めにつかみ、同時に園長会、主任・担任研究会の持ち方について考える必要がある。 										
今後の事業展開とその判断理由										
③縮小して継続 類似事業があるため、主任・担任研究会を1回減。										

備考 (その他)

3 (1) 2	幼・保・小・中連携の推進事業	担当課	教育指導課 教育研究所
---------	----------------	-----	----------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
幼・保・小・中の指導の一貫性を図るために連携学習研究会や連携教育講演会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼・保・小・中の連携学習研究会等を通して指導の在り方や指導上の問題点について研究協議し、相互に理解を深め、連携や交流を推進します。 ・ 幼・保・小・中の連携を推進するために夏季研究教室の講座として、「幼保小中連携教育講演会」を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>教育指導課 ・八幡小学校、南原小学校において「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携を推進した。参集しての研究会については新型コロナウイルス感染症対策への対応のため中止した。</p> <p>教育研究所 新型コロナウイルス感染症の影響で、「幼保小中連携教育講演会」を中止とした。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>教育指導課：学校段階間での円滑な接続や教科等の横断的な学習についての研究を深めることができるよう支援が必要である。学校間の職員の参集や子どもたちの交流をどのように行っていくか検討が必要である。 教育研究所：新型コロナウイルス感染状況を鑑み、開催中止を決定したため、学校への積極的な呼びかけはできなかった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>教育研究所 より多くの教職員に参加してもらえるよう、今後も学校や幼稚園等への呼びかけを継続するとともに、開催方法の見直し等も含め、検討していく。</p> </td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		<p>教育研究所 より多くの教職員に参加してもらえるよう、今後も学校や幼稚園等への呼びかけを継続するとともに、開催方法の見直し等も含め、検討していく。</p>			
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
<p>教育研究所 より多くの教職員に参加してもらえるよう、今後も学校や幼稚園等への呼びかけを継続するとともに、開催方法の見直し等も含め、検討していく。</p>												
令和元年度	<p>教育指導課 ・「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携学習研究会を、港こども園と神田中学校を会場に開催した。</p> <p>教育研究所 ・7月25日に幼保小中連携教育講演会として、上智大学総合人間科学部教育学科の酒井朗教授を招き、「幼保小のなめらかな接続のために～幼・保・小連携をどう進めるか～」というテーマで御講演をいただいた。前半は酒井教授より幼稚園教育要領、小学校学習指導要領のそれぞれの視点を踏まえたお話や連携することのねらいや意義、他の自治体での具体的な実践事例を紹介していただいた。後半は異校種の先生方でグループを組み、情報交換を行った。市内教職員にとって大変有意義な講演会であった。(参加者 44人)</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幼保小中連携教育講演会については、より多くの教職員に参加してもらえるよう、今後も学校への呼びかけが必要である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		幼保小中連携教育講演会については、より多くの教職員に参加してもらえるよう、今後も学校への呼びかけが必要である。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
幼保小中連携教育講演会については、より多くの教職員に参加してもらえるよう、今後も学校への呼びかけが必要である。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<p>教育指導課 ・「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携学習研究会を、土屋小学校と横内小学校を会場に開催した。</p> <p>教育研究所 ・7月27日に幼保小中連携教育講演会として、国立教育政策研究所幼児教育センター統括研究員の堀越紀香氏を招き、「子供の育ちと学びをつなぐ：学校段階等間の接続と進め方」というテーマで御講演をいただいた。前半は堀越氏より幼稚園教育要領、小学校学習指導要領のそれぞれの視点を踏まえたお話や具体的な実践事例を紹介していただき、後半は異校種の先生方でグループを組み、情報交換を行った。市内教職員にとって大変有意義な講演会であった。(参加者 35人)</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幼保小中連携教育講演会については、より多くの教職員に参加してもらえるよう、学校への呼びかけが必要である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		幼保小中連携教育講演会については、より多くの教職員に参加してもらえるよう、学校への呼びかけが必要である。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
幼保小中連携教育講演会については、より多くの教職員に参加してもらえるよう、学校への呼びかけが必要である。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

3 (1) 3	幼児教育の支援	担当課	教育指導課
---------	---------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保護者の育児不安の解消と幼児の心身の健全な発達のために、幼稚園が幼児教育センター的機能として保護者の交流や教育相談等を実施します。	各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を実施します。また、各幼稚園が、地域の公民館と連携し、家庭教育学級を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。 実施園：2園 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。 実施園：4園 ・各幼稚園が地域の公民館と連携する中で、家庭教育学級を実施した。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。 実施園：4園 ・各幼稚園が地域の公民館と連携する中で、家庭教育学級を実施した。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

3 (1) 4	生きる力を育む学校づくり推進事業	担当課	教育指導課 学校給食課
---------	------------------	-----	----------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
幼児・児童・生徒の生きる力を育む学校づくりを推進するため、各学校(園)において、ふれあい教育、総合的な学習の時間、芸術鑑賞教室、食に関する指導等を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの「生きる力」を育むために、学校ごとに創意工夫をこらした特色ある教育活動を推進します。 小・中学校において作成された食に関する指導の年間計画に基づいて、給食時間、教科、委員会活動等で食に関する指導を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	教育指導課 ・ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園2園・認定こども園1園 ・「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 ・小学校の校外学習を推進した。 ・中学校の芸術鑑賞を推進した。 ・中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた様々な学習活動ができない学校もあった。 学校給食課 ・食育担当者会議を1回開催 ・食に関する指導回数については、小学校907回、中学校258回。新型コロナウイルス感染症拡大防止により、学校が長期休業となったため、実施回数を前年度よりも大幅に減らして実施した。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	教育指導課 ・ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園4園・認定こども園1園 ・「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 ・小学校の校外学習を推進した。 ・中学校の芸術鑑賞を推進した。 ・中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 学校給食課 ・食育担当者会議を1回開催 ・食に関する指導回数については、小学校1,793回、中学校265回	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	教育指導課 ・ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園4園・認定こども園1園 ・「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 ・小学校の校外学習を推進した。 ・中学校の芸術鑑賞を推進した。 ・中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 学校給食課 ・食育担当者会議を1回開催 ・平成30年度の食に関する指導回数は、小学校1,818回、中学校308回	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

3 (1) 5	外国人英語指導者の学校訪問事業	担当課	教育指導課
---------	-----------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ心を養うために、外国人英語指導者が幼稚園、認定こども園、小・中学校を訪問します。	子どもたちの英語に対する興味・関心をさらに高め、英語や外国の生活・文化に親しむ心を養うために、外国人英語指導者の増員を目指します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	・外国人英語指導者13人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校(園)：小中学校43校・幼稚園2園・認定こども園1園	前年度の課題等に対する取組状況 コロナ禍でも工夫しながら、外国人英語指導者と教員とのTTによるより効果的な授業の展開。										
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組					
		検証結果	A：成果があがった									
		今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組												
令和元年度	・外国人英語指導者12人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校(園)：小中学校43校・幼稚園4園・認定こども園1園	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">外国人英語指導者と教員とのTTによるより効果的な授業の展開。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		外国人英語指導者と教員とのTTによるより効果的な授業の展開。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A：成果があがった									
		今後の課題										
		外国人英語指導者と教員とのTTによるより効果的な授業の展開。										
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	・外国人英語指導者11人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校(園)：小中学校43校・幼稚園4園・認定こども園1園	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">外国人英語指導者と教員とのTTによる効果的な授業の展開。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		外国人英語指導者と教員とのTTによる効果的な授業の展開。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A：成果があがった									
		今後の課題										
		外国人英語指導者と教員とのTTによる効果的な授業の展開。										
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

3 (1) 6	人権教育の推進	担当課	教育指導課
---------	---------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
人権教育を推進するため教職員の研修を充実します。	人権を尊重した学校教育を確立するために人権教育担当者会を開催し、学校教育における人権教育の具体的な在り方を研究します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育担当者会を3回計画し、2回開催した(1回は書面開催、1回は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止)。人権教育担当者会では、講師を招いて講演会を開催したり、テーマごとに分科会に分かれ、授業や校内研修に向けて、研究協議を行ったりした。 各小中学校で行った授業や校内研修をまとめた人権教育実践集を作成し、5月に小中学校45校へ配付した。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育担当者会を3回開催した。 人権教育実践集を作成し、5月に小中学校45校へ配付した。 人権相談を実施(24回開催) 相談員: 人権擁護委員 原則毎月第1、第3火曜日市庁舎本館会議室 人権擁護委員のパネル展を実施(人権擁護委員について制度や活動内容等の紹介) 5月27日(月)～6月7日(金) 参加型人権啓発事業を実施 ららぼーと湘南平塚 参加者に人権に関するメッセージを記入してもらい、啓発物品を配布 令和元年9月7日(土)参加者224人、令和2年1月18日(土)参加者303人 人権キャンペーンを実施(人権週間に伴う街頭キャンペーンを平塚駅周辺にて行い、啓発物品を配布) 12月11日(水) 793人へ配布 人権メッセージ展を実施(市内中学校から集まった人権メッセージを展示) 11月25日(月)～12月6日(金) 映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」上映と人権講演会を開催 令和元年12月20日(金)参加者117人 LGBTパネル展を実施(実際のLGBTの方の声を展示) 4月10日(水)～23日(火)、8月26日(月)～9月6日(金)、令和2年2月13日(木)～28日(金) 	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育担当者会を3回開催した。 人権教育実践集を作成し、4月に小中学校45校へ配付した。 人権相談を実施(23回開催) 相談員: 人権擁護委員 原則毎月第1、第3火曜日市庁舎本館会議室 参加型人権啓発事業を実施 ららぼーと湘南平塚 参加者に人権に関するメッセージを記入してもらい、啓発物品を配布 9月8日(土)参加者253人、11月4日(日)参加者280人 人権キャンペーンを実施(人権週間に伴う街頭キャンペーンを平塚駅周辺にて行い、啓発物品を配布) 12月13日(木) 794人へ配布 人権メッセージ展を実施(市内中学校から集まった人権メッセージを展示) 11月26日(月)～12月7日(金) 人権講演会「インターネットによる人権侵害～ネット被害から子どもを守れ～」を開催 平成31年1月30日(水)参加者146人 LGBTパネル展を実施(実際のLGBTの方の声を展示) 4月9日(月)～20日(金)、8月27日(月)～9月7日(金)、平成31年2月4日(月)～15日(金) 	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の1 (1) 1 「人権擁護意識の普及・啓蒙事業」を統合した。

3 (1) 7	日本語指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
日本語の指導が必要な児童・生徒に対して、学校における日本語指導、母国語指導、生活適応指導等を支援するため要請に応じて、日本語指導協力者を小・中学校に派遣します。	学校の要請に応じて適宜日本語指導協力者を派遣します。また、国際教室等連絡協議会を開催し、日本語指導の内容や方法について情報交換等を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国際教室等連絡協議会の開催は年1回とした。 小中学校45校中32校に、日本語指導協力者21人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 国際教室等連絡協議会を3回開催した。 小中学校45校中28校に、日本語指導協力者19人を派遣した。 	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 国際教室等連絡協議会を3回開催した。 小中学校45校中35校、認定こども園1園に、日本語指導協力者19人を派遣した。 	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)

3 (1) 8	サポートチームシステム推進事業	担当課	教育指導課
---------	-----------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
小・中学生の問題行動への対策を話し合い、地域や関係機関と連携し、具体的な指導、支援を行います。	市サポート連絡会を開催するとともに、中学校区サポート委員会を各中学校区で実施します。また、個別サポートチームを必要に応じて編成し、児童・生徒への効果的な指導、支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 市サポート連絡会を3回開催した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第1回と第3回は書面開催とした。 中学校区サポート委員会を各中学校区で実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、7中学校区で定例会の開催ができなかった。 個別サポートチームの編成を必要に応じて検討した。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、サポート委員の方々が集まり行う定例会は、なかなか実施できない現状がある。 令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、定例会については、必要に応じて開催していく。								
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 市サポート連絡会を3回開催した。 中学校区サポート委員会を各中学校区で実施した。 個別サポートチームの編成を必要に応じて検討した。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
①現状の規模で継続								
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 市サポート連絡会を3回開催した。 中学校区サポート委員会を各中学校区で実施した。 個別サポートチームの編成を必要に応じて検討した。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
①現状の規模で継続								

備考 (その他)

3 (1) 9	中学校部活動指導者派遣事業	担当課	教育指導課
---------	---------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じ、専門的資質を有する部活動指導者を顧問の指導協力者として派遣します。	中学校の要請に応じ、専門的資質を有する部活動指導者を顧問の指導協力者として派遣します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ97人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		令和3年度についても、現状の規模で派遣を継続していく。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ95人を派遣した。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ98人を派遣した。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		②拡大して継続

備考 (その他)

3 (1) 10	学校支援ボランティアの活用	担当課	教育指導課
----------	---------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
学校の教育活動の充実と開かれた学校づくりのために学校支援ボランティア等地域の方々の教育力を活用します。	各学校の実情に合わせ、ボランティアの活用を図るための必要な支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で、それぞれの実情に応じて、新型コロナウイルス感染症対策や授業等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の教育力を活用した。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で、それぞれの実情に応じて、授業や行事等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の教育力を活用した。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で、それぞれの実情に応じて、授業や行事等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の教育力を活用した。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

3 (1) 11	教材・教具等の充実	担当課	教育総務課
----------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
学習環境の向上のため、教材・教具、学校図書等を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> 理科教材の充実のために各小・中学校に予算を配当するほか、理科教育設備整備費補助金を活用し、理科教育設備基準に対する整備率を向上させます。 学校図書館図書の充実のために各小・中学校に予算を配当し、学校図書館図書標準に基づき蔵書数を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均30万円8千円、中学校1校あたり平均38万3千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校18校(平均18万1千円)、中学校11校(平均26万3千円)が理科教材を購入した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円(対象校2校)、中学校約64万円分(対象校2校)の教材を購入した。 	前年度の課題等に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> 理科教材の充実については、学校運営事業への統合により、効率的な予算執行が可能となっている。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下については、引き続き検討が必要である。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		<ul style="list-style-type: none"> 図書の保管スペースの確保。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均31万円4千円、中学校1校あたり平均38万5千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校15校(平均8万1千円)、中学校11校(平均22万2千円)が理科教材を購入した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円(対象校2校)、中学校約64万円分(対象校2校)の教材を購入した。 	検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の課題 今年度も限られた予算の中で、ほかの事業とのバランスも考慮しつつ予算を確保できるかが課題となっていたが、平成31年度から理科教材等充実事業を学校運営事業に統合し、効率よく執行できるように変更した。 古い図書や理科教材の廃棄により蔵書率・整備率が向上しないことについては引き続き課題検討していく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均31万円、中学校1校あたり平均20万7千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校1校あたり平均11万4千円、中学校1校あたり平均18万円を理科教材購入費用として小学校5校、中学校は4校に配当した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円(対象校2校)、中学校約61万円分(対象校2校)の教材を購入した。 	検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の課題 今年度も限られた予算の中で、ほかの事業とのバランスも考慮しつつ予算を確保できるかが課題となっていた。1つの改善策として、平成31年度から理科教材等充実事業を学校運営事業に統合し、効率よく執行できるように変更を考えている。また、古い図書や理科教材の廃棄により、蔵書率・整備率が向上しないことについては引き続き課題検討していく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

3 (1) 12	研修・研究推進事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-----------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
特別な配慮を要する児童・生徒を支援するため、必要に応じて小・中学校に相談支援チームを派遣して校内支援体制の整備を推進するとともに、各種研究会・研修会を実施します	インクルーシブ教育の推進を図るとともに、校内支援体制の充実を図るために、相談支援チームの派遣や、内容を精査した研修会・研究会等の開催に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止または開催数を減らして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級訪問研究会・・・1回実施、参加者43人 通級指導教室訪問研究会・・・4回実施、参加者延べ80人 特別支援教育研修会・・・4回実施（書面開催） 教育相談・支援教育研修会・・・6回すべて中止 相談支援チームの派遣・・・21回実施、対象児童生徒数延べ29人 コーディネーター担当者会・・・書面開催1回 集合開催2回 参加者85人 学校訪問事例研究会・・・5回実施、参加者延べ104人 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止や規模を縮小したため、例年のような研修会の実施ができなかったが、実施方法を工夫し、児童・生徒の支援に必要な情報を提供することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">研修会の内容を精査するとともに、開催方法についてさらに検討し、学校に必要な支援や情報を提供できるよう努める。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		研修会の内容を精査するとともに、開催方法についてさらに検討し、学校に必要な支援や情報を提供できるよう努める。			
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
研修会の内容を精査するとともに、開催方法についてさらに検討し、学校に必要な支援や情報を提供できるよう努める。												
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級訪問研究会・・・3回実施、参加者延べ229人 通級指導教室訪問研究会・・・4回実施、参加者延べ161人 特別支援教育研修会・・・6回実施、参加者延べ312人 教育相談・支援教育研修会・・・7回実施、参加者延べ514人（教育相談コーディネーター担当者会及び特別支援教育研修会からの参加者を含む。） 相談支援チームの派遣・・・40回実施、対象児童生徒数延べ40人 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">研修会や研究会の内容を精査し、実施の仕方を工夫して開催した。今後も、校種間、関係機関等と連携して校内支援体制を構築していく。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		研修会や研究会の内容を精査し、実施の仕方を工夫して開催した。今後も、校種間、関係機関等と連携して校内支援体制を構築していく。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
研修会や研究会の内容を精査し、実施の仕方を工夫して開催した。今後も、校種間、関係機関等と連携して校内支援体制を構築していく。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級訪問研究会・・・3回実施、参加者延べ219人 通級指導教室訪問研究会・・・4回実施、参加者延べ117人 特別支援教育研修会・・・6回実施、参加者延べ211人 教育相談・支援教育研修会・・・7回実施、参加者延べ514人（教育相談コーディネーター担当者会からの参加者を含む。） 相談支援チームの派遣・・・25回実施、対象児童生徒数延べ41人 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">研修会や研究会の内容を精査し、実施の仕方を工夫して開催している。今後も、校種間、関係機関等と連携して校内支援体制を構築していくことが必要である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		研修会や研究会の内容を精査し、実施の仕方を工夫して開催している。今後も、校種間、関係機関等と連携して校内支援体制を構築していくことが必要である。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
研修会や研究会の内容を精査し、実施の仕方を工夫して開催している。今後も、校種間、関係機関等と連携して校内支援体制を構築していくことが必要である。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画5（4）③6「支援教育等の推進・充実事業」から事業名称を変更した。

3 (1) 13	放課後自主学習教室事業	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、放課後に小学校4～6年生を対象に学習支援をします。	実施校の拡充を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校4校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
		実施校の増加を目指すには学習支援員の確保が必要であるため、それと併せて学習支援ボランティアの募集に努める。	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)

3 (2) 1	教育相談事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	--------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒及びその保護者に対し、各専門機関と連携しながら教育相談を行います。	児童・生徒及びその保護者の相談に対して、各専門機関と連携しながら適切に対応していくとともに、専門的な知識と技能を有する相談員を配置していくよう努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の臨時休業中は来所相談を中止し、電話相談のみとした。</p> <p>来所相談298件 電話相談288件 特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対する学校巡回相談を実施 依頼延べ人数249人 訪問回数延べ37回 不登校児童・生徒に対する訪問相談を実施 2ケース 訪問回数延べ95回 教育相談所内研修会9回開催 参加人数延べ145人 機関誌「そうだん」の発行</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業のため、相談件数等の減少が見られたが、再開後は実施方法を工夫しながら教育相談を行うことができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を継続する。また、教育相談体制の充実を図るとともに、関係課と連携し切れ目のない支援体制を構築していく。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を継続する。また、教育相談体制の充実を図るとともに、関係課と連携し切れ目のない支援体制を構築していく。			
検証結果	A：成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を継続する。また、教育相談体制の充実を図るとともに、関係課と連携し切れ目のない支援体制を構築していく。												
令和元年度	<p>特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対する学校巡回相談を実施 依頼延べ人数427人 訪問回数延べ73回 不登校児童・生徒に対する訪問相談を実施 5ケース 訪問回数延べ131回 教育相談所内研修会 9回開催 参加人数延べ153人 学校訪問事例研究会 5回開催 参加人数延べ129人 教育相談コーディネーター担当者会 4回開催 参加人数延べ122人 (3回分の人数。1回は、教育相談・支援教育研修会に参加する(参加日は本人選択)。) 機関誌「そうだん」の発行</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対し適切な対応・支援を行うことができた。今後も、教育相談体制の充実を図るとともに、関係課と連携し切れ目のない支援体制を構築していく。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ②拡大して継続 支援を必要とする児童・生徒に対する相談依頼の </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対し適切な対応・支援を行うことができた。今後も、教育相談体制の充実を図るとともに、関係課と連携し切れ目のない支援体制を構築していく。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続 支援を必要とする児童・生徒に対する相談依頼の	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対し適切な対応・支援を行うことができた。今後も、教育相談体制の充実を図るとともに、関係課と連携し切れ目のない支援体制を構築していく。												
今後の事業展開とその判断理由												
②拡大して継続 支援を必要とする児童・生徒に対する相談依頼の												
平成30年度	<p>特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対する学校巡回相談を実施 依頼延べ人数404人 訪問回数延べ81回 不登校児童・生徒に対する訪問相談を実施 4ケース 訪問回数延べ188回 教育相談所内研修会 10回開催 参加人数延べ173人 学校訪問事例研究会 5回開催 参加人数延べ114人 教育相談コーディネーター担当者会 4回開催 参加人数延べ118人 (3回分の人数。1回は、教育相談・支援教育研修会に参加する(参加日は本人選択)。) 機関誌「そうだん」の発行</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 巡回相談の実施により、特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対し適切な対応・支援を行った。今後も、教育相談体制の充実を図るとともに、切れ目のない支援体制を構築していく必要がある。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ②拡大して継続 支援を必要とする児童・生徒に対する相談依頼の増加に対して十分な対応・支援が行えるようになる必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		巡回相談の実施により、特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対し適切な対応・支援を行った。今後も、教育相談体制の充実を図るとともに、切れ目のない支援体制を構築していく必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続 支援を必要とする児童・生徒に対する相談依頼の増加に対して十分な対応・支援が行えるようになる必要がある。	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
巡回相談の実施により、特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対し適切な対応・支援を行った。今後も、教育相談体制の充実を図るとともに、切れ目のない支援体制を構築していく必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
②拡大して継続 支援を必要とする児童・生徒に対する相談依頼の増加に対して十分な対応・支援が行えるようになる必要がある。												

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画3(2)1「教育相談体制の充実事業」から事業名称を変更した。

3 (2) 2	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	----------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。	スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>13人(週3日勤務)による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回2241回、教室等でのエクササイズ1回、外部関係者・機関との情報交換130回、教職員向け研修会7回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席75回、校内支援会議への参加206回、家庭訪問18回、その他22回 計2700回 ・来室相談延べ人数：小学生1172人、中学生659人、小学生保護者1291人、中学生保護者298人、小学校教員2616人、中学校教員1129人 計7165人 ・来室相談内容延べ人数：不登校1863人、いじめ21人、暴力62人、虐待257人、友人・異性関係570人、貧困13人、非行35人、家庭環境768人、教職員との関係144人、心身の健康・保健823人、学業進路470人、発達1431人、その他708人 計7165人 ・電話相談延べ人数：小学生17人、中学生70人、小学生保護者344人、中学生保護者145人、小学校教員11人、中学校教員10人 計597人 ・電話相談内容延べ人数：不登校183人、いじめ2人、暴力0人、虐待11人、友人・異性関係27人、貧困0人、非行7人、家庭環境74人、教職員との関係20人、心身の健康・保健60人、学業進路46人、発達141人、その他26人 計597人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により学校が臨時休業となったため、相談件数は減少した。しかし、休業中はコロナ禍における心のケアに関する情報提供を行ったり、学校再開後は児童・生徒の様子を観察し、カウンセリングや教職員への情報提供などを行った。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和元年度	<p>13人(週3日勤務)による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回2223回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換168回、教職員向け研修会9回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会・スクールカウンセラー連絡会等出席78回、校内支援会議への参加217回、家庭訪問42回、その他36回 計2777回 ・来室相談延べ人数：小学生1440人、中学生772人小学生保護者1313人、中学生保護者459人、小学校教員3131人、中学校教員1457人 計8572人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2256人、いじめ92人、暴力143人、虐待89人、友人・異性関係891人、貧困14人、非行74人家庭環境803人、教職員との関係168人、心身の健康・保健1008人、学業進路626人、発達1934人、その他474人 計8572人 ・電話相談延べ人数：小学生12人、中学生60人、小学生保護者248人、中学生保護者93人、小学校教員33人、中学校教員5人 計451人 ・電話相談内容延べ人数：不登校167人、いじめ3人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係18人、貧困0人、非行0人、家庭環境33人、教職員との関係8人、心身の健康・保健47人、学業進路21人、発達74人、その他80人 計451人</p>	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		<p>スクールカウンセラーを増員し、県のスクールカウンセラーと合わせて全中学校に週2回配置し、児童・生徒、保護者に対し教育相談の充実を図る必要がある。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p> <p>スクールカウンセラーを小学校へ週1回、中学校へ県のスクールカウンセラーと合わせて週2回配置し、その後は勤務日の増加を目指すため。</p>
平成30年度	<p>13人(週3日勤務)による市内小学校28校、中学校15校での相談活動内容 ・教室巡回2388回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換202回、教職員向け研修会12回、保護者・地域向け講演会4回、児童・生徒担当者会・スクールカウンセラー連絡会等出席81回、校内支援会議への参加253回、家庭訪問106回、その他91回 計3141回 ・来室相談延べ人数：小学生1605人、中学生862人小学生保護者1368人、中学生保護者360人、小学校教員3062人、中学校教員1484人 計8741人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2547人、いじめ89人、暴力163人、虐待96人、友人・異性関係1043人、貧困5人、非行54人家庭環境609人、教職員との関係285人、心身の健康・保健677人、学業進路447人、発達2267人、その他459人 計8741人 ・電話相談延べ人数：小学生18人、中学生73人、小学生保護者233人、中学生保護者142人、小学校教員20人、中学校教員29人計515人 ・電話相談内容延べ人数：不登校273人、いじめ1人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係18人、貧困0人、非行14人、家庭環境12人、教職員との関係21人、心身の健康・保健23人、学業進路21人、発達95人、その他37人 計515人</p>	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		<p>スクールカウンセラーを増員し、県のスクールカウンセラーと合わせて全中学校に週2回配置し、児童・生徒、保護者に対し教育相談の充実を図る必要がある。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p> <p>スクールカウンセラーを小学校へ週1回、中学校へ県のスクールカウンセラーと合わせて週2回配置し、その後は勤務日の増加を目指すため。</p>

備考 (その他)

3 (2) 3	スクールソーシャルワーカー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	-------------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
社会福祉に関する専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣します。	スクールソーシャルワーカーを各小・中学校の要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 71件、延べ訪問回数 73回、ケース会議への参加17回、関係機関との連携（含電話）609回 中学校：相談件数 66件、延べ訪問回数 54回、ケース会議への参加22回、関係機関との連携（含電話）410回	前年度の課題等に対する取組状況 学校の臨時休業により、学校が児童・生徒の環境について把握することが難しかったため、スクールソーシャルワーカーへの要請も少なかった。その中でも学校からの要請に対して適切に対応することができた。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
令和元年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 84件、延べ訪問回数 91回、ケース会議への参加45回、関係機関との連携（含電話）719回 中学校：相談件数 122件、延べ訪問回数 83回、ケース会議への参加35回、関係機関との連携（含電話）604回	前年度の課題等に対する取組状況 学校の臨時休業により、学校が児童・生徒の環境について把握することが難しかったため、スクールソーシャルワーカーへの要請も少なかった。その中でも学校からの要請に対して適切に対応することができた。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。	
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
平成30年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 91件、延べ訪問回数80回、ケース会議への参加51回、関係機関との連携（含電話）725回 中学校：相談件数 124件、延べ訪問回数108回、ケース会議への参加69回、関係機関との連携（含電話）898回	前年度の課題等に対する取組状況 学校の臨時休業により、学校が児童・生徒の環境について把握することが難しかったため、スクールソーシャルワーカーへの要請も少なかった。その中でも学校からの要請に対して適切に対応することができた。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。	
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										

備考 (その他)

4 (1) 1	交通安全啓発推進事業	担当課	交通政策課
---------	------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
幼稚園、保育所、認定こども園、学校等において交通安全教室を開催し、交通事故防止と交通安全の啓発を行います。	交通ルールやマナーの周知を継続的に実施し、交通事故防止と交通安全意識の向上を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	交通安全教室実施回数149回 (新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも実施回数が減少した)	前年度の課題等に対する取組状況 多くの学校等で交通安全教室を実施できるよう、市内にあるすべての保育園(所)、幼稚園、認定こども園及び小学校に対し、交通安全教室の活用に関する案内及びYouTubeで公開している交通安全動画のポスターを送付した。
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 翌年度に向けて、密を避けるなどの新しい生活様式に対応した交通安全教室の実施を検討し、例年と同じ規模で実施していく。また、保育園(所)、幼稚園、認定こども園、小学校等に周知をしていくことで少しでも多くの学校等で交通安全教室を実施できるように努める。
令和元年度	交通安全教室実施回数224回	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題 交通安全教室の実施依頼がない幼稚園、保育所(園)、小学校等にも周知を行い、少しでも多くの学校等で交通安全教室を実施できるように努める。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		検証結果 A: 成果があがった
平成30年度	交通安全教室実施回数 224回	今後の課題 交通安全教室の実施依頼がない幼稚園、保育所(園)、小学校等にも周知を行い、少しでも多くの学校等で交通安全教室を実施できるように努める。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題 交通安全教室の実施依頼がない幼稚園、保育所(園)、小学校等にも周知を行い、少しでも多くの学校等で交通安全教室を実施できるように努める。

備考 (その他)	

4 (1) 2	歩道設置事業	担当課	道路整備課
---------	--------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
交通量の多い道路や通学路において、歩行者と車両を分離し、歩行者等の通行空間を整備することにより、道路利用者の安全確保に取り組みます。	幹線道路や通学路などに歩行者等の安全を確保するため、計画的に歩道整備を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	整備延長 300m 真土金目線 124m 八幡愛甲線 15m 城所線 161m 用地取得 140㎡ 真土金目線 71㎡ 八幡愛甲線 5㎡ 北金目真田線 64㎡	前年度の課題等に対する取組状況 既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。										
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。			
		検証結果	A：成果があがった									
		今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組												
幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>		検証結果	A：成果があがった	今後の課題		幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>		検証結果	A：成果があがった	今後の課題		幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
令和元年度	整備延長 38m 八幡愛甲線 38m 幹線道路の歩道整備については、既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A：成果があがった									
今後の課題												
幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>		検証結果	A：成果があがった	今後の課題		幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	整備延長 388m 吉沢土屋線 156m 城所線 157m 真土金目線 29m 東海大学前駅真田線 46m 幹線道路の歩道整備については、既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A：成果があがった									
今後の課題												
幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>		検証結果	A：成果があがった	今後の課題		幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

4 (1) 3	通学路合同点検事業	担当課	教育指導課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
通学路の安全を確保するため、各学校からあげられた通学路の危険箇所を学校、保護者、自治会等地域住民、警察、道路管理者等で通学路の合同点検を実施し、安全対策案の検討・対策の実施を進めます。	合同点検を実施し、安全対策案の検討・対策の実施を進めます。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和2年度	通学路合同点検を3日開催した。 通学路交通安全推進会議を1回開催した。 合同点検実施学校数：8校 合同点検実施箇所数：16箇所	前年度の課題等に対する取組状況 P D C A サイクルとして繰り返し実施し、事業の改善・充実を図る必要がある。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		今後の事業展開	①現状の規模で継続	
翌年度に向けた課題と取組				
新型コロナウイルス感染症の蔓延に配慮しつつも、継続的に合同点検を実施していく。				
令和元年度	通学路合同点検を8日開催した。 通学路交通安全推進会議を1回開催した。 合同点検実施学校数：19校 合同点検実施箇所数：50箇所	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		今後の課題		
		P D C A サイクルとして繰り返し実施し、事業の改善・充実を図る必要がある。		
		今後の事業展開とその判断理由		
①現状の規模で継続				
平成30年度	通学路合同点検を4日開催した。 通学路交通安全推進会議を1回開催した。 合同点検実施学校数：16校 合同点検実施箇所数：29箇所	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		今後の課題		
		P D C A サイクルとして繰り返し実施し、事業の改善・充実を図る必要がある。		
		今後の事業展開とその判断理由		
①現状の規模で継続				

備考 (その他)

4 (2) 1	地域安全運動の推進	担当課	危機管理課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、市民の防犯意識の高揚を図るため、関係機関及び関係団体と連携し地域安全運動や地域安全運動推進大会、研修会等を実施します。 地域の防犯活動を支援します。 	警察や防犯協会と連携し、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業を中止または延期した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域安全運動推進大会の実施 (翌年度へ延期) 安全・安心まちづくり旬間、年末年始特別警戒期間、毎月10日 (防犯の日) 等に地域安全運動等を実施 (中止) 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロックやかごネット等の防犯啓発グッズを配布 地域見守り花植え活動の実施 (チューリップの球根を23支部に配布) 防犯講話の実施 (警察と連携し、2回実施) 防犯教室は中止 大型商業施設等の駐輪場への警報機付き自転車の設置 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>駅周辺の駐輪場や大型商業施設に警報機付き自転車を設置し、自転車の盗難防止対策を進めた。設置場所は、「駅西口第3駐輪場」と「ららぽーと湘南平塚敷地内駐輪場」の2カ所。</p>										
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、地域安全運動を継続していく。</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、地域安全運動を継続していく。			
		検証結果	A: 成果があがった									
		今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組												
新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、地域安全運動を継続していく。												
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域安全運動推進大会の実施 (154人参加) 安全・安心まちづくり旬間、年末年始特別警戒期間、毎月10日 (防犯の日) 等に地域安全運動等を実施 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロックやかごネット等の防犯啓発グッズを配布 地域見守り花植え活動の実施 (チューリップの球根を23支部に配布) 防犯講話や防犯教室の実施 (警察や防犯協会等の関係機関と連携し、4回実施) 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">無施錠による自転車盗への対策など</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		無施錠による自転車盗への対策など		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A: 成果があがった									
		今後の課題										
		無施錠による自転車盗への対策など										
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域安全運動推進大会の実施 (245人参加) 安全・安心まちづくり旬間、年末年始特別警戒期間、毎月10日 (防犯の日) 等に地域安全運動等を実施 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロックやかごネット等の防犯啓発グッズを配布 地域見守り花植え活動の実施 (チューリップの球根を23支部に配布) 防犯講話や防犯教室の実施 (警察や防犯協会等の関係機関と連携し、6回実施) 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地域見守り花植え活動の拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		地域見守り花植え活動の拡大		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A: 成果があがった									
		今後の課題										
		地域見守り花植え活動の拡大										
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)			

4 (2) 2	地域安全施設整備事業	担当課	危機管理課
---------	------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、防犯街路灯の維持管理を行うとともに、基準に基づき設置します。	自治会等の要望を確認し、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯街路灯の新設36灯 防犯街路灯維持管理補助金 (13団体計117灯に補助) 平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会が設置した防犯街路灯用自立柱の維持管理について、老朽化等を考慮した維持管理の方針を定めた。 LED化後に耐用年数を迎える防犯街路灯について、更新計画を定めた。 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会が設置した防犯街路灯用自立柱の維持管理に関する方針に沿った事業の実施 LED化後に耐用年数を迎える防犯街路灯の更新計画に沿った具体的な更新手法の検討
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯街路灯の新設61灯 防犯街路灯維持管理補助金 (14団体計125灯に補助) 平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 防犯カメラ設置補助金 (10団体14台に補助) 	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会が設置した防犯街路灯用自立柱の維持管理に関する調整 LED化後に耐用年数を迎える防犯街路灯の更新 <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯街路灯の新設65灯 防犯街路灯維持管理補助金 (15団体計146灯に補助) 平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 防犯カメラ設置補助金 (11団体15台に補助) 	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会が設置した防犯街路灯用自立柱の維持管理方法の検討 未整備箇所への防犯街路灯の整備 <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>

備考 (その他)

4 (2) 3	通学路安全対策事業	担当課	教育指導課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒の安心・安全な通学を確保するために、地域との連携により、見守り活動の推進や通学路の環境を整備します。	学校との連携により、児童・生徒が安全で安心して通学できる環境づくりを進める地域団体に対し、通学路安全対策事業の経費を補助します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生下校時に実施 (4月) ・秋季休業開始時に実施 (10月) ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施 地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める6団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額173,700円を交付した。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		通学路の安全対策を行う団体に対し周知が行き渡るよう交通政策課の事業と協力するなどの手法を検討する。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生下校時に実施 (4月) ・秋季休業開始時に実施 (10月) ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施 地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める8団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額319,964円を交付した。	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生下校時に実施 (4月) ・秋季休業開始時に実施 (10月) ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施 地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める8団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額298,480円を交付した。	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の4 (2) 3 「学校 (園) の安全対策事業」を統合した。

4 (2) 4	子どもの安全対策の推進	担当課	社会教育課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
市内の各中学校区の地域教育力ネットワーク協議会が行う「こどもサポート看板」の設置・管理や防犯パトロールの活動を支援し、子どもの安全確保に努めます。	市内の公共施設、住宅、店舗等への「こどもサポート看板」の設置に努めるとともに、引き続き防犯パトロールを行い、地域全体で子どもたちを見守る活動を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	看板設置枚数 2,102枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	前年度の課題等に対する取組状況 新小学1年生へのチラシ配布と広報ひらつかへの掲載を行い、看板の周知を図った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 小学1年生へのチラシ配布や広報ひらつかへの掲載等を行っているが、今後も保護者や地域諸団体への継続した周知が必要。
令和元年度	看板設置枚数 2,096枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題 小学1年生へのチラシ配布、小・中学校へのポスター掲示や広報ひらつかへの掲載等を行っているが、今後も保護者や地域諸団体への継続した周知が必要。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	看板設置枚数 2,101枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題 小学1年生へのチラシ配布、小・中学校へのポスター掲示や広報ひらつかへの掲載等を行っているが、今後も保護者や地域諸団体への継続した周知が必要。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

4 (3) 1	安全対策の推進	担当課	みどり公園・水辺課 総合公園課 青少年課
---------	---------	-----	----------------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公園等の点検・整備を行い、子どもの遊び場の安全確保に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直営による公園施設の点検において、ベンチや一般的な遊具等の共通項目だけでなく、公園特性に応じた附帯的な施設についても、細やかな部分まで点検を行い、安全管理を徹底します。 ・ 安全に遊ぶことができる広場にするために定期的な巡回点検を行い、修繕等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>みどり公園・水辺課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の公園施設の点検を10回 (うち6回は遊具のみ点検) 実施。 ・ 点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・ 各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・ 要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・ 公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・ 公園遊具の事故件数0件 <p>総合公園課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合公園において日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施。 ・ 日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕の実施。 ・ 安全対策として、国庫補助金を利用した、老朽化したわんぱく広場複合遊具の更新を実施した。 <p>青少年課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内13か所の青少年広場、ちびっ子広場の管理、今里西ちびっ子広場防球ネット張替修繕、広場2か所すべり台塗装修繕、寺分ちびっ子広場樹木伐採、今里西ちびっ子広場危険木伐採、金田青少年広場新設に係る防球フェンス等設置工事及び草刈り業務委託 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>みどり公園・水辺課</p> <p>直営による施設点検に加え、公園施設安全管理士による遊具点検 (委託) を行った。</p> <p>総合公園課</p> <p>経年劣化した複合遊具の更新に着手することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">みどり公園・水辺課、青少年課: 安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総合公園課: 安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		みどり公園・水辺課、青少年課: 安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。		総合公園課: 安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。	
		検証結果	A: 成果があがった									
		今後の事業展開	①現状の規模で継続									
		翌年度に向けた課題と取組										
みどり公園・水辺課、青少年課: 安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。												
総合公園課: 安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。												
令和元年度	<p>みどり公園・水辺課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の公園施設の点検を10回 (うち6回は遊具のみ点検) 実施。 ・ 点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・ 各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・ 要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・ 公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・ 公園遊具の事故件数0件 <p>総合公園課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合公園において、日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施。 ・ 日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕の実施。 ・ 安全対策として、国庫補助金を利用した、わんぱく広場複合遊具更新の検討を行った。 <p>青少年課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内14か所 (※11月1日以降は13か所) の青少年広場、ちびっ子広場の管理、広場3か所のブランコ修繕、江南児童遊園の樹木伐採、松が丘青少年広場土留め修繕、横内児童遊園の地権者への返還 (10月31日付) 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっています。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっています。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A: 成果があがった									
		今後の課題										
		安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっています。										
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<p>みどり公園・水辺課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の公園施設の点検を10回 (うち6回は遊具のみ点検) 実施。 ・ 点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・ 各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・ 要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・ 公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・ 公園遊具の事故件数0件 <p>総合公園課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合公園において、毎日の日常点検および専門業者による遊具の保守点検の実施 ・ 点検・指摘等により発見された遊具の修繕の実施、及び基準を満たさなくなった遊具の撤去 <p>青少年課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内14か所の青少年広場、ちびっ子広場の管理。横内児童遊園の草刈、上山下なかよし広場のすべり台撤去、今里西ちびっ子広場ネットフェンス修繕、中宿子ども広場の地権者への返還 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">安全性の確保が求められるため、経年劣化してしまった遊具の修繕か撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっています。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		安全性の確保が求められるため、経年劣化してしまった遊具の修繕か撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっています。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	A: 成果があがった									
		今後の課題										
		安全性の確保が求められるため、経年劣化してしまった遊具の修繕か撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっています。										
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

4 (3) 2	公園整備事業	担当課	みどり公園・水辺課
---------	--------	-----	-----------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公園等を計画的に整備するとともに、整備の際は子どもの発育段階に応じた遊具の設置、配置等を考慮し、遊び場の確保を図ります。	子どもの発育段階に対応した遊具を計画的に整備・補修します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 大久保公園、桜ヶ丘公園計2公園に4基の揺動遊具設置工事。 長持かすみ町公園に滑り台(複合遊具(小))設置工事。 公園の長寿命化に向けて検討を進めている。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 優先順位をつけ、計画的に遊具整備を行った。 効率的かつ経済的に長寿命化を行うため「公園管理指針」などの見直しを図っている。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。			
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。												
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 馬入公園、柳町公園、山下北公園、青柳公園、八間通り公園計5公園の揺動遊具設置工事。 公園の長寿命化に向けて検討を進めている。 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 山下東公園のコンクリート遊具改修工事(平成29年～ 継続事業) 湘南海岸公園、桃浜公園、八幡山公園、高村公園、めぐみが丘公園、金目親水公園計6公園の揺動遊具設置工事 公園の長寿命化に向けて、市内の公園を対象に「公園管理指針」の検討を進めている。 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市内にある公園施設を効率的かつ経済的に維持管理を進めるため、優先順位をつけ、施設の長寿命化を図っていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		市内にある公園施設を効率的かつ経済的に維持管理を進めるため、優先順位をつけ、施設の長寿命化を図っていく必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
市内にある公園施設を効率的かつ経済的に維持管理を進めるため、優先順位をつけ、施設の長寿命化を図っていく必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

4 (4) 1	歩道のバリアフリー化事業	担当課	道路整備課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
歩行者の安全性の向上や、妊婦、ベビーカー使用者等の子育て世代にも優しいまちづくりを進めるため、歩道の段差改修等を行い、歩道のバリアフリー化を進めます。	平塚市バリアフリー基本構想に位置づけられた生活関連経路における歩道の巻込み部の段差改修等を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	段差解消 2か所	前年度の課題等に対する取組状況 移動等円滑化基準に適合した歩道の整備を行った。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		平塚市バリアフリー基本構想の変更（一部改定）が予定されており、引き続き、歩道の新設や改良を行う場合には、移動等円滑化基準に適合した整備を推進していく。
令和元年度	段差解消 14か所	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続 現行の平塚市バリアフリー基本構想の目標年次は
平成30年度	段差解消 47か所	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)	

4 (4) 2	公共交通のバリアフリー化事業	担当課	交通政策課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
妊婦、ベビーカー使用者等の子育て世代を含めた全ての市民の公共交通による移動の利便性や安全性の向上を図るために、市内の交通事業者に対して、ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシーの導入を支援します。	ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシー導入率の向上に向け、交通事業者と連携を図りながら、導入を支援します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	ノンステップバスの導入台数 0台 (累計114台) ユニバーサルデザインタクシーの導入台数 2台 (累計29台) (新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少したことから交通事業者による車両導入が見送られた)	前年度の課題等に対する取組状況
		ノンステップバスの導入台数114台は導入率69% (目標70%)にあたるため、概ね達成した。ユニバーサルデザインタクシーの導入は目標の29台を達成した。また、広域的な取組である県への要望や近隣市への働きかけは継続して行った。
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	バス事業者に対しノンステップバスの導入を補助し、バス事業者がノンステップバス6台を導入しました。(累計114台)	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		市域を跨ぐ路線では、管轄の営業所によってノンステップバスの車両数に差がある。ノンステップバスの導入を広域的に進めていくには、営業所の所在の有無に関係なく補助を行うことができる制度が必要であり、引き続き神奈川県に対して車両購入に対する補助制度の創設を要望していく。さらに、近隣市に対しても同様に導入促進の働きかけを行っていく。
		今後の事業展開とその判断理由
平成30年度	バス事業者に対しノンステップバスの導入を補助し、バス事業者がノンステップバス12台を導入しました。(累計108台)	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		市域を跨ぐ路線では、管轄の営業所によってノンステップバスの車両数に差がある。ノンステップバスの導入を広域的に進めていくには、営業所の所在の有無に関係なく補助を行うことができる制度が必要であり、引き続き神奈川県に対して車両購入に対する補助制度の創設を要望していく。
		今後の事業展開とその判断理由
①現状の規模で継続		

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画4(4)2「ノンステップバス推進事業」から事業名称を変更した。

4 (5) 1	環境実態調査	担当課	青少年課
---------	--------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
県が主催する青少年を取り巻く環境実態調査に協力し現地調査をします。	現状どおりの調査を継続して行っていく予定です。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と調査員の安全確保の観点から、調査対象を絞った上で、県青少年課職員が訪問又は電話により実施した。 調査対象はカラオケボックス、書店。 《主な調査項目》 カラオケボックス：営業時間、条例に基づく措置、客席の状況 書店：有害図書類（本、雑誌等）、同（映像ソフト）</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>県と市町村が連携して次のとおり社会環境実態調査を実施した。 令和元年度は、インターネットカフェ・まんが喫茶、複合店等を対象に主に7月から9月までの間に青少年指導員が店舗を訪問して調査を行った。（崇善、豊田、勝原の3地区で実施） 《主な調査項目》 インターネットカフェ・まんが喫茶：条例に基づく措置、客席の状況 複合店等：有害図書類等（本・雑誌等）、有害図書類等（映像ソフト）、Z区分ゲームソフト</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>県と市町村が連携して次のとおり社会環境実態調査を実施した。 平成30年度は、カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶、書店を対象に主に7月から9月までの間に青少年指導員が店舗を訪問して調査を行った。（崇善、松原、富士見、花水、旭、神田の6地区で実施） 《主な調査項目》 カラオケボックス：営業時間、条例に基づく措置、客席の状況 インターネットカフェ・まんが喫茶：条例に基づく措置、客席の状況 書店：有害図書類（本、雑誌等）、同（映像ソフト）</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

4 (5) 2	違反屋外広告物除去事業	担当課	まちづくり政策課
---------	-------------	-----	----------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
道路上等における違反屋外広告物 (風俗広告物含む) の掲示により、青少年の育成に悪影響を与える恐れも考えられるため、この課題を未然に防止する観点からも実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回の除却キャンペーンの開催を継続して行います。 ・ 職員による巡回、地域のボランティアの協力等により除却活動を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外広告物適正化旬間での除却活動及び屋外広告物の除却キャンペーンは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止。 ・ 影響を受けない範囲での活動を模索し、景観重点区域を中心とした違反屋外広告物の除却活動を実施。 (実施回数：5回 参加者・職員延べ10人 除却枚数：計251枚) 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、除却活動の回数は減少したが、職員のみで取り組むことで、青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物を除却できた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物は、市内全域で減少しているものの、常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。(ただし、屋外広告物条例では、広告物の内容による規制を行っていないため、その他の基準に適合していれば、青少年の育成に悪影響を与えるものであっても除却等は行うことはできません。) </td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物は、市内全域で減少しているものの、常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。(ただし、屋外広告物条例では、広告物の内容による規制を行っていないため、その他の基準に適合していれば、青少年の育成に悪影響を与えるものであっても除却等は行うことはできません。)			
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物は、市内全域で減少しているものの、常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。(ただし、屋外広告物条例では、広告物の内容による規制を行っていないため、その他の基準に適合していれば、青少年の育成に悪影響を与えるものであっても除却等は行うことはできません。)												
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外広告物適正化旬間において、平塚駅前周辺及び景観重点区域にて違反屋外広告物の除却活動を実施。 (実施回数：4回、参加者：職員延べ8人) ・ 違反屋外広告物の除却キャンペーンを開催。 (実施回数：1回 参加者：ボランティア31人、事業者4人、警察署員2人、職員12人 除却枚数：82枚) ・ 景観重点区域を中心とした違反屋外広告物の除却活動を開催。 (実施回数：2回 参加者：職員延べ4人 除却枚数：88枚) ・ その他、神奈川県警察と協力し、道路上に不法に占用された風俗店等の看板を指導した。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 青少年の育成上に悪影響を与える違反屋外広告物が、市内全域で減少している。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		青少年の育成上に悪影響を与える違反屋外広告物が、市内全域で減少している。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
青少年の育成上に悪影響を与える違反屋外広告物が、市内全域で減少している。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外広告物適正化旬間において、平塚駅前周辺及び景観重点区域にて違反屋外広告物の除却活動を実施。 (実施回数：5回、参加者：職員延べ9人) ・ 違反屋外広告物の除却キャンペーンを開催。 (実施回数：1回 参加者：ボランティア28人、事業者5人、警察署員4人、職員9人 除却枚数：96枚) ・ 景観重点区域で違反屋外広告物の除却活動を開催。 (実施回数：2回 参加者：職員延べ4人 除却枚数：116枚) ・ その他、神奈川県警察と協力し、道路上に不法に占用された風俗店等の看板を指導した。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 青少年の育成上に悪影響を与える違反屋外広告物が市内全域で減少している。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		青少年の育成上に悪影響を与える違反屋外広告物が市内全域で減少している。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
青少年の育成上に悪影響を与える違反屋外広告物が市内全域で減少している。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

5 (1) ①1	妊婦健康診査	担当課	健康課
----------	--------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
順調な妊娠経過を経て、母子ともに健全な出産を迎えることができるように妊婦健康診査の受診を促します。	定期的を受診し、医師や助産師等のアドバイスを受けて、自分自身で健康管理に取り組むことができるよう受診勧奨を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は88.6%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応している。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛などが影響して、妊婦健診受診率が昨年度に比べ大きく減少したと思われる。 妊婦健診の必要性を母子手帳交付時に改めて伝えていく必要がある。								
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は、96.7%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応している。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題			
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
①現状の規模で継続								
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は96.5%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応しているが、それ以外の妊婦については、医療機関との連携が取れていないため十分にできていない。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題			
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
①現状の規模で継続								

備考 (その他)

5 (1) ①2	妊産婦の相談の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
妊娠早期から産後までの心身の変化や不安等の相談に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳の交付時は、保健指導体制をとって相談に臨みます。 妊娠時期に合わせた健康管理に必要な情報を提供します。 ハイリスク者に対する関係機関との連携強化を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率 94% 妊娠中のフォロー件数115件 (妊娠届数の8%) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率 94.2% 妊娠中のフォロー件数192件 (妊娠届数の11.0%) 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に設置している「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳を交付している。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率 92.2% ハイリスク者を早期に把握し、支援する目的で妊娠届出書にアンケートを追加した。 妊娠中のフォロー件数132件 (妊娠届数の8.0%) 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		産後ケアの支援の充実
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)			

5 (1) ①3	妊産婦への教育の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
健やかな妊娠・出産・産後のため、妊産婦への教育を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 合併症予防、流産、低出生体重児、産後うつなどの予防や早期発見の教育を行います。 将来の生活習慣病の発症予防のための教育を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方の説明と合わせて、食事や生活面での指導を実施。特に喫煙やアルコール摂取など嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問(R1.12月～R2.11月生) 健康課で作成した喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙状況について聞き取り調査をしている。また、飲酒状況についても聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 4.75% 同居者の喫煙率: 32.7% 母親父親教室 妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供を行っている。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、1回事業を中止した。再開後は、内容を変更して実施した。また、希望者には個別対応を実施した。 祖父母教室 新型コロナウイルス感染症の影響により教室を中止とし、妊娠届時にパンフレットを妊婦を通して配布。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。父子手帳の中に父親の健康管理についても記載している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ③縮小して継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため母親父親教室の上半期は中止する。その代替としてパンフレット配布による教育及び希望者には個別対応をする。祖父母教室については年間を通して中止し、妊娠届け出時にパンフレットを妊婦を通して配布する。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方の説明と合わせて、食事や生活面での指導を実施。特に喫煙やアルコール摂取など嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問 健康課で作成した喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙状況について聞き取り調査をしている。また、飲酒状況についても聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 4.67% 同居者の喫煙率: 34.4% 母親父親教室 妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供を行っている。 祖父母教室 祖父母に対して、妊婦が妊娠中から生活習慣病予防を視野に入れた健康管理をしていく必要について、教室で講義を実施。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。 	検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方の説明と合わせて、食事や生活面での指導を実施。特に喫煙やアルコール摂取など嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問 健康課で作成した喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙状況について聞き取り調査をしている。また、飲酒状況についても聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 2.8% 同居者の喫煙率: 29.9% 母親父親教室 妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供をしている。 祖父母教室 祖父母に対して、妊婦が妊娠中から生活習慣病予防を視野に入れた健康管理をしていく必要について、教室で講義を実施。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。父子手帳の中に父親の健康管理についても記載している。 	検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

5 (1) ①4	産後デイサービス「産後ルームママはぐ」	担当課	健康課
----------	---------------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
母子の孤立を予防し、心身の回復を図り、健やかな育児ができるように支援します。	母子の孤立を予防するための集いの場の拡充と整備をします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数を減らして実施した。 ・4か月以内の乳児がいる初産婦で、育児に不安がある方又は日中赤ちゃんと二人になりがちな方を対象に、触れ合い遊びやストレス解消のための体操を行い、栄養のある温かい昼食をとりながら母親同士の交流を深めながら支援をしている。 ・開催回数 13回 ・参加人数 68組	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスワクチン感染拡大防止のため、参加人数など感染対策をとりながら事業を継続した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ③縮小して継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルスワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由

備考 (その他)	

5 (1) ①5	産前・産後ヘルパー派遣事業	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
妊娠中や出産前後で体調不良等のため、育児や家事を行うことが困難な家庭に対し、市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等をサポートします。	受託できる事業者が少ないため、事業者を増やすようホームページや広報等で周知します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	市内に居住する産前から産後5か月以内の妊産婦で、体調不良等のため育児や家事を行うことが困難な方や日中に家族等から援助を受けられず支援が必要な方、または妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭を対象に市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等の負担の軽減を図る。 ・申請件数50件 ・利用件数27件	前年度の課題等に対する取組状況	
		受託できる事業者が増えて、募集を一旦中止とした。	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
		現在、対象範囲は産後5か月以内となっているが、今後拡大するか検討した結果、現状の規模で継続することになった。	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)			

5 (1) ①6	産後メンタルヘルス相談	担当課	健康課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
妊産婦のメンタルヘルス不調の早期発見や重症化防止及び虐待防止のため、個別相談を実施します。	妊産婦のメンタルヘルス不調を早期に把握し、専門職による相談を行うことで、不安定さを抱える母親やその家族を支援します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	開催回数11回 対応件数32件。 新型コロナウイルス感染症の影響により、1回事業を中止した。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
		ケースの状況により、複数回の面談を行う、電話による相談等の対応をしていく。	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)			

5 (1) ②1	乳幼児健康診査	担当課	健康課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
乳幼児の健康状態の確認及び心身の問題の早期発見・早期治療や支援を目的に健康診査を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診内容の充実を図り、健康診査受診率の向上に努めます。 ・ 未受診者への受診勧奨を行い、適切にフォローします。 ・ 関係機関と連携し、未受診者等の状況把握の体制を継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数を変更し、実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1560人 1495人 95.8% 8-10か月児健診 1618人 1549人 95.7% 1歳6か月児健診 1724人 1639人 95.1% (5回中止) 2歳児歯科健診 1675人 748人 44.1% (3回中止) 3歳児健診 1872人 1755人 93.8% (5回中止) ・ 乳幼児ケア 10回 61人(2回中止) ・ 健診事後フォロー教室 回数 延べ参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 33回 501人 (たまご教室16回・延べ256人、びよびよ教室17回・延べ245人) 開催時期はR2.7月～R3.3月 ・ 外遊び2時間以上の児の割合(休日) 1歳6か月児健診27.6%、3歳児健診 42.2% ・ 22時までに就寝している児の割合 1歳6か月児健診 95.9%、3歳児健診 91.9% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 88.6% 	前年度の課題等に対する取組状況 検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1601人 1494人 93.3% 8-10か月児健診 1636人 1435人 87.7% 1歳6か月児健診 1646人 1562人 94.9% 2歳児歯科健診 1820人 891人 49.0% 3歳児健診 1842人 1725人 93.6% ・ 乳幼児ケア 12回 58人 ・ 健診事後フォロー教室 回数 参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 51回 1082人 (たまご教室21回・455人、びよびよ教室22回・503人、ころころ教室8回・124人) 幼児教室 (3歳児健診後) 13回 260人 (なかよし教室13回・260人) ・ 外遊び2時間以上の児の割合(休日) 1歳6か月児健診34.3%、3歳児健診 42.3% ・ 22時までに就寝している児の割合 1歳6か月児健診 95.5%、3歳児健診 90.1% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 88.7% 	検証結果 B:おおむね成果があがった 今後の課題 今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1656人 1579人 95.4% 8-10か月児健診 1732人 1636人 94.5% 1歳6か月児健診 1808人 1726人 95.5% 2歳児歯科健診 1848人 952人 51.5% 3歳児健診 1938人 1838人 94.8% ・ 乳幼児ケア 12回 74人 ・ 健診事後フォロー教室 回数 参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 48回 1043人 (たまご 24回 551人、びよびよ 24回 492人) 幼児教室 (3歳児健診後) 24回 402人 ・ 外遊び2時間以上の児の割合(休日) 1歳6か月児健診 34.5%、3歳児健診 43.0% ・ 22時までに就寝している児の割合 1歳6か月児健診 90.2%、3歳児健診 89.7% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 85.5% 	検証結果 B:おおむね成果があがった 今後の課題 今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由

備考 (その他)			

5 (1) ②2	乳幼児期の相談の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
未就学児を対象として、保護者の育児不安等の対応と、子どもにとって望ましい生活習慣の確立ができるように育児相談を充実させます。	乳幼児期の相談の場である7か月児相談のさらなる啓発を図り、望ましい生活習慣を確立した児を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数を減らして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施、年16回実施、来所者数538人(8回中止) ・育児相談を毎月2回実施、年18回実施(6回中止) 来所者数 347人 ・離乳食教室を実施した(試食提供中止、時間短縮) ・むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 <p>歯みがき教室は8回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は16園で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ) 3回 参加人数37人(児20人、保護者等17人) (2回中止) <p>小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ③縮小して継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施、年23回実施、来所者数850人 ・育児相談を毎月3回実施 35回実施 来所者数1382人 ・離乳食教室を実施した ・むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 <p>歯みがき教室は17回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は19園で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ) 5回 参加人数60人(児30人、保護者等30人) <p>小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。参加者の満足度は高く、毎回情報交換や仲間づくりをする場を設けている。</p>	検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続 育児相談については、来所者数に合わせて、実施回数を月3回から月2回へ見直す。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施、年24回実施、来所者数858人 ・育児相談を毎月3回実施 36回実施 来所者数1604人 ・離乳食教室を実施した ・むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 <p>歯みがき教室は20回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は43園で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ) 6回 参加人数73人(児36人、保護者等37人) <p>小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。参加者の満足度は高く、毎回情報交換や仲間づくりをする場を設けている。</p>	検証結果 A: 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)	

5 (1) ②3	訪問事業	担当課	健康課
----------	------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
乳幼児を持つ家庭に対する訪問を通し、育児不安への対応や、精神的な不安定さを抱える母親への支援を実施します。また、新生児聴覚スクリーニング検査の受診勧奨と検査後の不安軽減のために相談先を紹介します。	こんにちは赤ちゃん訪問の実施率の向上を目指します。 (参考値：平成30年度実績96.1%)

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>乳児家庭全戸訪問 訪問率95.3%(令和1年12月～令和2年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児訪問 訪問率 93.3%、(令和1年12月～令和2年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問又は電話での聞き取りで状況を把握するなど内容を変更し実施した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルスの感染状況により、現状と同様に内容を変更し訪問率の向上を目指す。
令和元年度	<p>乳児家庭全戸訪問 訪問率95.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児訪問 訪問率 91.8%、(平成30年12月～令和2年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<p>乳児家庭全戸訪問 訪問率96.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児訪問 訪問率 95.8%、(平成29年12月～平成30年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを作成し、育児の特徴を伝えるツールとする。 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

5 (1) ②4	学習の場の提供	担当課	健康課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
7 か月児相談、幼児健診等で年齢に合わせた生活習慣に関する学習機会を提供し、親の育児に関する知識を豊かにすることで子どもの健やかな成長を支えます。	7 か月児相談、幼児健診や幼稚園・保育所・認定こども園への巡回教室等で生活習慣 (生活リズム、外遊び、食事、睡眠、歯の健康等) に関する情報について、学習の機会を提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数および内容を変更し、実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣に関する情報提供を保健センターで実施している集団健診、子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 巡回教室：23園、参加園児人数954人 幼児集団健診 生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示及びパンフレットの自由配布 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 歯みがき教室は年17回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室18園で実施。 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)3回 参加人数 37人 (児 20人、保護者等 17人) (2回中止) 低出生体重児の育児について保健師、管理栄養士、保育士、理学療法士が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数および内容を変更し、実施した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ③縮小して継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。</p>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣に関する情報提供を保健センターで実施している集団健診、子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 巡回教室 40回 39園、参加人数 1853人 幼児集団健診 生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示及びパンフレットの自由配布 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 歯みがき教室は年17回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室19園で実施 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ) 5回 参加人数 60人 (児 30人、保護者等 30人) 低出生体重児の育児について保健師、管理栄養士、保育士、理学療法士、心理相談員が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣に関する情報提供を保健センターで実施している幼児集団健診と子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 巡回教室 42回 40園、参加人数 1748人 幼児集団健診 生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示及びパンフレットの自由配布 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 歯みがき教室は年20回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室43園で実施 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ) 6回 参加人数 73人 (児 36人、保護者等 37人) 低出生体重児の育児について保健師、保育士、理学療法士、心理相談員が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>

備考 (その他)			

5 (1) ⑤	感染症対策の推進	担当課	健康課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を実施します。	次世代の健康を守る目的で実施している風疹ワクチン及び平成28年度に開始したB型肝炎ワクチンの普及・啓発に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>1歳6か月児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> 風疹ワクチン(麻疹風疹混合ワクチン含む) 95.7% B型肝炎ワクチン 98.0% <p>3歳児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> 風疹ワクチン(麻疹風疹混合ワクチン含む) 95.1% B型肝炎ワクチン 96.2% <p>・小児医療証の手続き時に予防接種の受け方や重要性が記載された配布リーフレット等を配布。乳児家庭全戸訪問等で、再度保護者に定期予防接種の重要性・進め方について説明している。</p> <p>・幼児健診(1歳6か月児健診・3歳児健診)等で予防接種歴を確認し、必要時には保護者に予防接種の重要性について説明している。</p> <p>・個別通知・広報・ホームページ、幼稚園、保育園、学校を經由して接種勧奨するチラシを配布している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス蔓延防止のため新型コロナウイルス接種担当を設置</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ②拡大して継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナウイルスの流行により予防接種に連れていくことを敬遠している、または受けそびれてしまった乳幼児がいる可能性がある。</p> <p>予定どおりに予防接種をする大切さを周知するとともに、やむを得ず遅れてしまった乳幼児への措置を検討する必要がある。</p>
令和元年度	<p>・小児医療証の手続き時に予防接種の受け方や重要性が記載された「予防接種インフォメーション」と「予防接種とこどもの健康」を配布。</p> <p>・乳児家庭全戸訪問等で、再度保護者に定期予防接種の重要性・進め方について説明している。</p> <p>・幼児健診(1歳6か月児健診・3歳児健診)で予防接種歴を確認し、必要時には保護者に予防接種の重要性について説明している。</p> <p>・個別通知・広報・ホームページ、幼稚園、保育園、学校を經由して接種勧奨するチラシを配布している。</p> <p>・新型コロナウイルスに関連した肺炎患者の発生について、ホームページ・ホットメールで注意喚起を行った。</p>	<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p> <p>新型コロナウイルスが世界で拡大し、WHOは公衆衛生上の緊急事態を令和2年1月30日に宣言。日本国内でも令和2年1月16日に初めて患者が報告され、令和2年2月1日指定感染症に指定された。新型コロナウイルス感染拡大防止のための市の体制を整備していく必要がある。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p> <p>今後の課題のとおり</p>
平成30年度	<p>小児医療証の手続き時に予防接種の受け方や重要性が記載された「予防接種インフォメーション」と「予防接種とこどもの健康」を配布。</p> <p>・乳児家庭全戸訪問等で、再度保護者に定期予防接種の重要性・進め方について説明している。</p> <p>・幼児健診(1歳6か月児健診・3歳児健診)で予防接種歴を確認し、必要時には保護者に予防接種の重要性について説明している。</p> <p>・個別通知・広報・ホームページ、幼稚園、保育園、学校を經由して接種勧奨するチラシを配布している。</p>	<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>

備考 (その他)	

5 (1) ②6	5歳児健康診査	担当課	こども家庭課
----------	---------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
発達に課題を持つ子どもたちが支援を受けずに就学・就職して、困難な状況に陥りがちなことから、5歳児を対象に、スクリーニング調査により健康診査を実施し、要支援という結果が出た子どもに対し、必要な支援を行います。	保育所や教育機関と連携しながら、必要な支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、調査時期を変更して実施した。また感染防止の観点から訪問回数を減らした園があった。</p> <p>調査票配布協力園：78園(市外19園) 調査票配布数：1,837人 調査票回答者：1,740人(94.7%) 要支援者：315人、要支援率：18.1% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 令和2年度対象：53園(実施53園) 平成31年度対象へのフォロー：46園 市外在住で市内の幼稚園、保育所等に在園している児も対象として実施した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況 回答率が向上した。								
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていく。	
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていく。										
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健診後に就学移行支援へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		健診後に就学移行支援へつなげていく。					
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
健診後に就学移行支援へつなげていく。										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続							
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
令和元年度	<p>調査票配布協力園：74園(市外15園) 調査票配布数：1,818人 調査票回答者：1,675人(92.1%) 要支援者：289人、要支援率：17.3% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 令和元年度対象：56園(実施54園) 平成30年度対象へのフォロー：48園 市外在住で市内の幼稚園、保育所等に在園している児も対象として実施した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健診後に就学移行支援へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		健診後に就学移行支援へつなげていく。			
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の課題								
		健診後に就学移行支援へつなげていく。								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健診後に就学移行支援へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		健診後に就学移行支援へつなげていく。					
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
健診後に就学移行支援へつなげていく。										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続							
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健診後に就学移行支援へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		健診後に就学移行支援へつなげていく。					
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
健診後に就学移行支援へつなげていく。										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続							
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
平成30年度	<p>調査票配布協力園：75園(市外14園) 調査票配布数：1,826人 調査票回答者：1,621人(88.8%) 要支援者：268人、要支援率：16.5% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 平成30年度対象：58園(実施56園) 平成29年度対象へのフォロー：32園 子ども・子育て支援新制度が施行されたことなどから、市外在住で市内の幼稚園、保育所等に在園している児も対象として拡大して実施した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健診後に就学移行支援へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		健診後に就学移行支援へつなげていく。			
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の課題								
		健診後に就学移行支援へつなげていく。								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健診後に就学移行支援へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		健診後に就学移行支援へつなげていく。					
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
健診後に就学移行支援へつなげていく。										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続							
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続							
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										

備考 (その他)			

5 (1) ②7	保育所における食育の推進	担当課	保育課
----------	--------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
乳幼児期から、正しい食事のとり方や望ましい食習慣の定着、食を通じた豊かな人間性の形成、家族関係づくりによる心身の健全育成を図ります。	クッキング保育やバイキング給食、ボードを使用しての食品構成遊び等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・給食試食会の実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：43園	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・給食試食会の実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：42園	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・給食試食会の実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：42園	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

5 (2) ①1	生活習慣病予防・歯の健康に関する知識の普及	担当課	学務課 健康課
----------	-----------------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体格の実態を把握します。 ・ 生活習慣病予防や歯の健康に関する知識の普及に努めます。 ①小学校4～6年生の体格調査と健康に関する教育の実施 ②学校歯科巡回指導の実施	引き続き、体格の実態の把握、生活習慣病予防や歯の健康に関する知識の普及を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生へ医療機関の受診をすすめた。小学校4年生対象の児童健康教室は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。代替措置として、家庭での使用用にカラーテスターを配布した。	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題					
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続					
今後の事業展開とその判断理由								
①現状の規模で継続								
令和元年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生230人に医療機関の受診をすすめた。また、小学校4年生を対象に児童健康教室を開催し、児童13人とその保護者へ運動教室、栄養相談、医師面談を実施した。小学校全28校で歯科巡回指導を実施した。2計測結果(身長・体重)・視力検査結果・歯科検診結果をとりまとめ、保健統計を作成した。	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続			
今後の事業展開とその判断理由								
①現状の規模で継続								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">児童健康教室への参加率を高める必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		児童健康教室への参加率を高める必要がある。			
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題								
児童健康教室への参加率を高める必要がある。								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続					
今後の事業展開とその判断理由								
①現状の規模で継続								
平成30年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生236人に医療機関の受診をすすめた。また、小学校4年生を対象に児童健康教室を開催し、児童20人とその保護者へ運動教室、栄養相談、医師面談を実施した。小学校全28校で歯科巡回指導を実施した。2計測結果(身長・体重)・視力検査結果・歯科検診結果をとりまとめ、保健統計を作成した。	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続			
今後の事業展開とその判断理由								
①現状の規模で継続								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">児童健康教室への参加率を高める必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		児童健康教室への参加率を高める必要がある。			
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題								
児童健康教室への参加率を高める必要がある。								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続					
今後の事業展開とその判断理由								
①現状の規模で継続								

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業支援事業計画5(2)①1「教育の充実」から事業名称を変更した。

5 (2) ①2	健康に関する教育の実施	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防に関する実態の把握をします。 生活習慣病予防に関する教育を実施します。 ①朝食の摂取、②睡眠、③運動・スポーツ	生涯を通して健康・安全で活力ある生活を送るために、また、運動に親しむ資質や能力を育てるために、学校教育全体を通して健康に関する教育を推進します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 毎年「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため上記調査が中止となった。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況								
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		翌年度に向けた課題と取組		
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
	翌年度に向けた課題と取組									
令和3年度は「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」が実施されるので、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握していく。										
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「平成31年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった		今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続
検証結果	A：成果があがった									
	今後の課題									
	今後の事業展開とその判断理由									
	①現状の規模で継続									
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「平成30年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった		今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続
検証結果	A：成果があがった									
	今後の課題									
	今後の事業展開とその判断理由									
	①現状の規模で継続									

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画5(2)①2「教育の充実」から事業名称を変更した。

5 (2) ①3	学校保健の充実	担当課	学務課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> 心電図検査、心臓疾患第2次検査、腎臓疾患 (尿) 検査、同2次検査、同3次精密検査、結核健康診査、胸部レントゲン直接撮影、結核健康診断精密検査、学校歯科巡回指導を実施します。 各学校 (園) 健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施します。 	引き続き、各種健康診断等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<p>心電図検査 (10～11月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象)</p> <p>心臓疾患2次検査は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施 (1～3月実施、心電図検査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) し、一部を翌年度へ延期した</p> <p>腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施)</p> <p>結核健康診断は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止とし、翌年度へ延期した</p> <p>小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。</p> <p>代替措置として、家庭での使用用にカラーテストを配布した。</p> <p>上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。</p> <p>※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止</p>	前年度の課題等に対する取組状況								
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B : おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今年度の事業実施が延期となった事業に係る翌年度対象者増による事業実施方法の検討</td> </tr> </table>	検証結果	B : おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		翌年度に向けた課題と取組		今年度の事業実施が延期となった事業に係る翌年度対象者増による事業実施方法の検討
		検証結果	B : おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
	翌年度に向けた課題と取組									
	今年度の事業実施が延期となった事業に係る翌年度対象者増による事業実施方法の検討									
令和元年度	<p>心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象)</p> <p>心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ)</p> <p>腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施)</p> <p>結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ)</p> <p>結核健康診断・・・精密検査 (8～9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ)</p> <p>小学校歯科巡回指導 (5～7月、9月～12月)</p> <p>上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。</p> <p>※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった		今後の課題				
		検証結果	A : 成果があがった							
			今後の課題							
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続									
平成30年度	<p>心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象)</p> <p>心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ)</p> <p>腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施)</p> <p>結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ)</p> <p>結核健康診断・・・精密検査 (8月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ)</p> <p>小学校歯科巡回指導 (5～7月、9月～12月)</p> <p>上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。</p> <p>※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった		今後の課題				
		検証結果	A : 成果があがった							
			今後の課題							
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続									

備考 (その他)	

5 (2) ①4	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	----------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 3 (2) 2事業の再掲 > 児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。</p>	<p>スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回2241回、教室等でのエクササイズ1回、外部関係者・機関との情報交換130回、教職員向け研修会7回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席75回、校内支援会議への参加206回、家庭訪問18回、その他22回 計2700回 ・来室相談延べ人数：小学生1172人、中学生659人、小学生保護者1291人、中学生保護者298人、小学校教員2616人、中学校教員1129人 計7165人 ・来室相談内容延べ人数：不登校1863人、いじめ21人、暴力62人、虐待257人、友人・異性関係570人、貧困13人、非行35人、家庭環境768人、教職員との関係144人、心身の健康・保健823人、学業進路470人、発達1431人、その他708人 計7165人 ・電話相談延べ人数：小学生17人、中学生70人、小学生保護者344人、中学生保護者145人、小学校教員11人、中学校教員10人 計597人 ・電話相談内容延べ人数：不登校183人、いじめ2人、暴力0人、虐待11人、友人・異性関係27人、貧困0人、非行7人、家庭環境74人、教職員との関係20人、心身の健康・保健60人、学業進路46人、発達141人、その他26人 計597人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により学校が臨時休業となったため、相談件数は減少した。しかし、休業中はコロナ禍における心のケアに関する情報提供を行ったり、学校再開後は児童・生徒の様子を観察し、カウンセリングや教職員への情報提供などを行った。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和元年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回2223回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換168回、教職員向け研修会9回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会・スクールカウンセラー連絡会等出席78回、校内支援会議への参加217回、家庭訪問42回、その他36回 計2777回 ・来室相談延べ人数：小学生1440人、中学生772人小学生保護者1313人、中学生保護者459人、小学校教員3131人、中学校教員1457人 計8572人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2256人、いじめ92人、暴力143人、虐待89人、友人・異性関係891人、貧困14人、非行74人家庭環境803人、教職員との関係168人、心身の健康・保健1008人、学業進路626人、発達1934人、その他474人 計8572人 ・電話相談延べ人数：小学生12人、中学生60人、小学生保護者248人、中学生保護者93人、小学校教員33人、中学校教員5人 計451人 ・電話相談内容延べ人数：不登校167人、いじめ3人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係18人、貧困0人、非行0人、家庭環境33人、教職員との関係8人、心身の健康・保健47人、学業進路21人、発達74人、その他80人 計451人</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p> <p>スクールカウンセラーを増員し、県のスクールカウンセラーと合わせて全中学校に週2回配置し、児童・生徒、保護者に対し教育相談の充実を図る必要がある。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p> <p>スクールカウンセラーを小学校へ週1回、中学校へ県のスクールカウンセラーと合わせて週2回配置し、その後は勤務日の増加を目指すため。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
平成30年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校15校での相談活動内容 ・教室巡回2388回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換202回、教職員向け研修会12回、保護者・地域向け講演会4回、児童・生徒担当者会・スクールカウンセラー連絡会等出席81回、校内支援会議への参加253回、家庭訪問106回、その他91回 計3141回 ・来室相談延べ人数：小学生1605人、中学生862人小学生保護者1368人、中学生保護者360人、小学校教員3062人、中学校教員1484人 計8741人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2547人、いじめ89人、暴力163人、虐待96人、友人・異性関係1043人、貧困5人、非行54人家庭環境609人、教職員との関係285人、心身の健康・保健677人、学業進路447人、発達2267人、その他459人 計8741人 ・電話相談延べ人数：小学生18人、中学生73人、小学生保護者233人、中学生保護者142人、小学校教員20人、中学校教員29人計515人 ・電話相談内容延べ人数：不登校273人、いじめ1人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係18人、貧困0人、非行14人、家庭環境12人、教職員との関係21人、心身の健康・保健23人、学業進路21人、発達95人、その他37人 計515人</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p> <p>スクールカウンセラーを増員し、県のスクールカウンセラーと合わせて全中学校に週2回配置し、児童・生徒、保護者に対し教育相談の充実を図る必要がある。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p> <p>スクールカウンセラーを小学校へ週1回、中学校へ県のスクールカウンセラーと合わせて週2回配置し、その後は勤務日の増加を目指すため。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>

備考 (その他)

5 (2) ②1	思春期の教育の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
母性・父性を養い、将来に向けた健全な身体づくりに関する教育を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来に向けた身体づくりや性に関する知識について、学校等に出向き普及に努めます。 ・ 思春期対策連絡会の実施等で引き続き関係機関との連携を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>◆学校での思春期教育 令和2年度は、中学校6校で実施。 ①横内中学校 3年生 (57人) ②金目中学校 3年生 (140人) ③土沢中学校 3年生 (63人) ④江陽中学校 3年生 (160人) ⑤中原中学校 3年生 (129人) ⑥大洋中学校 1年生 (115人) 内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。</p> <p>◆思春期連絡会 3月にコロナウイルス感染症予防の観点から中止。</p>	前年度の課題等に対する取組状況										
		新型コロナウイルス感染症感染拡大の点から開催できる時期が限られた。集団での教育になるため、感染症対策を実施しながら進めていった。										
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。			
		検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。												
令和元年度	<p>◆学校での思春期教育 令和元年度は、高校1校、養護学校1校、中学校4校で実施。 ①県立平塚江南高校 3年生 (324人) 内容：思春期の身体の特徴、妊娠の仕組み、性感染症や命の大切さに関する講義を、助産師がパワーポイントを用いて実施。 ②平塚養護学校 高等部2年生 (34人) 内容：講義や実習を通し、生命の尊さ、かけがえのなさを理解する。 ③大洋中学校 1年生 (109人) ④春日野中学校 3年生 (116人) ⑤金目中学校 3年生 (115人) ⑥大野中学校 3年生 (191人) 内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。</p> <p>◆思春期連絡会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市内中学・高校からの依頼数は前年と変わらず。毎年2～3月に依頼が集中している。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		市内中学・高校からの依頼数は前年と変わらず。毎年2～3月に依頼が集中している。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	B：おおむね成果があがった									
		今後の課題										
		市内中学・高校からの依頼数は前年と変わらず。毎年2～3月に依頼が集中している。										
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	<p>◆学校での思春期教育 平成30年度は、高校1校、養護学校1校、中学校6校で実施。 ①県立平塚江南高校 3年生 (320人) 内容：思春期の身体の特徴、妊娠の仕組み、性感染症や命の大切さに関する講義を、助産師がパワーポイントを用いて実施。 ②平塚養護学校 高等部2年生 (37人) 内容：講義や実習を通し、生命の尊さ、かけがえのなさを理解する。 ③大洋中学校 1年生 (126人) ④春日野中学校 3年生 (129人) ⑤大野中学校 3年生 (196人) ⑥土沢中学校 3年生 (76人) ⑦中原中学校 3年生 (191人) ⑧江陽中学校 3年生 (204人) 内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。</p> <p>◆思春期連絡会 1回 (平成31年3月実施)</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市内中学校からの思春期教育の依頼増加に対応しているが、2～3月の時期に集中しているので対応が難しい時がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		市内中学校からの思春期教育の依頼増加に対応しているが、2～3月の時期に集中しているので対応が難しい時がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
		検証結果	B：おおむね成果があがった									
		今後の課題										
		市内中学校からの思春期教育の依頼増加に対応しているが、2～3月の時期に集中しているので対応が難しい時がある。										
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)			

5 (2) ②2	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
----------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 8事業の再掲 > 地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。</p>	<p>地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。 「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①なでしこ小学校 16回延べ539人 ②黒部丘幼稚園 25回450人 ③花水さくら保育園 36回延べ1,053人 ④花水公民館 2回延べ15人 合計 1地区 実施回数 79回 延べ2,057人	前年度の課題等に対する取組状況 保育園・幼稚園に「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用を依頼した。 子ども読書活動代表者会議で読み聞かせの実績報告を依頼。
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
令和元年度	いのちの尊さをつたえる本の読み聞かせ実施状況 ①花水小学校 255回延べ8,766人 ②平塚工科高等学校 2回延べ43人 ③花水公民館 17回延べ179人 ④花水さくら保育園 54回延べ1,466人 ⑤黒部丘幼稚園 43回延べ940人 ⑥なでしこ小学校 126回延べ3,890人 ⑦しらさぎ保育園 3回延べ15人 ⑧相模小学校 1回364人 ⑨江陽中学校 2回延べ784人 ⑩南原小学校 1回242人 ⑪大原小学校 1回40人 ⑫南原保育園 3回延べ59人 ⑬富士見公民館 2回延べ52人 ⑭吉沢保育園 4回延べ70人 ⑮大住中学校 1回50人 ⑯港こども園 4回延べ80人 ⑰夕陽ヶ丘保育園 3回延べ27人 ⑱港小学校 1回20人 合計 8地区 実施回数523回 延べ17,087人	検証結果 A：成果があがった 今後の課題 現在、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①花水小学校 284回延べ9,167人 ②平塚工科高等学校 2回43人 ③花水公民館 20回延べ348人 ④花水台保育園 184回延べ3,724人 ⑤黒部丘幼稚園 64回延べ1,012人 ⑥なでしこ小学校 124回延べ4,000人 ⑦港小学校 1回20人 ⑧八幡山洋館 2回15人 ⑨江陽中学校 2回延べ578人 ⑩中原中学校 6回延べ200人 ⑪大原小学校 3回延べ101人 ⑫横内中学校 1回61人 合計 7地区 実施回数693回 延べ19,269人	検証結果 A：成果があがった 今後の課題 現在、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)			

5 (3) 1	一時預かり事業	担当課	保育課
---------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (1) 1 事業の再掲 > 保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、 子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 [対象：就学前子ども]	民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援 新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所20園で実施 (延べ利用児童数推計9,941人) 認定こども園6園 (民間・公立) 及び民間幼稚園3園で実施 (延べ利用児童数推計12,316人) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A : 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		本年と同様の規模で継続したい。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所20園で実施 (延べ利用児童数13,296人) 	検証結果 A : 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施 (延べ利用児童数15,412人) 	検証結果 A : 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)

5 (3) 2	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
---------	--------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 2事業の再掲 > 子育ての援助を受けたい方 (依頼会員) と子育ての援助を行いたい方 (支援会員) を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。〔依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者〕</p>	<p>支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を1回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員291人、依頼会員1,480人、内両方会員30人 活動件数：1,317件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。 支援会員入会説明会の会場を利便性の高い会場に変更し、開催数を増加。(R1：12回 R2：30回) <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、支援会員講習会のカリキュラム見直し、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。</p>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを5回開催。 会員数：支援会員291人、依頼会員1,455人、内両方会員30人 活動件数：2,834件 前年度の課題への取組状況：平成30年度の取組を継続して実施することで周知を図り、支援会員の増加に向けた取組を行った。	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>引き続き支援会員の増加を図る。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続 令和2年4月1日から支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。</p>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを4回開催。 会員数：支援会員283人、依頼会員1,371人、内両方会員30人 活動件数：2,252件 前年度の課題への取組状況：広報ひらつかやホームページ等での周知に加え、元気応援ポイント説明会や福祉村会議で本事業の周知や、以前依頼会員として登録していた方へ支援会員への移行をご案内するなど、支援会員の増加に向けた取組を行った。	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>引き続き支援会員の増加を図る。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続 対象年齢について、平成31年4月から依頼会員のお子さんの対象年齢を小学校6年生まで拡大。(従来はおおむね9歳まで)</p>

備考 (その他)	

5 (3) 3	子育て支援センター事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 1事業の再掲 > 子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,254人、子ども 3,939人、合計 7,193人 相談件数：面接 2,043件、電話 28件、その他 181件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。 令和2年6月15日からは、利用は予約制で利用時間、利用人数等を制限して再開した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。										
令和元年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 8,788人、子ども 10,821人、合計 19,609人 相談件数：面接 2,919件、電話 23件、その他 367件</p> <p>1日2回の自由に参加できるジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。また、月に1回のスペシャルジョイフルタイムでは、利用者の中のボランティアなどにより、色々な催し（ミニコンサート、人形劇、読み聞かせなど）を、育児講座「わくわくタイム」、「わくわくデイ」では赤ちゃんマッサージ、乳幼児の健康と食事などの講座を概ね月1～2回開催している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日から臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
平成30年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 10,729人、子ども 12,805人、合計23,534人 相談件数：面接 3,568件、電話 28件、その他 389件</p> <p>1日2回の自由に参加できるジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。また、月に1回のスペシャルジョイフルタイムでは、利用者の中のボランティアなどにより、色々な催し（ミニコンサート、人形劇、読み聞かせなど）を、育児講座「わくわくタイム」、「わくわくデイ」では赤ちゃんマッサージ、乳幼児の健康と食事などの講座を概ね月1～2回開催している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										

備考 (その他)

5 (3) 4	つどいの広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 2事業の再掲 > 主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 [対象：おおむね0～3歳児及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>・5か所で実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等は中止した。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,546人、子ども1,634人、合計 3,180人、相談件数： 248件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 2,863人、子ども 3,101人、合計 5,964人、相談件数： 392件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,397人、子ども 1,643人、合計 3,040人、相談件数： 186件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,118人、子ども 1,281人、合計 2,399人、相談件数： 27件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 616人、子ども 663人、合計 1,279人、相談件数： 44件</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。令和2年6月15日からは、利用時間、利用人数等を制限して順次再開した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		翌年度に向けた課題と取組		コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。		
	検証結果	B：おおむね成果があがった										
	今後の事業展開	①現状の規模で継続										
		翌年度に向けた課題と取組										
		コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。										
令和元年度	<p>・5か所で実施。</p> <p>月1～2回、親子等を対象として講師を招いての子育て講演会、各種手作り講座（七夕飾り、ひな人形等）、コンサート、読み聞かせ、クリスマス会等のイベントを開催。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 3,623人、子ども 3,806人、合計 7,429人、相談件数： 411件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 5,819人、子ども 6,298人、合計 12,117人、相談件数： 800件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 2,989人、子ども 3,733人、合計 6,722人、相談件数： 178件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 2,011人、子ども 2,158人、合計 4,169人、相談件数： 38件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 1,171人、子ども 1,305人、合計 2,476人、相談件数： 20件</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から臨時休所。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった		今後の課題				今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続
	検証結果	A：成果があがった										
		今後の課題										
	今後の事業展開とその判断理由											
	①現状の規模で継続											
平成30年度	<p>・5か所で実施。</p> <p>月1～2回、親子等を対象として講師を招いての子育て講演会、各種手作り講座（七夕飾り、ひな人形等）、コンサート、読み聞かせ、クリスマス会等のイベントを開催。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 4,262人、子ども 4,585人、合計 8,847人、相談件数： 532件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 7,237人、子ども 7,724人、合計 14,961人、相談件数： 920件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 3,731人、子ども 4,382人、合計 8,113人、相談件数： 211件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人2,498人、子ども 2,618人、合計 5,116人、相談件数： 42件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」※ 利用者数：大人 303人、子ども 349人、合計 652人、相談件数 15件</p> <p>※平成30年11月開所</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった		今後の課題				今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続
	検証結果	A：成果があがった										
		今後の課題										
	今後の事業展開とその判断理由											
	②拡大して継続											

備考 (その他)

5 (3) 5	開放保育事業	担当課	保育課
---------	--------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (2) 3 事業の再掲 > 地域の未就園児とその保護者に、保育所や認定こども園の園庭や施設を開放し、園児との交流や保護者同士の交流を図り、保育士による育児相談や情報提供を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]	保育所や認定こども園で概ね週1回程度、施設を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所33園で実施 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育園を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所33園で実施 ・概ね週1回程度、保育園を開放し育児情報の提供や育児相談等を積極的に実施した。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所33園で実施 ・概ね週1回程度、保育園を開放し育児情報の提供や育児相談等を積極的に実施した。 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

5 (3) 6	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 4 事業の再掲 > 公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。</p>	<p>事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	C:十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所7園及び認定こども園1園で実施 神田保育園・・・参加 5組 南原保育園・・・参加79組 吉沢保育園・・・参加 1組 しらさぎ保育園・参加23組 夕陽ヶ丘保育園・参加11組 若草保育園・・・参加 8組 大神保育園・・・参加 2組 港こども園・・・参加 7組 合計・・・実施70回、参加136組	検証結果	B:おおむね成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続 今年度から公立園全園で実施	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所3園で実施 (月2回) 花水台保育園・・・実施23回、参加 8組 夕陽ヶ丘保育園・実施24回、参加 6組 若草保育園・・・実施24回、参加 8組 合計・・・実施71回、参加22組	検証結果	B:おおむね成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		③縮小して継続 花水台保育園の民営化に伴い規模を縮小して実施する。	

備考 (その他)			

5 (4) ①1	育てにくさを感じる親に寄り添う支援	担当課	健康課
----------	-------------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て中の親が育児に対して少しでも余裕と自信を持つことができるように、育てにくさを感じている親の実態を把握しながら支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診票から実態を把握します。 子育ての仕方や発育発達の知識を普及します。 幼児健診事後フォロー教室を継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.5% 時々感じる人19.2% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人0.7% 時々感じる人21.9% 幼児健診事後フォロー教室については1歳6か月児健診事後フォロー教室を2教室開催した。コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し、内容を変更して実施した。 びよびよ教室17回/年 参加者数245人 (開催期間はR2.7月～R3.3月) たまご教室 16回/年 参加者数256人 (開催期間はR2.7月～R3.3月) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため上半期の健診事後フォロー教室は中止する。代替として心理相談員による保育付き面接を小グループで行う。下半期は通常の健診事後フォロー教室を実施する。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.5% 時々感じる人20.4% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人1.6% 時々感じる人26.9% 幼児健診事後フォロー教室については1歳6か月児健診事後フォロー教室を3教室、3歳児健診事後フォロー教室を1教室開催した。 びよびよ教室22回/年 参加者数503人 たまご教室 21回/年 参加者数455人 ころころ教室 8回/年 参加者数124人 (開催期間は4月～7月) なかよし教室13回/年 参加者数260人 (開催期間は8月～3月) 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.4% 時々感じる人20.5% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人1.4% 時々感じる人24.4% 幼児健診事後フォロー教室については1歳6か月児健診事後フォロー教室を2教室、3歳児健診事後フォロー教室を1教室開催した。 びよびよ教室24回/年 参加者数492人 たまご教室 24回/年 参加者数551人 なかよし教室24回/年 参加者数402人 	検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続 年齢が上がるごとに育てにくさを感じる人が増えているため、今後も健診・相談等を通じて支援をしていく。

備考 (その他)	

5 (4) ①2	子育て講座	担当課	こども家庭課
----------	-------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育ての悩みがある親に対して、子どもとの関わり方や親子関係を改善します。	子育ての悩みがある親に対して、子どもとの関わり方や親子関係を改善していく講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、中止。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症まん延防止を踏まえ、講座の実施方法を検討した。
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開 ⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症まん延防止を踏まえ、講座を実施する。又は講座の代替となるものを実施する。
令和元年度	子育て講座を2月～3月にダイジェスト版2回、通常版2回を実施。ただし、通常版は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、2回とも2日目を中止。	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題 開催回数、時期について検討
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	子育て講座 1回実施。	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題 開催時期、講座内容について検討
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

5 (4) ①3	ペアレントトレーニング	担当課	こども家庭課
----------	-------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
発達に障がいを持つ子どもの養育は難しく、親が子育てに自信を失いがちであることから、主に発達障がいのある子の保護者を対象に、8回コースの講座を実施します。また、幼稚園・保育所、小・中学校等の指導者向け講座であるティーチャーズトレーニングも実施します。	より多くの方が受講できるように講座の実施方法を工夫します。また、講座修了者に対して、同じ立場の保護者から悩み等を共感的に聞くことができる「ペアレントメンター」として活動してもらえるようにその育成に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	2グループ実施 (2グループ目は現在実施中) 参加者数：13人 ティーチャーズトレーニング 5回開催 新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言発令のため、後期 (全5回) のティーチャーズトレーニングは中止。 ペアレントメンター養成講座 フォローアップ講座のみ1回開催	前年度の課題等に対する取組状況 ペアレントトレーニングは受講者が減少傾向にあるため、グループ数を減らして開催した。 ペアレントメンター養成講座は、メンター人数が充足していること、メンター活動の場 (きらきらサロン) がコロナの影響で開催日数を減らしたことから、フォローアップ講座のみ開催した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ペアレントメンターの活動方法を整理し、活動の場を確保する。
令和元年度	3グループ実施 (3グループ目は現在実施中) 参加者数：25人 ティーチャーズトレーニング 9回 ペアレントメンター養成講座 4回	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 引き続き、講座修了者からペアレントメンターを養成する。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続 ペアレントメンターの活躍の場を確保する。
		検証結果 A：成果があがった
平成30年度	3グループ実施 (計画策定時は10回コースだったが、内容を見直し、8回コースに変更) 参加者数：27人 ティーチャーズトレーニング 9回 ペアレントメンター養成講座 4回	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 引き続き、講座修了者からペアレントメンターを養成する。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続 ペアレントメンターの活躍の場を確保する
		検証結果 A：成果があがった

備考 (その他)	

5 (4) ②1	こども発達支援室の療育相談	担当課	こども家庭課
----------	---------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもの発達に関する相談を電話や面接により対応します。また、心理士、言語聴覚士、作業療法士、小児精神科医による相談、一般相談等、子育てについての不安や悩みの相談を受け付けます。	相談事業を継続します。また、はぐくみサポートファイルなどのツールを活用し、就学に向けての切れ目のない支援に取り組めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1,555件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ162件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ374件 児童精神科医による相談 月1回実施 (コロナの影響で1回中止) 延べ24件 ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1,067件 一般相談 随時 延べ134件、電話による相談554件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や時期を変更して実施したグループがあった。子育て交流ひろばは4月～8月は中止し、9月から申込制にして開催。1月の緊急事態宣言発令後は参加受付人数を減らして開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 全グループ 146回、実施実人数 91人、子育て交流ひろば 実施回数 26回、参加人数 延べ134人 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。</p>
令和元年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1,280件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ152件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ452件 児童精神科医による相談 月1回実施 延べ33件 ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ974件 一般相談 随時 延べ211件、電話による相談493件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 全グループ 182回、実施実人数 124人、子育て交流ひろば 実施回数 39回、参加人数 延べ248人 	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>園生活で支援を必要とする児への援助方法について職員への機関支援を継続していくことで、相談数の減少を図る。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p>
		<p>①現状の規模で継続</p> <p>園訪問や巡回相談等の事業の展開と発達支援コーディネーターの育成。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p>
平成30年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1,330件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ197件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ771件 児童精神科医による相談 月1回実施 延べ33件 ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1,502件 一般相談 随時 延べ281件、電話による相談781件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 全グループ 149回、実施実人数 116人、子育て交流ひろば 実施回数 24回、参加人数 延べ449人 	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の課題</p> <p>園生活で支援を必要とする児への援助方法について職員への機関支援を継続していくことで、相談数の減少を図る。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p>
		<p>①現状の規模で継続</p> <p>園訪問や巡回相談等の事業の展開と発達支援コーディネーターの育成。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p>

備考 (その他)			

5 (4) ②2	発達支援コーディネーターの育成・配置	担当課	保育課 こども家庭課
----------	--------------------	-----	---------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公立保育所及び認定こども園に、専門的知識を持った「発達支援コーディネーター」を育成・配置し、障がい児や配慮が必要な子ども及び保護者に対するきめ細やかな支援を行います。	研修を継続して行い、発達支援コーディネーターを育成し、公立保育所及び認定こども園に配置します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・育成について、今年度新たに5人の職員が発達コーディネーターの資格を取得した。 ・配置について、公立保育園及び認定こども園に25人の発達コーディネーターを配置している。(こども発達支援室くれよんに在籍の4人を含めると、合計で29人。) 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)	

5 (4) ③1	地域療育システム事業	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
障がい児や発達に課題のある子どもを支援し、身近な地域で安心して生活できるように医療・保健・教育・地域・福祉等各機関との連携を図ります。	関係機関との連携を継続・強化します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	小学校の巡回 ・こども発達支援室による各機関との主に電話による連携 260回 (378件) ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 114回 (134件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校と分散登校の期間があったことから、訪問回数が減った学校があった。また感染予防のための授業参観時間短縮のため、2～3年生の継続支援対象児童の参観を実施しなかった。 学校数延べ37回(校)、児童数381人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 3人 ・障がい児の機能訓練に関する関係機関連絡会 0回 ・障がい児保育推進会議 4回 ・子ども教育相談センター主催の平塚市相談支援チームの情報交流会 2回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 3回 ・支援報告書提供 122件	前年度の課題等に対する取組状況 一人一人の子どもに対する支援方法について、各関係機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図った。 検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 適切な支援の継続に向けて、各関係機関とのよりよい連携方法を考え構築していく。
令和元年度	一人一人の子どもに対する支援方法について、医療・保健・教育・地域・福祉など様々な機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図った。 ・こども発達支援室による各機関との主に電話による連携 338回 (567件) ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 79回 (104件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 学校数延べ73回(校)、児童数488人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 13人 ・障がい児の機能訓練に関する関係機関連絡会 0回 ・障がい児保育推進会議 8回 ・子ども教育相談センター主催の平塚市相談支援チームの情報交流会 2回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 1回 ・支援報告書提供 230件	検証結果 A:成果があがった 今後の課題 就学後の相談者数の増加に対応するための事業の展開。 今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 5歳児健康診査後についても、子どもの発達を継続的に支援する。
平成30年度	一人一人の子どもに対する支援方法について、医療・保健・教育・地域・福祉など様々な機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図った。 ・こども発達支援室による各機関との主に電話による連携 382回 (475件) ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 90回 (140件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 学校数延べ84回(校)、児童数587人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 39人 ・障がい児の機能訓練に関する関係機関連絡会 1回 ・障がい児保育推進会議 10回 ・子ども教育相談センター主催の平塚市相談支援チームの情報交流会 2回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 2回 ・支援報告書提供数 275件	検証結果 A:成果があがった 今後の課題 就学後の相談者数の増加に対応するための事業の展開。 今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 5歳児健康診査後についても、子どもの発達を継続的に支援する。

備考 (その他)

5 (4) ③2	福祉サービス費の支給	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
障がい児等に対する各種福祉サービス費を支給し、障がい児等の発達支援及び保護者の介護負担軽減を図ります。	サービスについての情報提供をし、引き続き適切に支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数755人 児童福祉法による障害児通所支援等の市内事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…11、放課後等デイサービス…28、保育所等訪問支援…3 障害児相談支援…20 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る市内事業所数 居宅介護…24、短期入所…7、移動支援事業…9 日中一時支援…9、障がい児タイムケア事業…0 	前年度の課題等に対する取組状況 民間事業所と連携し、適切にサービスを支給しています。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		増加する支給量へ対応しながら支援内容の適正化をはかっていきます。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数694人 児童福祉法による障害児通所支援等の市内事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…8、放課後等デイサービス…25、保育所等訪問支援…3 障害児相談支援…17 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る市内事業所数 居宅介護…25、短期入所…7、移動支援事業…15、日中一時支援…13、障がい児タイムケア事業…1 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 増加する支給量へ対応するための支援内容の適正化
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数677人 児童福祉法による障害児通所支援等の事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…7、放課後等デイサービス…22、保育所等訪問支援…2 障害児相談支援…16 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る事業所数 居宅介護…37、短期入所…11、移動支援事業…32、日中一時支援…18、障がい児タイムケア事業…1 <p>※事業所のうち、移動支援事業・日中一時支援は平塚市域を事業エリアとしているものであり、その他は平塚市に所在するものである。</p>	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 増加する支給量へ対応するための支援内容の適正化
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

5 (4) ③3	障がい児保育	担当課	保育課 こども家庭課 学務課
----------	--------	-----	----------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育が必要で集団保育が可能な障がい児を受け入れて保育を行います。また集団保育による療育が必要な子どもを対象に、健常児との関わりの中で発達促進を図るため、統合保育を行うとともに、療育相談等で、フォローを必要とする子どもを対象に、健常児との集団生活を体験できる場を提供します。〔対象：就学前子ども〕	<ul style="list-style-type: none"> 障がいを持つ乳幼児を受け入れ、保育を実施します。 障がいのあるなしに関わらず、全ての園児が幼稚園、保育所及び認定こども園において集団で生活し、ともに活動できるように支援します。 保育士が障がい児保育講習会や研修会へ積極的に参加し、必要な知識の習得に努め、受入体制の強化を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 【保育課】障がい児の保育を実施 公立 13人 (延べ147人) 私立 33人 (延べ360人) 保育士の障害児保育講習会・研修会への参加 【こども家庭課】養育の難しいケースについて保育園より相談を受け情報共有をし連携、関係機関に繋ぐ。個人交流保育、体験保育及び集団交流保育は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、休止した。 統合保育 市内保育所では、定員を大幅に超えて児童の受入れを行っているため、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。なお、令和元年度は、保育を必要とする集団保育が可能な障がい児46人 (延べ507人) を受け入れ、健常児との保育を行っている。 体験・交流保育事業 【保育課】新型コロナウイルス感染症の影響から、限られた受入れ態勢の中で、乳幼児健診や育児相談等においてフォローが必要とされる児童を受入れ、体験保育を実施した。 【こども家庭課】養育の難しいケースについて保育園より相談を受け情報共有をし連携、関係機関に繋ぐ。個人交流保育0件、体験保育3件、集団交流保育3件 【学務課】障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園2園で6人を受け入れた。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>【保育課】体験・交流事業について、障がいのある幼児の受け入れ及び保育を行うための適切な介助員等の配置と施設の確保が引き続き課題となっている。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 体験・交流保育事業 【保育課】新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束することで、より積極的な受け入れ態勢が整うと考えます。 	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 障がい児の保育を実施 公立 17人 (延べ170人) 私立 37人 (延べ375人) 保育士の障害児保育講習会・研修会への積極的な参加 統合保育 市内保育所では、定員を大幅に超えて児童の受入れを行っているため、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。なお、令和元年度は、保育を必要とする集団保育が可能な障がい児54人 (延べ545人) を受け入れ、健常児との保育を行っている。 体験・交流保育事業 【保育課】乳幼児健診や育児相談等においてフォローが必要とされる児童を受入れ、体験保育を実施した。アグネス園や県立ろう学校などの児童を受入れ、交流保育を実施した。【学務課】障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園4園で6人を受け入れた。【教育指導課】幼稚園で日常的に集団で生活し、活動を共にする中で、園児がそれぞれの「良さ」や「自分らしさ」を大切にし、お互いを受け止め合えるよう支援した。【こども家庭課】養育の難しいケースについて保育園より相談を受け情報共有をし連携、関係機関に繋ぐ。個人交流保育0件、体験保育3件、集団交流保育3件 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table> <p>体験・交流事業について、障がいのある幼児の受け入れ及び保育を行うための適切な介助員等の配置と施設の確保。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続 体験・交流保育事業は、縮小して継続。令和元年度末にさくら、金目幼稚園が廃園となるため、公立園の支援枠の受け入れ人数が縮小される。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の課題						
		平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 障がい児の保育を実施 公立 21人 (延べ239人) 私立 37人 (延べ382人) 保育士の障害児保育講習会・研修会への積極的な参加 統合保育 市内保育所では、定員を大幅に超えて児童の受入れを行っているため、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。 なお、平成30年度は、保育を必要とする集団保育が可能な障がい児58人 (延べ621人) を受け入れ、健常児との保育を行っている。 体験・交流保育事業 【保育課】乳幼児健診や育児相談等においてフォローが必要とされる児童を受入れ、体験保育を実施した。アグネス園や県立ろう学校などの児童を受入れ、交流保育を実施した。【学務課】障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園全体で15人受入れを行った。【教育指導課】障がいのある幼児と障がいのない幼児が、幼稚園で日常的に集団で生活し、活動を共にした。【こども家庭課】養育の難しいケースについて保育園より相談を受け情報共有をし連携、関係機関に繋ぐ。個人交流保育3件、体験保育1件、集団交流保育2件 	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> </table> <p>体験・交流事業について、障がいのある幼児の受け入れ及び保育を行うための適切な介助員等の配置と施設の確保。</p> <p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続 体験・交流保育事業は、縮小して継続。平成31年度末にさくら、金目幼稚園が廃園となるため、公立園の支援枠の受け入れ人数が縮小される。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題	
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題								
備考 (その他)								
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の5 (4) ③4「統合保育」、5 (4) ③5「体験・交流保育」を統合した。								

5 (4) ③4	就学相談・指導事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-----------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
特別な教育的配慮が必要と思われる幼児・児童・生徒に適切な就学ができるように相談や指導を行います。	平塚市教育支援委員会において、個々の教育的ニーズに応じた適正な就学相談・指導を行うとともに、その後の継続的な支援の在り方について検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	平塚市教育支援委員会 委員会…5回 医学的検診…4回 審査数…196件 新就学相談件数…109件 (審査59件 相談のみ50件) 学校からの審査依頼件数…77件 通級審査依頼件数 ことばの教室…学校より24件 新就学22件 まなびの教室…学校より19件 新就学1件	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの会を開催することができなかったが、開催方法等を工夫したことで、個々の教育的ニーズに応じた就学相談・指導を行うことができ、増加する件数にも適正に対応することができた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今回の開催方法が概ね好評だったため、来年度も引き続き開催方法等を工夫し適正な就学相談・指導が行えるよう努める。
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由

備考 (その他)	

5 (5) ①1	ハイリスク者への支援の充実	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童虐待防止のため、早期から必要な支援を提供できるように関係機関と連携します。	<ul style="list-style-type: none"> 「ひらつかネウボラールームはぐくみ」において、妊娠期からハイリスク者への対応を行います。 家庭訪問、健診等において機会を捉えた対応を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。支援実数 81件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。情報提供：199件 通告：17件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施できた。支援実数 88件 支援会議3回 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施できた。支援実数 83件 支援会議3回 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

5 (5) ②1	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
----------	------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 3事業の再掲 > 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしていますが、必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議91回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実務者会議を1回中止している)</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議 98回</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議110回</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (1) 1	子ども学習支援委託事業	担当課	生活福祉課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 1 (3) 9 事業の再掲 > 将来の自立に向けた高等学校進学のため、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に学習の支援をします。	生徒の参加状況を踏まえ実施場所の拡充などを検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和2年度	参加実績 中学1年生 10名 中学2年生 21名 中学3年生 17名 実施場所 1か所 開催日数 107日 (R3. 3月末現在)	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった
		検証結果	A: 成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。		
今後の事業展開とその判断理由	新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。			
令和元年度	参加実績 中学1年生 17名 中学2年生 23名 中学3年生 29名 実施場所 1か所 開催日数 118日	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった
		検証結果	A: 成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の課題</td> <td>今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題</td> </tr> </table>	今後の課題	今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題
		今後の課題	今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続		
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続		
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続			
平成30年度	参加実績 中学1年生 17名 中学2年生 23名 中学3年生 30名 実施場所 1か所 開催日数 102日	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった
		検証結果	A: 成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の課題</td> <td>今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題</td> </tr> </table>	今後の課題	今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題
		今後の課題	今後、参加生徒が増加した場合には実施場所の増設と学習指導員の確保が課題	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続		
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続		
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続			

備考 (その他)

6 (1) 2	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	担当課	社会教育課
---------	--------------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 7事業の再掲 > 放課後や土曜日等に、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、子どもたちが学習や文化活動、地域住民との交流活動などを継続的に体験できる取組を推進します。</p>	放課後や土曜日等に、子どもたちが文化・スポーツ、自然体験など様々な活動をする機会を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により休止 港地区「港放課後子ども教室」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模(期間)を縮小して実施 地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模(期間)を縮小して実施 	前年度の課題等に対する取組状況 他地域への拡大に向け、新たに関係団体と話し合いの機会を設けたが、受け皿となる組織体制等の課題があるため、引き続き働きかけを行っていく。
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また、コロナ禍での安全な事業実施に向け、関係団体と協議する必要がある。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」実施 港地区「港放課後子ども教室」実施 土曜日の教育支援体制等構築事業 横内地区「横内マイタウンスクール」実施 	検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の課題 地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」実施 港地区「港放課後子ども教室」実施 土曜日の教育支援体制等構築事業 横内地区「横内マイタウンスクール」実施 	検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の課題 地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、地域の力による子どもの居場所づくりを目指し、庁内関係課と連携し、事業未実施の地区や学校に働きかけていく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 放課後子ども教室」の他地域への拡大や、「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」の実施を推進し、放課後等の子どもの居場所づくりを充実するため。

備考 (その他)			

6 (1) 3	新・放課後子ども総合プランの推進	担当課	青少年課 教育総務課 社会教育課
---------	------------------	-----	------------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 8事業の再掲 > 「新・放課後子ども総合プラン」の趣旨に基づき、子どもたちが放課後等を安全、安心に過ごし、多様な体験、活動を行うことができるように、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的又は連携した取組を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後子ども教室の拡充に向けて、実施を希望する地域や学校の把握に努め、設置が可能な案件については、令和5年度までを目途にスケジュール調整を行います。 ・ 小学校の余裕教室等の利用状況を定期的に調査し、放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室への活用の可能性について、庁内で連携して検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的または連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和3年3月24日に開催した。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止対策を優先したため、教室実施地区の拡大や、学校の余裕教室の調整ができなかった。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。
令和元年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的または連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和2年3月11日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため、書面開催とした。	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題
		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的または連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を平成31年3月13日に開催した。	検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の課題
		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 学校施設を活用した「放課後児童クラブ」の整備及び一体的または連携した「放課後子ども教室」の他地域への拡大を図ることで、放課後子ども総合プランを推進するため。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (1) 9「放課後子ども総合プランの推進」から事業名称を変更した。

6 (1) 4	生活困窮世帯の子ども支援事業	担当課	生活福祉課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (3) 6 事業の再掲 > 高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行います。	関係機関と連携し保護者と生徒自身の両者に対して継続した支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価																						
令和2年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 日常生活支援</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>2 養育支援</td> <td>210 件</td> </tr> <tr> <td>3 教育支援</td> <td>758 件</td> </tr> <tr> <td>4 就業支援</td> <td>53 件</td> </tr> <tr> <td>5 その他支援</td> <td>64 件</td> </tr> <tr> <td>6 情報提供、収集、状況把握</td> <td>39 件</td> </tr> <tr> <td>7 その他 (関係形成、初回顔合わせ訪問)</td> <td>10 件</td> </tr> <tr> <td>8 その他 (関連業務)</td> <td>6 件</td> </tr> </table>	1 日常生活支援	3 件	2 養育支援	210 件	3 教育支援	758 件	4 就業支援	53 件	5 その他支援	64 件	6 情報提供、収集、状況把握	39 件	7 その他 (関係形成、初回顔合わせ訪問)	10 件	8 その他 (関連業務)	6 件	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組	中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。	
		1 日常生活支援	3 件																					
		2 養育支援	210 件																					
		3 教育支援	758 件																					
4 就業支援	53 件																							
5 その他支援	64 件																							
6 情報提供、収集、状況把握	39 件																							
7 その他 (関係形成、初回顔合わせ訪問)	10 件																							
8 その他 (関連業務)	6 件																							
検証結果	A : 成果があがった																							
今後の事業展開	①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組																							
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。																								
令和元年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> </table>	検証結果		今後の課題		今後の事業展開とその判断理由																	
		検証結果																						
		今後の課題																						
今後の事業展開とその判断理由																								
今後の事業展開とその判断理由																								
今後の事業展開とその判断理由																								
平成30年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> </table>	検証結果		今後の課題		今後の事業展開とその判断理由																	
		検証結果																						
		今後の課題																						
今後の事業展開とその判断理由																								
今後の事業展開とその判断理由																								
今後の事業展開とその判断理由																								

備考 (その他)			

6 (1) 5	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (3) 8事業の再掲 > 子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。	民間学習支援団体等との情報共有、連携の場づくりに取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにこども食堂及び学習支援活動団体の一覧を掲載した。 ・こども食堂及び学習支援活動団体の連絡先 (メールアドレス) を把握することで、国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		団体との連携において、具体的に取り組むことができた。	
		検証結果	A : 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)

6 (1) 6	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (5) 1 事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件 (新規ケース) 相談回数：1,210件 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：587件 (新規ケース) 相談回数：1,145件 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：656件 (新規ケース) 相談回数：1,335件 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (1) 7	児童生徒就学援助事業	担当課	学務課
---------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 5 事業の再掲 > 経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	経済的な理由により就学が困難と認められた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円 (4月1日認定者)、 【通学用品費】 2,270円 (4月1日認定者) 【新入学用品費】 小学生50,600円、中学生57,400円、 【入学準備金】 次年度小学1年生51,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】 (日帰り) 小学生1,600円、中学生2,310円 (宿泊) 小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】 実費 (60,910円以内) 【通学費】 小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】 柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】 学校徴収額 【卒業時諸費用代】 中学3年生8,000円 【医療費】 現物給付 【眼鏡購入費】 現物給付 (11,000円以内)	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A : 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	経済的な理由により就学が困難と認められた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】 小学生11,520円、中学生22,510円 (4月1日認定者)、 【通学用品費】 2,250円 (4月1日認定者) 【新入学用品費】 小学生40,600円、中学生47,400円、 【入学準備金】 次年度小学1年生50,600円、小学6年生57,400円 【校外活動費】 (日帰り) 小学生1,580円、中学生2,290円 (宿泊) 小学生3,650円以内、中学生6,150円以内 【修学旅行費】 実費 (60,300円以内) 【通学費】 小学生39,620円以内、中学生80,070円以内、 【体育実技用具費】 柔道7,570円以内、剣道52,380円以内 【給食費】 学校徴収額、 【卒業時諸費用代】 中学3年生8,000円 【医療費・眼鏡購入費】 現物給付	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	経済的な理由により就学が困難と認められた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】 小学生11,420円、中学生22,320円 (4月1日認定者)、 【通学用品費】 2,230円 (4月1日認定者) 【新入学用品費】 小学生40,600円、中学生47,400円、 【入学準備金】 次年度小学1年生40,600円、小学6年生47,400円 【校外活動費】 (日帰り) 小学生1,570円、中学生2,270円 (宿泊) 小学生3,620円以内、中学生6,100円以内 【修学旅行費】 実費 (57,590円以内) 【通学費】 小学生39,290円以内、中学生79,410円以内、 【体育実技用具費】 柔道7,510円以内、剣道51,940円以内 【給食費】 学校徴収額、 【卒業時諸費用代】 中学3年生8,000円 【医療費・眼鏡購入費】 現物給付 前年度に課題として挙げていた新入学用品費の前倒し支給について、今年度から入学前の支給を開始した。	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (1) 8	特別支援教育就学奨励援助事業	担当課	学務課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 6事業の再掲 > 特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。</p>	<p>引き続き、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】 実費の半額 (上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円)</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額：小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額：小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額：28,860円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		検証結果 A：成果があがった 今後の課題
令和元年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】 実費の半額 (上限額：小学1年生31,060円、小学2～6年生5,760円、中学1年生39,955円、中学2～3年生11,255円)</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額：小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額：小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額：28,570円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費】 実費の半額 (上限額：小学生5,710円、中学生11,160円)</p> <p>【新入学用品費】 実費の半額 (上限額：小学生20,300円、中学生23,700円)</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額：小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額：小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額：28,335円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
		検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

6 (1) 9	高等学校等修学支援事業	担当課	学務課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 7 事業の再掲 > 高等学校等における修学支援を行うため、修学支援金を支給します。	募集人数の拡充を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。 応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。</p>	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。</p>	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)

6 (1) 10	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
----------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 8事業の再掲 > 対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	教育扶助 小学生 188人 中学生 65人 扶助額 15,819,047円 生業扶助 高校生 70人 扶助額 9,299,253円	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	教育扶助 小学生 119人 中学生 73人 扶助額 16,539,210円 生業扶助 高校生 63人 扶助額 9,771,338円	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	教育扶助 小学生 136人 中学生 76人 扶助額 20,420,289円 生業扶助 高校生 65人 扶助額 9,323,617円	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

6 (1) 11	放課後自主学習教室事業	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 3 (1) 13事業の再掲 > 児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、放課後に小学校4～6年生を対象に学習支援をします。	実施校の拡充を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校4校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
		実施校の増加を目指すには学習支援員の確保が必要であるため、それと併せて学習支援ボランティアの募集に努める。	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の事業展開とその判断理由	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)

6 (1) 12	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	----------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 3 (2) 2事業の再掲 > 児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。</p>	<p>スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回2241回、教室等でのエクササイズ1回、外部関係者・機関との情報交換130回、教職員向け研修会7回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席75回、校内支援会議への参加206回、家庭訪問18回、その他22回 計2700回 ・来室相談延べ人数：小学生1172人、中学生659人、小学生保護者1291人、中学生保護者298人、小学校教員2616人、中学校教員1129人 計7165人 ・来室相談内容延べ人数：不登校1863人、いじめ21人、暴力62人、虐待257人、友人・異性関係570人、貧困13人、非行35人、家庭環境768人、教職員との関係144人、心身の健康・保健823人、学業進路470人、発達1431人、その他708人 計7165人 ・電話相談延べ人数：小学生17人、中学生70人、小学生保護者344人、中学生保護者145人、小学校教員11人、中学校教員10人 計597人 ・電話相談内容延べ人数：不登校183人、いじめ2人、暴力0人、虐待11人、友人・異性関係27人、貧困0人、非行7人、家庭環境74人、教職員との関係20人、心身の健康・保健60人、学業進路46人、発達141人、その他26人 計597人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により学校が臨時休業となったため、相談件数は減少した。しかし、休業中はコロナ禍における心のケアに関する情報提供を行ったり、学校再開後は児童・生徒の様子を観察し、カウンセリングや教職員への情報提供などを行った。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和元年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回2223回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換168回、教職員向け研修会9回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会・スクールカウンセラー連絡会等出席78回、校内支援会議への参加217回、家庭訪問42回、その他36回 計2777回 ・来室相談延べ人数：小学生1440人、中学生772人小学生保護者1313人、中学生保護者459人、小学校教員3131人、中学校教員1457人 計8572人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2256人、いじめ92人、暴力143人、虐待89人、友人・異性関係891人、貧困14人、非行74人家庭環境803人、教職員との関係168人、心身の健康・保健1008人、学業進路626人、発達1934人、その他474人 計8572人 ・電話相談延べ人数：小学生12人、中学生60人、小学生保護者248人、中学生保護者93人、小学校教員33人、中学校教員5人 計451人 ・電話相談内容延べ人数：不登校167人、いじめ3人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係18人、貧困0人、非行0人、家庭環境33人、教職員との関係8人、心身の健康・保健47人、学業進路21人、発達74人、その他80人 計451人</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p> <p>スクールカウンセラーを増員し、県のスクールカウンセラーと合わせて全中学校に週2回配置し、児童・生徒、保護者に対し教育相談の充実を図る必要がある。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p> <p>スクールカウンセラーを小学校へ週1回、中学校へ県のスクールカウンセラーと合わせて週2回配置し、その後は勤務日の増加を目指すため。</p>
平成30年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校15校での相談活動内容 ・教室巡回2388回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換202回、教職員向け研修会12回、保護者・地域向け講演会4回、児童・生徒担当者会・スクールカウンセラー連絡会等出席81回、校内支援会議への参加253回、家庭訪問106回、その他91回 計3141回 ・来室相談延べ人数：小学生1605人、中学生862人小学生保護者1368人、中学生保護者360人、小学校教員3062人、中学校教員1484人 計8741人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2547人、いじめ89人、暴力163人、虐待96人、友人・異性関係1043人、貧困5人、非行54人家庭環境609人、教職員との関係285人、心身の健康・保健677人、学業進路447人、発達2267人、その他459人 計8741人 ・電話相談延べ人数：小学生18人、中学生73人、小学生保護者233人、中学生保護者142人、小学校教員20人、中学校教員29人計515人 ・電話相談内容延べ人数：不登校273人、いじめ1人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係18人、貧困0人、非行14人、家庭環境12人、教職員との関係21人、心身の健康・保健23人、学業進路21人、発達95人、その他37人 計515人</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p> <p>スクールカウンセラーを増員し、県のスクールカウンセラーと合わせて全中学校に週2回配置し、児童・生徒、保護者に対し教育相談の充実を図る必要がある。</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p> <p>スクールカウンセラーを小学校へ週1回、中学校へ県のスクールカウンセラーと合わせて週2回配置し、その後は勤務日の増加を目指すため。</p>

備考 (その他)

6 (1) 13	スクールソーシャルワーカー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-------------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 3 (2) 3事業の再掲 > 社会福祉に関する専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣します。	スクールソーシャルワーカーを各小・中学校の要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	3人 (週5日勤務1人、週3日勤務2人) による相談活動内容 小学校：相談件数 71件、延べ訪問回数 73回、ケース会議への参加17回、関係機関との連携 (含電話) 609回 中学校：相談件数 66件、延べ訪問回数 54回、ケース会議への参加22回、関係機関との連携 (含電話) 410回	前年度の課題等に対する取組状況 学校の臨時休業により、学校が児童・生徒の環境について把握することが難しかったため、スクールソーシャルワーカーへの要請も少なかった。その中でも学校からの要請に対して適切に対応することができた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。
令和元年度	3人 (週5日勤務1人、週3日勤務2人) による相談活動内容 小学校：相談件数 84件、延べ訪問回数 91回、ケース会議への参加45回、関係機関との連携 (含電話) 719回 中学校：相談件数 122件、延べ訪問回数 83回、ケース会議への参加35回、関係機関との連携 (含電話) 604回	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ることができた。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	3人 (週5日勤務1人、週3日勤務2人) による相談活動内容 小学校：相談件数 91件、延べ訪問回数80回、ケース会議への参加51回、関係機関との連携 (含電話)725回 中学校：相談件数 124件、延べ訪問回数108回、ケース会議への参加69回、関係機関との連携 (含電話)898回	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題 スクールソーシャルワーカーを各学校からの要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図る必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

6 (2) 1	子どものための相談機能の充実	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 1 事業の再掲 > 子ども自身や保護者が相談できる電話・来室相談等、子どものための相談体制を充実します。</p>	<p>子ども自身や保護者の悩みを早期に解決するために相談機能の充実を図ります。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価												
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 187件 ヤングテレホン相談 (火～土) 131件 ヤングメール相談55件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回30,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設への配布と併せて、近隣の鶴嶺高校、茅ヶ崎高校、茅ヶ崎西浜高校、寒川高校、秦野高校、秦野曾屋高校、秦野総合高校、伊志田高校、伊勢原高校、向上高校、自修館中等教育学校へ保健室配布分として各20部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (12月)、全国青少年研究集会 (オンライン配信・1月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するとともに、様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>子どものためのセーフティネットの一つとしての機能を高めるため、現在の相談体制に加え、LINEを活用した相談を実施するなど、相談機能の充実を図る。</p> </td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続	翌年度に向けた課題と取組		<p>子どものためのセーフティネットの一つとしての機能を高めるため、現在の相談体制に加え、LINEを活用した相談を実施するなど、相談機能の充実を図る。</p>					
検証結果	A: 成果があがった													
今後の事業展開	②拡大して継続													
翌年度に向けた課題と取組														
<p>子どものためのセーフティネットの一つとしての機能を高めるため、現在の相談体制に加え、LINEを活用した相談を実施するなど、相談機能の充実を図る。</p>														
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 214件 ヤングテレホン相談 (火～土) 100件 ヤングメール相談50件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回32,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設への配布と併せて、近隣の鶴嶺高校、茅ヶ崎高校、茅ヶ崎西浜高校、寒川高校、秦野高校、秦野曾屋高校、秦野総合高校、伊志田高校、伊勢原高校、向上高校、自修館中等教育学校へ保健室配布分として各20部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 新たな啓発方法として、12月からツイッターを開設し、青少年相談室に関する情報の配信を開始した。 神奈川県主催相談員研修 (8月、2月)、人権研修 (10月)、湘南地域青少年社会環境健全化推進連絡会講演会 (10月)、青少年行政関係職員研修 (2月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するとともに、様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。</p> </td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		<p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するとともに、様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p>		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		<p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。</p>	
検証結果	A: 成果があがった													
今後の課題														
<p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するとともに、様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p>														
今後の事業展開とその判断理由														
①現状の規模で継続														
<p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。</p>														
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 328件 ヤングテレホン相談 (火～土) 140件 ヤングテレホンメール相談105件 相談室の啓発チラシを4月、9月、1月の3回 (各回32,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設への配布と併せて、近隣の鶴嶺高校、茅ヶ崎高校、茅ヶ崎西浜高校、寒川高校、秦野高校、秦野曾屋高校、秦野総合高校へ保健室配布分として20部送付した。 平成28年度から開始したNPO法人との市民提案型協働事業「不登校・ひきこもり改善・自立支援事業」を5月・6月・9月・10月・11月・12月の6回、青少年会館各会合室及び体育館にて開催した。 神奈川県主催相談員研修 (5月、7月、1月) 及び自殺対策研修 (9月、12月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化しており、これに応ずる相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。</p> </td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		<p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化しており、これに応ずる相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p>		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		<p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。</p>	
検証結果	A: 成果があがった													
今後の課題														
<p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化しており、これに応ずる相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p>														
今後の事業展開とその判断理由														
①現状の規模で継続														
<p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図ることが必要。</p>														

備考 (その他)

6 (2) 2	保護を必要とする子どもへの対策	担当課	こども家庭課
---------	-----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 1 (1) 2 事業の再掲 > ・ こども総合相談担当と児童相談所との連携を密にし、保護を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 ・ 里親制度の啓発・普及に努めます。	・ 児童相談所や関係機関と連携し、支援を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 ・ すべての子どもの権利を擁護するために子ども家庭総合支援拠点の設置に取り組みます。 ・ 里親制度紹介講座及び里親相談 (児童相談所主催) を実施し、制度の啓発・普及に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	・ 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 ・ 里親制度について、関係機関へのチラシの配布や児童虐待防止啓発活動における平塚駅前での啓発グッズの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。	前年度の課題等に対する取組状況 児童相談所との進行管理会議の実施方法を変更した。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A : 成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
今後の事業展開とその判断理由								
①現状の規模で継続								
令和元年度	・ 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 ・ 里親制度紹介講座及び里親相談 (平塚児童相談所主催) について、広報ひらつかへの掲載、関係機関へのチラシの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A : 成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
①現状の規模で継続								
平成30年度	・ 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 ・ 里親制度紹介講座及び里親相談 (平塚児童相談所主催) について、広報ひらつかへの掲載、関係機関へのチラシの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の課題			
		検証結果	A : 成果があがった					
		今後の課題						
		今後の事業展開とその判断理由						
①現状の規模で継続								

備考 (その他)

6 (2) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 3 事業の再掲 > 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしていますが、必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議91回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実務者会議を1回中止している)</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議 98回</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。</p> <p>平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議110回</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)			

6 (2) 4	養育支援訪問事業	担当課	健康課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 1 (1) 4 事業の再掲 > 保護者の疾病等の理由により、児童を養育することに支障が生じた家庭に対して、安定した児童の養育が可能となるように訪問による支援を実施します。	適切な時期に支援が導入できるように関係機関と連携を図り、継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	件数：6件 実施内容： ①訪問37回（保健師訪問22回） ②電話相談39回（保健師電話29回） ③家事援助（ヘルパー）：65回 計97.5時間 ④所内面接、同行受診等：4回（保健師訪問3回）	前年度の課題等に対する取組状況 適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		翌年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていく。			
検証結果	A：成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
翌年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていく。												
令和元年度	件数：6件 実施内容： ①訪問44回（保健師訪問23回） ②電話相談85回（保健師電話42回） ③家事援助（ヘルパー）：61回 計100時間 ④所内面接、同行受診等：21回（保健師訪問4回）	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												
平成30年度	件数：4件 実施内容： ①訪問16回（保健師訪問9回） ②電話相談24回（保健師電話19回） ③家事援助（ヘルパー）：36回 計53時間 ④所内面接、同行受診等：4回	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続												

備考 (その他)

6 (2) 5	育児講座	担当課	保育課
---------	------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 1 事業の再掲 > 子育て家庭の不安感、負担感を軽減できるように、乳幼児の健全な心身の発達、親・家庭の果たす役割及び親と子の関係等について学び、親の育児力の向上を図るため、育児講座を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座の開催や保護者との懇談会を実施します。 ・ 主任児童委員等の意見を伺い、地域のニーズに合う講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続	
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>保育所等で、親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座を実施した。また、保護者との懇談会などを通して、育児不安の解消や育児力の向上に努めた。</p> <p>各種講座：親子ふれあい遊び、簡単クッキング、歯科巡回教室、読み聞かせ、リンパマッサージなど</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>保育所等で、親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座を実施した。また、保護者との懇談会などを通して、育児不安の解消や育児力の向上に努めた。</p> <p>各種講座：親子ふれあい遊び、簡単クッキング、歯科巡回教室、読み聞かせ、リンパマッサージなど</p>	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (2) 6	子育て支援地域派遣事業	担当課	保育課 健康課
---------	-------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 4 事業の再掲 > 地域の子育て支援活動等に保育士や保健師等を派遣し、育児に関する相談・支援を行います。</p>	<p>子育てサークルなどでの育児情報の提供や育児相談、遊びの紹介等、子育て支援に継続して取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 子育てサークル派遣：1回、子育て支援活動：11回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。</p> <p>健康課 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。</p> <p>1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回(中止1回)、歯科0回</p> <p>2 地区子育て広場 派遣回数：保健師2回(8件中止)、栄養1回(3回)、歯科2回(4件中止) 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回</p> <p>3 子育て支援センター 派遣回数：保健師0回(1件中止)、栄養0回(中止1回)、歯科0回(1件中止) ・地区の要望に沿い対応している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため、健康課職員の派遣事業は縮小します。 </td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため、健康課職員の派遣事業は縮小します。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	③縮小して継続									
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため、健康課職員の派遣事業は縮小します。										
令和元年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 子育てサークル派遣：6回、子育て支援活動：135回</p> <p>健康課 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。</p> <p>1 子育てサークル 派遣回数：保健師 1回、栄養 1回、歯科 1回</p> <p>2 地区子育て広場 派遣回数：保健師 15回、栄養 9回、歯科 7回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数： 栄養 1回、歯科 5回</p> <p>3 子育て支援センター 派遣回数：保健師 1回、栄養 1回、歯科 2回</p> <p>・地区の要望に沿い対応している。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
平成30年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 子育てサークル派遣：5回、子育て支援活動：144回</p> <p>健康課 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。</p> <p>1 子育てサークル 派遣回数：保健師 1回、栄養 1回、歯科 1回</p> <p>2 地区子育て広場 派遣回数：保健師 18回、栄養 10回、歯科 7回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数： 栄養 3回、歯科 6回</p> <p>3 子育て支援センター 派遣回数：保健師 1回、栄養 3回、歯科 3回</p> <p>・地区の要望に沿い対応している。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										

備考 (その他)

6 (2) 7	地域福祉推進事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 5事業の再掲 > 地域福祉を推進するため、市民と行政との協働により、地域の子どもから高齢者までがお互いに助け合い、支え合う仕組みとしての町内福祉村の新設及び既設福祉村等の環境整備を支援します。</p>	<p>既存福祉村について活動の支援を行うほか、福祉村未設置地区に出向き、本事業の説明やワークショップを実施することで、町内福祉村の意義や必要性を伝え、新設を促進します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉村活動を一部縮小し実施しました。既設18地区の町内福祉村に対し、市から住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動を可能な範囲で実施する際の助言等を行うことで、地域の輪が途切れることの無いよう配慮を行いました。</p> <p>また、町内福祉村に対する運営支援については、年4回の福祉村会長会議を書面で開催するなどの手段も活用しながら他の福祉村の好事例等を参考にしたり、各福祉村での共通の課題等を取り上げ情報共有することで、感染症の影響下においても、各福祉村の活動が活性化するように努めました。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、感染症の影響で地区へ情報を提供する機会が持てなかったため、今後も継続的に協議を進めていくこととします。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>福祉村の運営にかかる会計処理について、情報共有を行いました。また、感染症の影響で活動が一部縮小したため、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などは、継続して検討する必要があります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">感染症の影響を見つつ、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などについて、継続して検討が必要です。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		感染症の影響を見つつ、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などについて、継続して検討が必要です。			
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
感染症の影響を見つつ、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などについて、継続して検討が必要です。												
令和元年度	<p>既設18地区の町内福祉村の活動に対する支援を通じて、住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動が活発に行われ、地域福祉が推進されました。また、各福祉村を対象とした調査で特徴的な活動を抽出して福祉村会長会議等で伝達することにより、好事例を水平展開できるよう支援しました。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">福祉村の運営にかかる会計処理の適正化を推進するとともに、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開、他地区における好事例の水平展開などについて検討する必要があります。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続 町内福祉村を設置していくことは、地域における住民間の支え合いの仕組みを構築する有効な手段であるため。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		福祉村の運営にかかる会計処理の適正化を推進するとともに、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開、他地区における好事例の水平展開などについて検討する必要があります。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続 町内福祉村を設置していくことは、地域における住民間の支え合いの仕組みを構築する有効な手段であるため。	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
福祉村の運営にかかる会計処理の適正化を推進するとともに、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開、他地区における好事例の水平展開などについて検討する必要があります。												
今後の事業展開とその判断理由												
②拡大して継続 町内福祉村を設置していくことは、地域における住民間の支え合いの仕組みを構築する有効な手段であるため。												
平成30年度	<p>既存の町内福祉村に対する運営支援については、年4回の福祉村会長会議、諸課題を検討するための部会を5回開催して意見交換と情報提供を行い、他の福祉村の好事例等を参考に各福祉村の活動が活性化するように努めた。また、町内福祉村の認知度を高めるため、各福祉村と連携して啓発チラシを作成するなど、地域福祉の推進のための後方支援をした。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、数地区に対して町内福祉村の設置を促し、説明会を開催したが、本年度中の開設には至らず、継続的に協議を進めていくこととなった。</p> <p>町内福祉村のコーディネーター育成のため、県・市・諸団体が主催する研修会への参加を求め、地域力の充実を図った。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">町内福祉村の新設やボランティア数の増加などには、地域福祉の推進を地域住民が主体となって進めていく風土の醸成が必要である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続 市内地区公民館区（25地区）に、町内福祉村の設置を進めている。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		町内福祉村の新設やボランティア数の増加などには、地域福祉の推進を地域住民が主体となって進めていく風土の醸成が必要である。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続 市内地区公民館区（25地区）に、町内福祉村の設置を進めている。	
検証結果	B：おおむね成果があがった											
今後の課題												
町内福祉村の新設やボランティア数の増加などには、地域福祉の推進を地域住民が主体となって進めていく風土の醸成が必要である。												
今後の事業展開とその判断理由												
②拡大して継続 市内地区公民館区（25地区）に、町内福祉村の設置を進めている。												

備考 (その他)

6 (2) 8	非行防止活動の推進	担当課	青少年課
---------	-----------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 7事業の再掲 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 心豊かで、規範意識・遵法精神・社会性が向上した青少年を一人でも多く育成するため、社会を明るくする運動を通して、講演会や街頭啓発キャンペーン等を行います。 愛護指導活動、相談活動を行います。 青少年指導員による環境浄化活動を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、社会を明るくする運動の活動を支援します。 青少年の非行を防止するため、学校及び地域と協力し、パトロールを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち7校区で各1回実施 (指導件数726件) 社会を明るくする運動を各地区において開催 (7地区で実施、延べ627人参加) 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場への横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布 (2,180部) を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。			
検証結果	A: 成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。												
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を七夕まつり、花火大会、年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち12校区は各1回、2校区は2回、1校区は3回実施 (指導件数1,348件) 社会を明るくする運動を各地区において開催 (22地区で実施、延べ5,166人参加) 社会を明るくする運動啓発キャンペーンを実施 (135人参加) 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A: 成果があがった											
今後の課題												
指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。												
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 火～土曜日に通常愛護指導を毎日実施 (指導件数1,122件) 七夕、花火大会、年末愛護指導や夜間特別愛護指導を実施 (指導件数233件) 中学校区強化愛護指導を実施 (全15校区のうち12校区は各1回、1校区は2回、1校区は3回実施。指導件数は51件) 社会を明るくする運動を各地区において開催 (23地区で実施、延べ6,690人参加) 社会を明るくする運動街頭啓発キャンペーンを実施 (170人参加) 青少年指導員、青少年補導員の合同による街頭パトロールの実施 (指導件数12件) 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題		指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A: 成果があがった											
今後の課題												
指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。												

備考 (その他)

6 (2) 9	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 8事業の再掲 > 地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。</p>	<p>地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。 「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①なでしこ小学校 16回延べ539人 ②黒部丘幼稚園 25回450人 ③花水さくら保育園 36回延べ1,053人 ④花水公民館 2回延べ15人 合計 1地区 実施回数 79回 延べ2,057人	前年度の課題等に対する取組状況 保育園・幼稚園に「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用を依頼した。 子ども読書活動代表者会議で読み聞かせの実績報告を依頼。
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
令和元年度	いのちの尊さをつたえる本の読み聞かせ実施状況 ①花水小学校 255回延べ8,766人 ②平塚工科高等学校 2回延べ43人 ③花水公民館 17回延べ179人 ④花水さくら保育園 54回延べ1,466人 ⑤黒部丘幼稚園 43回延べ940人 ⑥なでしこ小学校 126回延べ3,890人 ⑦しらさぎ保育園 3回延べ15人 ⑧相模小学校 1回364人 ⑨江陽中学校 2回延べ784人 ⑩南原小学校 1回242人 ⑪大原小学校 1回40人 ⑫南原保育園 3回延べ59人 ⑬富士見公民館 2回延べ52人 ⑭吉沢保育園 4回延べ70人 ⑮大住中学校 1回50人 ⑯港こども園 4回延べ80人 ⑰夕陽ヶ丘保育園 3回延べ27人 ⑱港小学校 1回20人 合計 8地区 実施回数523回 延べ17,087人	検証結果 A：成果があがった 今後の課題 現在、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①花水小学校 284回延べ9,167人 ②平塚工科高等学校 2回43人 ③花水公民館 20回延べ348人 ④花水台保育園 184回延べ3,724人 ⑤黒部丘幼稚園 64回延べ1,012人 ⑥なでしこ小学校 124回延べ4,000人 ⑦港小学校 1回20人 ⑧八幡山洋館 2回15人 ⑨江陽中学校 2回延べ578人 ⑩中原中学校 6回延べ200人 ⑪大原小学校 3回延べ101人 ⑫横内中学校 1回61人 合計 7地区 実施回数693回 延べ19,269人	検証結果 A：成果があがった 今後の課題 現在、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)			

6 (2) 10	一時預かり事業	担当課	保育課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 1 事業の再掲 > 保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 [対象：就学前子ども]</p>	<p>民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所20園で実施 (延べ利用児童数推計9,941人) 認定こども園6園 (民間・公立) 及び民間幼稚園3園で実施 (延べ利用児童数推計12,316人) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		本年と同様の規模で継続したい。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所20園で実施 (延べ利用児童数13,296人) 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施 (延べ利用児童数15,412人) 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)

6 (2) 11	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
----------	--------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 2事業の再掲 > 子育ての援助を受けたい方 (依頼会員) と子育ての援助を行いたい方 (支援会員) を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。〔依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者〕</p>	<p>支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援会員入会説明会を2回開催。 ・ 支援会員の講習会を1回開催。 ・ 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・ 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・ 支援会員サポートを1回開催。 <p>会員数：支援会員291人、依頼会員1,480人、内両方会員30人 活動件数：1,317件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。 ・ 支援会員入会説明会の会場を利便性の高い会場に変更し、開催数を増加。(R1：12回 R2：30回) <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、支援会員講習会のカリキュラム見直し、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。</p>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援会員入会説明会を2回開催。 ・ 支援会員の講習会を2回開催。 ・ 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・ 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・ 支援会員サポートを5回開催。 <p>会員数：支援会員291人、依頼会員1,455人、内両方会員30人 活動件数：2,834件</p> <p>前年度の課題への取組状況：平成30年度の取組を継続して実施することで周知を図り、支援会員の増加に向けた取組を行った。</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p style="text-align: center;">今後の課題</p> <p>引き続き支援会員の増加を図る。</p> <p style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続 令和2年4月1日から支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。</p>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援会員入会説明会を2回開催。 ・ 支援会員の講習会を2回開催。 ・ 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・ 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・ 支援会員サポートを4回開催。 <p>会員数：支援会員283人、依頼会員1,371人、内両方会員30人 活動件数：2,252件</p> <p>前年度の課題への取組状況：広報ひらつかやホームページ等での周知に加え、元気応援ポイント説明会や福祉村会議で本事業の周知や、以前依頼会員として登録していた方へ支援会員への移行をご案内するなど、支援会員の増加に向けた取組を行った。</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p style="text-align: center;">今後の課題</p> <p>引き続き支援会員の増加を図る。</p> <p style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続 対象年齢について、平成31年4月から依頼会員のお子さんの対象年齢を小学校6年生まで拡大。(従来はおおむね9歳まで)</p>

備考 (その他)

6 (2) 12	延長保育・休日保育事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (1) 3 事業の再掲 > 保育所や認定こども園において、延長保育や休日保育を行います。〔対象：就学前子ども〕	引き続き、保護者の就労形態などに対応した延長保育や休日保育を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育 (全園で実施) ・障がい児保育 (全園で受入れ可) ・休日保育 (1園で実施) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A : 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育 (全園で実施) ・障がい児保育 (全園で受入れ可) ・休日保育 (1園で実施) 	検証結果 A : 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育 (全園で実施) ・障がい児保育 (全園で受入れ可) ・休日保育 (1園で実施) 	検証結果 A : 成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

6 (2) 13	私立幼稚園の預かり保育の推進	担当課	学務課
----------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 4 事業の再掲 > 県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。 [対象：3歳から就学前子ども]</p>	<p>引き続き、県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	新制度未移行の市内私立幼稚園全てで実施いただいた。	前年度の課題等に対する取組状況 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。								
今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。								
今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続								
令和元年度	新制度未移行の市内私立幼稚園全てで実施いただいた。	前年度の課題等に対する取組状況 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。								
今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。								
今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続								
平成30年度	市内私立幼稚園全てで実施いただいた。	前年度の課題等に対する取組状況 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。								
今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続								
<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続			
検証結果	A：成果があがった							
今後の課題 子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。								
今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続								

備考 (その他)			

6 (2) 14	病児・病後児保育	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 5 事業の再掲 > 子どもが病中、又は病気の回復期にあるときに、保護者が仕事や病気等により、自宅で看病できない場合に対応するため、病児・病後児保育を行います。</p>	<p>時期により定員を超える利用申込みがあることなどから、事業の拡充 (病児保育の実施) に向け取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	市内1か所で病後児保育を実施。 延べ利用児童数 107人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数減少。	前年度の課題等に対する取組状況 令和3年4月からの病児保育実施に向け、事業者と協議を進めた。
		検証結果 B: おおむね成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和3年4月から開始する病児保育の広報を行うとともに、円滑に運営ができるように支援を行う。
		検証結果 B: おおむね成果があがった 今後の課題
令和元年度	市内1か所で病後児保育を実施。 延べ利用児童数 270人	検証結果 B: おおむね成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 時期により定員を超える申込みがあることなどから、事業の拡充に向け取り組んでいく。
		検証結果 B: おおむね成果があがった 今後の課題
平成30年度	市内1か所で病後児保育を実施。 延べ利用児童数 239人	検証結果 B: おおむね成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ②拡大して継続 時期により定員を超える申込みがあることなどから、事業の拡充に向け取り組んでいく。
		検証結果 B: おおむね成果があがった 今後の課題

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (1) 6 「病後児保育」 から事業名称を変更した。

6 (2) 15	放課後児童クラブの充実・推進	担当課	青少年課
----------	----------------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 6 事業の再掲 > 放課後児童支援員等としての資質の向上を図るため、放課後児童支援員等を対象とした市主催の研修を推進します。また、近年、県等主催の研修が充実してきたため、より多くの研修機会が持てるように、情報提供し、参加を促進します。</p>	<p>県等主催の研修について情報提供するとともに、市主催の研修については、県等主催の研修内容を踏まえ、放課後児童支援員等として、必要な知識及び技術の習得のための研修を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>10月1日、16日 発達障がい児の理解等について 2日間 1日57人、16日65人</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で、10月のみの開催。</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		翌年度に向けた課題と取組
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
	翌年度に向けた課題と取組							
<p>令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、開催回数が少なかったが、令和3年度以降は例年規模で継続し、放課後児童支援員等の資質の向上に努める。</p>								
令和元年度	<p>学童保育指導員を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>7月 普通救命講習 2日間 参加者63人</p> <p>2月 子どもの人権を守るために ～学童保育で大切にしたいこと～ 1日 参加者56人</p> <p>3月 発達障がい児の理解等について 1日 新型コロナウイルス感染症の影響のため中止</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった		今後の課題		
		検証結果	A：成果があがった					
			今後の課題					
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>						
平成30年度	<p>学童保育指導員を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>7月 普通救命講習 2日間 参加者77人</p> <p>2月 子どもとの関わり方について 1日 参加者61人</p> <p>3月 発達障がい児の理解等について 1日 参加者73人</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった		今後の課題		
		検証結果	A：成果があがった					
			今後の課題					
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>						

備考 (その他)
<p>第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (1) 7「学童保育の充実・推進」から事業名称を変更した。</p>

6 (2) 16	子育て支援センター事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 1 事業の再掲 > 子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,254人、子ども 3,939人、合計 7,193人 相談件数：面接 2,043件、電話 28件、その他 181件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。 令和2年6月15日からは、利用は予約制で利用時間、利用人数等を制限して再開した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。										
令和元年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 8,788人、子ども 10,821人、合計 19,609人 相談件数：面接 2,919件、電話 23件、その他 367件</p> <p>1日2回の自由に参加できるジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。また、月に1回のスペシャルジョイフルタイムでは、利用者の中のボランティアなどにより、色々な催し（ミニコンサート、人形劇、読み聞かせなど）を、育児講座「わくわくタイム」、「わくわくデイ」では赤ちゃんマッサージ、乳幼児の健康と食事などの講座を概ね月1～2回開催している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日から臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
平成30年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 10,729人、子ども 12,805人、合計23,534人 相談件数：面接 3,568件、電話 28件、その他 389件</p> <p>1日2回の自由に参加できるジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。また、月に1回のスペシャルジョイフルタイムでは、利用者の中のボランティアなどにより、色々な催し（ミニコンサート、人形劇、読み聞かせなど）を、育児講座「わくわくタイム」、「わくわくデイ」では赤ちゃんマッサージ、乳幼児の健康と食事などの講座を概ね月1～2回開催している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続	
検証結果	A：成果があがった									
今後の課題										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										

備考 (その他)

6 (2) 17	つどいの広場事業	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 2事業の再掲 > 主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 [対象：おおむね0～3歳児及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>・5か所で実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等は中止した。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,546人、子ども1,634人、合計 3,180人、相談件数： 248件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 2,863人、子ども 3,101人、合計 5,964人、相談件数： 392件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,397人、子ども 1,643人、合計 3,040人、相談件数： 186件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,118人、子ども 1,281人、合計 2,399人、相談件数： 27件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 616人、子ども 663人、合計 1,279人、相談件数： 44件</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。令和2年6月15日からは、利用時間、利用人数等を制限して順次再開した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>
令和元年度	<p>・5か所で実施。</p> <p>月1～2回、親子等を対象として講師を招いての子育て講演会、各種手作り講座（七夕飾り、ひな人形等）、コンサート、読み聞かせ、クリスマス会等のイベントを開催。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 3,623人、子ども 3,806人、合計 7,429人、相談件数： 411件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 5,819人、子ども 6,298人、合計 12,117人、相談件数： 800件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 2,989人、子ども 3,733人、合計 6,722人、相談件数： 178件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 2,011人、子ども 2,158人、合計 4,169人、相談件数： 38件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 1,171人、子ども 1,305人、合計 2,476人、相談件数： 20件</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から臨時休所。</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p style="text-align: center;">今後の課題</p>
		<p style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>
平成30年度	<p>・5か所で実施。</p> <p>月1～2回、親子等を対象として講師を招いての子育て講演会、各種手作り講座（七夕飾り、ひな人形等）、コンサート、読み聞かせ、クリスマス会等のイベントを開催。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 4,262人、子ども 4,585人、合計 8,847人、相談件数： 532件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 7,237人、子ども 7,724人、合計 14,961人、相談件数： 920件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 3,731人、子ども 4,382人、合計 8,113人、相談件数： 211件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人2,498人、子ども 2,618人、合計 5,116人、相談件数： 42件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」※ 利用者数：大人 303人、子ども 349人、合計 652人、相談件数 15件</p> <p>※平成30年11月開所</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p style="text-align: center;">今後の課題</p>
		<p style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</p> <p>②拡大して継続</p>

備考 (その他)

6 (2) 18	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 4 事業の再掲 > 公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。</p>	<p>事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所7園及び認定こども園1園で実施 神田保育園・・・参加 5組 南原保育園・・・参加79組 吉沢保育園・・・参加 1組 しらさぎ保育園・参加23組 夕陽ヶ丘保育園・参加11組 若草保育園・・・参加 8組 大神保育園・・・参加 2組 港こども園・・・参加 7組 合 計・・・実施70回、参加136組	検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続 今年度から公立園全園で実施	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所3園で実施 (月2回) 花水台保育園・・・実施23回、参加 8組 夕陽ヶ丘保育園・実施24回、参加 6組 若草保育園・・・実施24回、参加 8組 合 計・・・実施71回、参加22組	検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		③縮小して継続 花水台保育園の民営化に伴い規模を縮小して実施する。	

備考 (その他)	

6 (2) 19	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	担当課	こども家庭課
----------	-------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 2 事業の再掲 > 既存の社会資源を有効に活用するため、児童相談所や関係機関等と連携し、地域における多様な子育て支援サービス情報を一元的に把握して、ネットワーク化を図ります。</p>	<p>利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用援助等の支援を行うとともに、子育て家庭や保育所からの相談に対応します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 ・公共施設を活用し、相談対応・情報提供を実施。 ・市内子どもの家4か所にて、1か月に1回親子広場を開催 (24回)。214人の親子が参加、58件の相談に対応。 なお、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、5・6月 (8回) を休止した。 ・家庭児童相談員を配置し、県児童相談所等と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,799件 ・子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況 子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図った。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 ・公共施設を活用し、相談対応・情報提供を実施。 ・市内子どもの家4か所にて、1か月に1回親子広場を開催 (30回)。312人の親子が参加、63件の相談に対応。 なお、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、3月に2か所中止。 ・家庭児童相談員を配置し、県児童相談所等と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,451件 	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</p>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 ・公共施設を活用し、相談対応・情報提供を実施。 ・市内子どもの家4か所にて、1か月に1回親子広場を開催 (32回)。424人の親子が参加、10件の相談に対応。 ・家庭児童相談員を配置し、県児童相談所等と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,306件 	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続</p>

備考 (その他)

6 (2) 20	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	担当課	保育課 教育指導課
----------	---------------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 3 事業の再掲 > 保育所や認定こども園、幼稚園を利用している保護者や地域の子育て家庭を対象に、電話や面接により、子育てについての不安や悩みの相談に対応します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や認定こども園で実施し、相談の内容によっては関係機関と連携を図ります。 ・ 幼稚園の在園児の保護者や入園を希望する保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。 実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	保育課 ・全保育所で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談を行った。 実施園：4園	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	保育課 ・全保育所で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談を行った。 実施園：4園	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (3) 3 「保育所・幼稚園の育児相談」から事業名称を変更した。

6 (2) 21	女性のための相談事業	担当課	人権・男女共同参画課
----------	------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 4 事業の再掲 > 女性が日常生活の中で直面する様々な悩みの解消や配偶者等の暴力から女性とその子どもを守るため、女性のための相談窓口を設けます。</p>	<p>女性やその子どものための支援等について、相談体制や関係機関との連携を強化します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和2年度	<p>・相談件数794件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整46件</p>	前年度の課題等に対する取組状況 連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。										
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
令和元年度	<p>・相談件数823件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整39件</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。			
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の課題								
		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。								
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										
平成30年度	<p>・相談件数 778件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整 73件</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の課題		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。			
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の課題								
		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。								
今後の事業展開とその判断理由										
①現状の規模で継続										

備考 (その他)

6 (2) 22	生活困窮者自立支援事業	担当課	福祉総務課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 5事業の再掲 > 生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、住居確保給付金の支給その他包括的な支援を実施します。</p>	<p>自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業の実施及び住居確保給付金の支給を継続します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。なお、昨年度から、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 継続的な周知と他機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮した方への支援を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」につないで制度を活用できるようにする。また、令和3年3月より実施した「家計改善支援事業」、「就労準備支援事業」を活用して自立に向けた相談を充実させる。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」につないで制度を活用できるようにする。また、令和3年3月より実施した「家計改善支援事業」、「就労準備支援事業」を活用して自立に向けた相談を充実させる。			
検証結果	A：成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」につないで制度を活用できるようにする。また、令和3年3月より実施した「家計改善支援事業」、「就労準備支援事業」を活用して自立に向けた相談を充実させる。												
令和元年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職後2年以内で就職活動を実施している人に当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。なお、今年度から、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施しています。</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">周知を継続的にしていくこと。他機関との連携を強化すること。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②拡大して継続 今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		周知を継続的にしていくこと。他機関との連携を強化すること。		今後の事業展開とその判断理由		②拡大して継続 今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
周知を継続的にしていくこと。他機関との連携を強化すること。												
今後の事業展開とその判断理由												
②拡大して継続 今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「												
平成30年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職後2年以内で就職活動を実施している人に当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。</p>	<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">広く制度の周知が必要です。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続 制度を広く周知することにより、離職等による経済的困窮が生じた際、できるだけ早くくらしサポート相談につながるような関係機関の連携を促進します。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		広く制度の周知が必要です。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 制度を広く周知することにより、離職等による経済的困窮が生じた際、できるだけ早くくらしサポート相談につながるような関係機関の連携を促進します。	
検証結果	A：成果があがった											
今後の課題												
広く制度の周知が必要です。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 制度を広く周知することにより、離職等による経済的困窮が生じた際、できるだけ早くくらしサポート相談につながるような関係機関の連携を促進します。												

備考 (その他)

6 (2) 23	民生委員運営事業	担当課	福祉総務課
----------	----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 7 事業の再掲 > 地域福祉の推進のため、地域と行政とのパイプ役としての役割を果たす民生委員児童委員を積極的に支援します。</p>	<p>定例の地区会長会議や全体研修、分野別研修などを通じ、民生委員児童委員の情報共有や資質向上を支援します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価										
令和2年度	<p>コロナ禍においても、行政からの情報提供は継続して行うと共に、在宅で受講できる研修を取り入れることで民生委員の識見向上に努めました。また、パネル展の開催及び地域住民向けの広報誌を発行することで、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 人材育成の課題に対して予定していた集合研修は全て中止となりましたが、動画やテキストのみで受講できる講座を活用することで、研修機会を確保しました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B : おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">研修機会が十分に得られなかった民生委員児童委員へ機会を提供することが必要です。</td> </tr> </table>	検証結果	B : おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		研修機会が十分に得られなかった民生委員児童委員へ機会を提供することが必要です。			
検証結果	B : おおむね成果があがった											
今後の事業展開	①現状の規模で継続											
翌年度に向けた課題と取組												
研修機会が十分に得られなかった民生委員児童委員へ機会を提供することが必要です。												
令和元年度	<p>地域福祉の推進を図るため、地区会長会議等を通じて行政情報の提供及び情報交換を進めるとともに、研修会を開催することにより民生委員の識見向上に努めました。また、5月の街頭PRやパネル展示をはじめとして、民生委員児童委員活動への理解促進のための啓発活動を実施しました。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和元年度は一斉改選期だったため、新任委員を中心として、民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の育成が必要です。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続 市民が住み慣れた地域で安心して暮らすための支</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の課題		令和元年度は一斉改選期だったため、新任委員を中心として、民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の育成が必要です。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 市民が住み慣れた地域で安心して暮らすための支	
検証結果	A : 成果があがった											
今後の課題												
令和元年度は一斉改選期だったため、新任委員を中心として、民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の育成が必要です。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 市民が住み慣れた地域で安心して暮らすための支												
平成30年度	<p>地域福祉の推進を図るため、毎月の地区会長会議や主任児童委員会議等を通じて行政情報の提供及び情報交換を進めるとともに、6つの部会を中心に研修会を開催し、民生委員の識見向上に努めました。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の確保を図ることです。また、市民が安心して暮らすための支え合いの地域基盤を強化するため、民生委員児童委員制度を一層普及させていく必要があります。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続 委員の識見を高めるため、社会情勢や委員の学習要求に応じた研修を企画します。</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の課題		民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の確保を図ることです。また、市民が安心して暮らすための支え合いの地域基盤を強化するため、民生委員児童委員制度を一層普及させていく必要があります。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続 委員の識見を高めるため、社会情勢や委員の学習要求に応じた研修を企画します。	
検証結果	A : 成果があがった											
今後の課題												
民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の確保を図ることです。また、市民が安心して暮らすための支え合いの地域基盤を強化するため、民生委員児童委員制度を一層普及させていく必要があります。												
今後の事業展開とその判断理由												
①現状の規模で継続 委員の識見を高めるため、社会情勢や委員の学習要求に応じた研修を企画します。												

備考 (その他)

6 (2) 24	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (3) 8事業の再掲 > 子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。	民間学習支援団体等との情報共有、連携の場づくりに取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにこども食堂及び学習支援活動団体の一覧を掲載した。 ・こども食堂及び学習支援活動団体の連絡先 (メールアドレス) を把握することで、国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		団体との連携において、具体的に取り組むことができた。	
		検証結果	A : 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)

6 (2) 25	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (5) 1 事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件 (新規ケース) 相談回数：1,210件	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：587件 (新規ケース) 相談回数：1,145件	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：656件 (新規ケース) 相談回数：1,335件	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (2) 26	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 1 事業の再掲 > 小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで	中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数 (令和3年3月31日時点) 29,403人	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A : 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	小児医療費の助成を行った。 令和2年1月1日から小学生以上に設けていた所得制限を撤廃した。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の発行数 29,951人 医療費及び件数(養育医療給付分も含む) 医療費+手数料 764,615,969円 件数 377,798件	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	小児医療費の助成を行った。 ただし、小学生以上には所得制限を設けている。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の発行数 26,925人 医療費及び件数(養育医療給付分も含む) 医療費+手数料 763,792,537円 件数 380,621件	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (2) 27	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
----------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 2 事業の再掲 > ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,817世帯 4,545人 助成費及び件数 医療費+手数料 149,118,767円 件数 51,364件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,921世帯 4,777人 助成費及び件数 医療費+手数料 172,476,817円 件数 61,915件	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 2,023世帯 5,047人 助成費及び件数 医療費+手数料 182,354,674円 件数 65,211件	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

6 (2) 28	保育所保育料の軽減	担当課	保育課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 3 事業の再掲 > 子どもの数や世帯の所得に応じた保育所保育料の軽減を維持します。	「幼児教育・保育の無償化」を踏まえながら、低所得世帯や多子世帯に対する保育所保育料の軽減に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	保育所保育料の軽減に向けた取組について ①現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。 ②幼児教育・保育の無償化実施 ・3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し、保育料が無償。	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	保育所保育料の軽減に向けた取組については、平成29年度と同様の軽減措置を継続して実施した。 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		⑧その他 令和元年10月から幼児教育・保育の無償化を実施するため。	

備考 (その他)

6 (2) 29	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	担当課	学務課
----------	-------------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 4 事業の再掲 > 低所得者の負担軽減を図るため、施設等利用給付認定保護者 (子どもが従来制度の幼稚園を利用) に対する副食材料費に要する費用の一部を補助します。</p>	<p>対象者へ副食材料費に要する費用の一部を補助します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を補助します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> <p>月4,500円</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A: 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。</p>	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
平成30年度	<p>第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけした事業です。</p>	検証結果	
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	

備考 (その他)			

6 (2) 30	妊産婦の相談の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 5 (1) ① 2 事業の再掲 > 妊娠早期から産後までの心身の変化や不安等の相談に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子健康手帳の交付時は、保健指導体制をとって相談に臨みます。 ・ 妊娠時期に合わせた健康管理に必要な情報を提供します。 ・ ハイリスク者に対する関係機関との連携強化を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 ・ 妊娠11週以下での届出率 94% ・ 妊娠中のフォロー件数115件 (妊娠届数の8%) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 ・ 妊娠11週以下での届出率 94.2% ・ 妊娠中のフォロー件数192件 (妊娠届数の11.0%) 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に設置している「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳を交付している。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 ・ 妊娠11週以下での届出率 92.2% ・ ハイリスク者を早期に把握し、支援する目的で妊娠届出書にアンケートを追加した。 ・ 妊娠中のフォロー件数132件 (妊娠届数の8.0%) 	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		産後ケアの支援の充実
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)	

6 (2) 31	乳幼児期の相談の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (1) ② 2 事業の再掲 > 未就学児を対象として、保護者の育児不安等の対応と、子どもにとって望ましい生活習慣の確立ができるように育児相談を充実させます。</p>	<p>乳幼児期の相談の場である7か月児相談のさらなる啓発を図り、望ましい生活習慣を確立した児を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数を減らして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施、年16回実施、来所者数538人(8回中止) ・育児相談を毎月2回実施、年18回実施(6回中止) 来所者数 347人 ・離乳食教室を実施した(試食提供中止、時間短縮) ・むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 <p>歯みがき教室は8回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は16園で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ) 3回 参加人数37人(児20人、保護者等17人) (2回中止) <p>小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>
		<p>検証結果 B: おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ③縮小して継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。</p>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施、年23回実施、来所者数850人 ・育児相談を毎月3回実施 35回実施 来所者数1382人 ・離乳食教室を実施した ・むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 <p>歯みがき教室は17回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は19園で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ) 5回 参加人数60人(児30人、保護者等30人) <p>小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。参加者の満足度は高く、毎回情報交換や仲間づくりをする場を設けている。</p>	<p>検証結果 B: おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p> <p>育児相談については、来所者数に合わせて、実施回数を月3回から月2回へ見直す。</p>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施、年24回実施、来所者数858人 ・育児相談を毎月3回実施 36回実施 来所者数1604人 ・離乳食教室を実施した ・むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 <p>歯みがき教室は20回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は43園で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ) 6回 参加人数73人(児36人、保護者等37人) <p>小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。参加者の満足度は高く、毎回情報交換や仲間づくりをする場を設けている。</p>	<p>検証結果 A: 成果があがった</p>
		<p>今後の課題</p>
		<p>今後の事業展開とその判断理由</p> <p>①現状の規模で継続</p>

備考 (その他)	

6 (2) 32	訪問事業	担当課	健康課
----------	------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (1) ②3事業の再掲> 乳幼児を持つ家庭に対する訪問を通し、育児不安への対応や、精神的な不安定さを抱える母親への支援を実施します。また、新生児聴覚スクリーニング検査の受診勧奨と検査後の不安軽減のために相談先を紹介します。</p>	<p>こんにちは赤ちゃん訪問の実施率の向上を目指します。 (参考値：平成30年度実績96.1%)</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	乳児家庭全戸訪問 訪問率95.3%(令和1年12月～令和2年11月生) ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 未熟児訪問 訪問率 93.3%、(令和1年12月～令和2年11月生) ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問又は電話での聞き取りで状況を把握するなど内容を変更し実施した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルスの感染状況により、現状と同様に内容を変更し訪問率の向上を目指す。
令和元年度	乳児家庭全戸訪問 訪問率95.3% ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 未熟児訪問 訪問率 91.8%、(平成30年12月～令和2年11月生) ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。	検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	乳児家庭全戸訪問 訪問率96.1% ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 未熟児訪問 訪問率 95.8%、(平成29年12月～平成30年11月生) ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを作成し、育児の特徴を伝えるツールとする。	検証結果 A：成果があがった 今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)			

6 (2) 33	学校保健の充実	担当課	学務課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 5 (2) ①3事業の再掲 > ・ 心電図検査、心臓疾患第2次検査、腎臓疾患 (尿) 検査、同2次検査、同3次精密検査、結核健康診断、胸部レントゲン直接撮影、結核健康診断精密検査、学校歯科巡回指導を実施します。 ・ 各学校 (園) 健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施します。	引き続き、各種健康診断等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和2年度	心電図検査 (10～11月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施 (1～3月実施、心電図検査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) し、一部を翌年度へ延期した 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止とし、翌年度へ延期した 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。 代替措置として、家庭での使用用にカラーテスターを配布した。 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		検証結果	B: おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組			
今年度の事業実施が延期となった事業に係る翌年度対象者増による事業実施方法の検討						
令和元年度	心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8～9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導 (5～7月、9月～12月) 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題	
		検証結果	A: 成果があがった			
		今後の課題				
		今後の事業展開とその判断理由				
①現状の規模で継続						
平成30年度	心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導 (5～7月、9月～12月) 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の課題	
		検証結果	A: 成果があがった			
		今後の課題				
		今後の事業展開とその判断理由				
①現状の規模で継続						

備考 (その他)

6 (2) 34	こども発達支援室の療育相談	担当課	こども家庭課
----------	---------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (4) ②1事業の再掲> 子どもの発達に関する相談を電話や面接により対応します。また、心理士、言語聴覚士、作業療法士、小児精神科医による相談、一般相談等、子育てについての不安や悩みの相談を受け付けます。</p>	<p>相談事業を継続します。また、はぐくみサポートファイルなどのツールを活用し、就学に向けての切れ目のない支援に取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価												
令和2年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。 〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1,555件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ162件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ374件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 (コロナの影響で1回中止) 延べ24件 ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1,067件 ・一般相談 随時 延べ134件、電話による相談554件 <p>〈グループや事業における相談〉 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や時期を変更して実施したグループがあった。子育て交流ひろばは4月～8月は中止し、9月から申込制にして開催。1月の緊急事態宣言発令後は参加受付人数を減らして開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 全グループ 146回、実施実人数 91人、子育て交流ひろば 実施回数 26回、参加人数 延べ134人 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。					
検証結果	A：成果があがった													
今後の事業展開	①現状の規模で継続													
翌年度に向けた課題と取組														
相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。														
令和元年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。 〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1,280件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ152件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ452件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 延べ33件 ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ974件 ・一般相談 随時 延べ211件、電話による相談493件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 全グループ 182回、実施実人数 124人、子育て交流ひろば 実施回数 39回、参加人数 延べ248人 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">園生活で支援を必要とする児への援助方法について職員への機関支援を継続していくことで、相談数の減少を図る。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">園訪問や巡回相談等の事業の展開と発達支援コーディネーターの育成。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		園生活で支援を必要とする児への援助方法について職員への機関支援を継続していくことで、相談数の減少を図る。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		園訪問や巡回相談等の事業の展開と発達支援コーディネーターの育成。	
検証結果	A：成果があがった													
今後の課題														
園生活で支援を必要とする児への援助方法について職員への機関支援を継続していくことで、相談数の減少を図る。														
今後の事業展開とその判断理由														
①現状の規模で継続														
園訪問や巡回相談等の事業の展開と発達支援コーディネーターの育成。														
平成30年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。 〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1,330件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ197件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ771件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 延べ33件 ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1,502件 ・一般相談 随時 延べ281件、電話による相談781件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 全グループ 149回、実施実人数 116人、子育て交流ひろば 実施回数 24回、参加人数 延べ449人 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2">園生活で支援を必要とする児への援助方法について職員への機関支援を継続していくことで、相談数の減少を図る。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">今後の事業展開とその判断理由</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">園訪問や巡回相談等の事業の展開と発達支援コーディネーターの育成。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の課題		園生活で支援を必要とする児への援助方法について職員への機関支援を継続していくことで、相談数の減少を図る。		今後の事業展開とその判断理由		①現状の規模で継続		園訪問や巡回相談等の事業の展開と発達支援コーディネーターの育成。	
検証結果	A：成果があがった													
今後の課題														
園生活で支援を必要とする児への援助方法について職員への機関支援を継続していくことで、相談数の減少を図る。														
今後の事業展開とその判断理由														
①現状の規模で継続														
園訪問や巡回相談等の事業の展開と発達支援コーディネーターの育成。														

備考 (その他)

6 (2) 35	ハイリスク者への支援の充実	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (5) ①1事業の再掲> 児童虐待防止のため、早期から必要な支援を提供できるように関係機関と連携します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひらつかネウボラールームはぐくみ」において、妊娠期からハイリスク者への対応を行います。 ・家庭訪問、健診等において機会を捉えた対応を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 ・生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 ・妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数 81件 支援会議3回 ・虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：199件 通告：17件 	前年度の課題等に対する取組状況						
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 ・生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 ・妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施できた。 支援実数 88件 支援会議3回 	検証結果 A：成果があがった						
		今後の課題						
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続				
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続							
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 ・生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 ・妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施できた。 支援実数 83件 支援会議3回 	検証結果 A：成果があがった						
		今後の課題						
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開とその判断理由</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続				
今後の事業展開とその判断理由	①現状の規模で継続							

備考 (その他)

6 (3) 1	就労支援事業	担当課	産業振興課
---------	--------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
就職希望者に対する企業合同面接開催や就労に向けたセミナー等の開催により、市民の就職へ向けた活動を支援します。	幅広い年齢層を対象とした就労相談会を開催するとともに、若者サポートステーションと連携を図り、若者向けの就労相談会を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	令和2年11月30日から12月1日にかけて、ラスカ平塚6階ラスカホールにおいて、令和2年度企業合同就職面接会を実施した。 また、令和3年3月10日にビジネスマナー講座を、3月19日に女性のための再就職応援セミナーを実施した。	前年度の課題等に対する取組状況 企業合同就職面接会について、例年2日間で2回面接会を開催していたが、コロナの現状を受けて密を避けること、より多くの求人企業に参加いただけるよう2日間で3回の開催とした。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 コロナの状況を考慮しながら開催方法について、ハローワーク平塚と協議していく。
令和元年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけた事業です。	検証結果
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		今後の事業展開とその判断理由
平成30年度	第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画において、新たに位置づけた事業です。	検証結果
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		今後の事業展開とその判断理由

備考 (その他)

6 (3) 2	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (5) 1 事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件 (新規ケース) 相談回数：1,210件 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：587件 (新規ケース) 相談回数：1,145件 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：656件 (新規ケース) 相談回数：1,335件 	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (3) 3	母子・父子自立支援事業	担当課	こども家庭課
---------	-------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (5) 2事業の再掲 > 母子家庭の母又は父子家庭の父が自立するために、教育訓練講座や高等職業訓練促進への助成など自立支援給付事業を実施します。	母子・父子家庭への支援対策として、引き続き自立支援給付事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 7件 (270,317円) 高等職業訓練促進給付金等 6件 (6,994,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 2件 (820,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況 市単事業として、ひとり親家庭就学支度資金貸付を実施し、ひとり親家庭の支援充実を図った。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 11件 (431,684円) 高等職業訓練促進給付金等 8件 (11,084,000円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 5件 (245,544円) 高等職業訓練促進給付金等 10件 (10,871,000円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請1件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 1件 	検証結果 A：成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由
		①現状の規模で継続

備考 (その他)

6 (4) 1	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (5) 1 事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件 (新規ケース) 相談回数：1,210件	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：587件 (新規ケース) 相談回数：1,145件	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：656件 (新規ケース) 相談回数：1,335件	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (4) 2	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 1 事業の再掲 > 小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで	中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数 (令和3年3月31日時点) 29,403人	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A : 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	小児医療費の助成を行った。 令和2年1月1日から小学生以上に設けていた所得制限を撤廃した。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の発行数 29,951人 医療費及び件数(養育医療給付分も含む) 医療費+手数料 764,615,969円 件数 377,798件	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	小児医療費の助成を行った。 ただし、小学生以上には所得制限を設けている。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の発行数 26,925人 医療費及び件数(養育医療給付分も含む) 医療費+手数料 763,792,537円 件数 380,621件	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (4) 3	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
---------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 2 事業の再掲 > ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和2年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,817世帯 4,545人 助成費及び件数 医療費+手数料 149,118,767円 件数 51,364件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和元年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,921世帯 4,777人 助成費及び件数 医療費+手数料 172,476,817円 件数 61,915件	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続
平成30年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 2,023世帯 5,047人 助成費及び件数 医療費+手数料 182,354,674円 件数 65,211件	検証結果 A:成果があがった
		今後の課題
		今後の事業展開とその判断理由 ①現状の規模で継続

備考 (その他)	

6 (4) 4	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 8 事業の再掲 > 対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	教育扶助 小学生 188人 中学生 65人 扶助額 15,819,047円 生業扶助 高校生 70人 扶助額 9,299,253円	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	教育扶助 小学生 119人 中学生 73人 扶助額 16,539,210円 生業扶助 高校生 63人 扶助額 9,771,338円	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	教育扶助 小学生 136人 中学生 76人 扶助額 20,420,289円 生業扶助 高校生 65人 扶助額 9,323,617円	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (4) 5	児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	--------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 9 事業の再掲 > ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図るため、父母の離婚、父又は母の死亡などにより、父親又は母親と生計を同じくしていない児童について、手当を支給します。</p>	<p>ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	<p>児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,692人 (令和3年3月31日時点) 支給金額 882,506,000円 (令和3年3月31日時点)</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A : 成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	<p>児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,765人 (令和2年3月31日時点) 支給金額 1,162,337,240円</p>	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	<p>児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,839人 支給金額 943,395,400円</p>	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (4) 6	特別児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 10 事業の再掲 > 児童の福祉の増進を図るため、精神、知的又は身体障がい等 (内部障がいを含む) で、政令に定める程度以上の障がいにある 20 歳未満の児童について、手当を支給します。</p>	<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和 2 年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 413人 (令和3年4月30日現在)</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A : 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続	
		翌年度に向けた課題と取組	
令和 元 年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 404人</p>	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成 3 0 年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 411人</p>	検証結果	A : 成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (4) 7	児童手当	担当課	こども家庭課
---------	------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 1 1 事業の再掲 > 次代の社会を担う児童の健やかな成長のため、0歳から15歳到達後最初の3月31日までの児童について、手当を支給します。	児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	児童手当の支給をおこなった(R3.3.31時点)。 支給児童数 児童手当 延べ人数 308,354人 特例給付 延べ人数 31,474人 施設入所 延べ人数 1,236人 支給金額 3,627,390,000円	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	児童手当の支給をおこなった。 支給児童数 児童手当 延べ人数 210,567人 特例給付 延べ人数 20,789人 施設入所 延べ人数 814人 支給金額 3,714,205,000円	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	児童手当の支給をおこなった。 支給児童数 児童手当 延べ人数 325,857人 特例給付 延べ人数 31,204人 施設入所 延べ人数 1,112人 支給金額 3,828,550,000円	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)

6 (4) 8	養育医療費給付	担当課	こども家庭課
---------	---------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 1 2 事業の再掲 > 子どもが未熟児で生まれ、指定養育医療機関の医師が入院治療の必要を認めたとときの医療費を助成します。	母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和2年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 51件	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和元年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 42件	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	
平成30年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 49件	検証結果	A：成果があがった
		今後の課題	
		今後の事業展開とその判断理由	
		①現状の規模で継続	

備考 (その他)